



Elva

オーナーズハンドブック

アシスタンス アシスタンス

代理店ネットワーク

マクラーレン正規ディーラーネットワークは確実に拡大を続けています。連絡先など全ディーラーのリストは次の URL でご確認ください。

www.retailers.mclaren.com

緊急時には、お客様の地域の緊急通報用電話番号までご連絡ください。

緊急でないサポートが必要な場合には、最寄りのマクラーレン代理店までお問い合わせください。

マクラーレン顧客サービス部門の連絡先詳細は以下をご覧ください。

<https://cars.mclaren.com/contact-us>

オーストラリアのみ: けん引/ロードサイドアシスタンス用として記載されている番号に連絡してアシスタンスを受けられなかった場合、またはディーラーがアシスタンスを提供できない場合は、1800 626 768 までご連絡ください。



目次

1.1 運転の前に

2.1 運転操作装置

3.1 インストルメント

4.1 センターディスプレイ

5.1 快適機能と便利機能

6.1 メンテナンス

7.1 車両データおよび用語集

8.1 適合性に関する情報

はじめに

はじめに

運転する前に本書をよく読み、マクラレーンとその機能についてご理解ください。本書には、お客様にマクラレーンが提供する利点や喜びを最大限にお届けするために必要な情報が記載されています。

本書では、マクラレーン車両でご利用いただけるすべてのオプションおよび機能について説明しています。一部の記述（ディスプレイおよびメニュー機能に関する説明を含む）は、モデル、国別仕様、オプション装備またはマクラレーン認定アクセサリーの有無によって、お客様の車両には該当しない場合があります。

 **注意:** 本書に掲載されている画像は、お客様の車両の状態とは完全には一致しない場合があります。

お客様のマクラレーンに付属されている書類は、車両の一部を構成するうえで不可欠なものです。車両を売却される場合には、必ず付属書類も同時にお引き渡しください。

本書の内容は、必要な情報をすぐに見つけられるよう、章に分かれています。

運転の前に

運転席に着いた後に運転の準備を整え、すべての操作装置への安全かつ容易なアクセスを確保するために行う必要がある設定を詳しく説明します。

運転操作装置

この章は、お客様のマクラレーンの装備と運転操作装置、および運転中にそれらの操作装置を最も効果的に使用するための方法を詳しく説明します。

インストールメント

この章では、マクラレーンインフォテイメントシステム（MIS）の機能の操作方法を含め、ドライバードisplayについて説明します。

センターディスプレイ

この章では、車両の各種設定の表示および変更方法を含め、マクラレーンインフォテイメントシステム（MIS）について説明します。

快適機能と便利機能

快適な運転環境を得るためのシステムや機能について説明します。

メンテナンス

ここでは、お客様のマクラレーンのメンテナンスについて説明します。冬季にマクラレーンを運転する際のアドバイスや、海外で運転する際に不具合が発生した場合の対応策、その結果生じる可能性がある問題への対応方法についても説明します。ヒューズやランプに関する情報、パンク時の対処方法についても説明します。

車両データおよび用語集

お客様のマクラレーンの様々なシステムに必要なフルードの仕様やその分量については、この章を参照してください。また、お客様のマクラレーンや車両の性能に関する具体的なデータが必要な場合もこの章を参照してください。

技術用語集では、マクラレーンに搭載されているいくつかのより複雑なシステムについても簡単に説明しています。より詳しい情報をお求めの場合は、マクラレーン代理店にお問い合わせください。

はじめに

本書についての情報

マクラーレンは最新の技術を採用し、つねに先を行く技術を搭載するため車両仕様を更新し続けています。したがって、マクラーレンは随時設計、装備および技術的機能を変更する権利を留保します。

© McLaren Automotive Limited.

McLaren Automotive Limited の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、翻訳もしくは再版することを禁じます。

お客様のマクラーレンに搭載されている装備は、車両や市場仕様により本書の画像とは異なる場合があります。

当社のアプリケーションに含まれるすべての情報、図および仕様は、利用可能なデータに基づいており、発行の時点では正確です。地域の制限や規制により、ご利用いただけるオプションは市場によって異なる場合があります。

このアプリケーション内の図は、必ずしもお客様の地域の市場でご利用いただける仕様またはオプションを反映しているとは限らず、オプション装備を示している場合があります。

これらのアプリケーションに記載されている仕様は、情報目的専用であり、McLaren Automotive は、事前の通知なしで、または義務を負うことなく、いつでも製品の仕様を変更する権利を留保しています。仕様の詳細情報および標準装備とオプション装備に関する情報については、担当のマクラーレン代理店までお問い合わせください。

本車両は、特許により保護されています。
cars.mclaren.com/patents を参照してください。

Printed in United Kingdom, 26QA046SP

オーナー文書

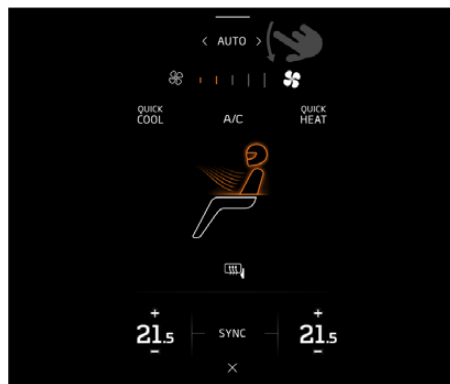
マクラーレン車には以下の文書が備え付けられています：

- サービスおよび保証ガイド - 問題発生時の対処方法と連絡先が記載されています
- オーナーズハンドブック - マクラーレンの操作方法について説明します

はじめに

電子ユーザーマニュアル

車両には電子ユーザーマニュアルが装備されています。オーナーズハンドブックは、センタースタイルインフォテイメントタッチスクリーンでご覧いただけます。



マニュアルにアクセスするには、マクラーレンインフォテイメントシステム（MIS）の画面上部のステータスバーを下にスワイプし、「オーナーズハンドブック」アイコンをタッチします。

i 注意: この機能は、車両が動いているときには利用できません。運転者の注意が散漫にならないよう、電子ユーザーマニュアルは車両が停車しているときのみ利用できます。

必要な言語を選択してから、目次ページからトピックを選択します。

🏠 「ホーム」アイコンは、各ページの上部和下部に表示されます。「ホーム」アイコンを選択すると、メイン目次ページに戻ります。

↔ 必要に応じて、「左矢印」アイコンと「右矢印」アイコンを使用して前または次のトピックに移動できます。

「Related Topics（関連トピック）」を選択すると、現在のセクション内のその他の情報にすばやくアクセスできます。

⬅ 「左矢印」アイコンは、ウェブブラウザの「戻る」ボタンと同様に、前のビューに戻るために使用できます。

➡ 「上矢印」アイコンを使用すると、メイン目次ページに戻ることができます。

記号

本書では以下の記号を使用しています。これらの記号は、記載されている情報の種類が一目で分かる、視覚的なメッセージを提供します。

警告	
	怪我や死亡事故につながるおそれのある行為への注意事項を示します。
メモ	
	車両を損傷する可能性のある行為への注意事項を示します。また、お客様にとって役立つ情報や特定事項に関する追加情報を提供します。
環境保護上の注意	
	車両の運転によって環境に及ぼされる影響を最小限にするためのヒントを説明します。

はじめに

車両への配慮

マクラレーンでは、マクラレーン車両を好天時にのみ使用することを推奨しています。雨や水しぶき、湿気が車内に入らないようにしてください。

 **警告:** 水が車内に入らないようにしてください。水が入ると、車内のファブリックや表面が損傷するおそれがあります。

 **警告:** お客様のマクラレーンは洗車機による洗車には適していません。

 **注意:** 車内に水が入った場合は、速やかに清掃してください。インテリアのクリーニング、6.29 ページを参照してください。

マクラレーンでは、車両を 2 週間以上使用しない場合、カバーをかけておくことを推奨しています。車両カバー、6.30 ページを参照してください。

マクラレーンでは、サーキット走行の前後に車両を点検に出すよう推奨しています。

運転上の安全

 **警告:** 運転の前に、道路や交通の状況を最も良く視認できるようにすべてのミラーを調整してください。

 **警告:** 本車両にはフロントウィンドウが装備されていません。運転する際は、ヘルメットまたは衝撃耐性のある眼鏡の着用を強くお勧めします。

 **警告:** お客様のマクラレーンに搭載されている電子システムは相互に作用しています。これらのシステムをみだりに改造すると、相互接続されている他のシステムの故障の原因となるおそれがあります。これらの不具合は、マクラレーンの運転安全上およびお客様自身の安全に重大な危険を生じるおそれがあります。

不適切な方法で装備の追加や車両の改造を行った場合も、運転の安全性に悪影響が生じるおそれがあります。

車両の使用

車両を使用する際は以下の事項を遵守してください。

- 本書に記載されている安全上の注意のすべて
- 道路交通法および規則

 **警告:** お客様のマクラレーンには、様々な警告ラベルが貼付されています。これらの警告ラベルは、お客様とその他の人々に様々な危険を知らせるためのものです。車両の警告ラベルは決して剥がさないでください。

警告ラベルを剥がすと、お客様や乗員が危険に気付くことができず、怪我などを負うおそれがあります。

最低地上高

 **警告:** 本車両は最低地上高が非常に低くなっています。急な上り坂または下り坂への進入の際、車両の下側を損傷する可能性があります。

以下の場合には注意して運転してください。

- 縁石への進入
- 急な上り坂への進入
- 急な下り坂から平坦な道への進入
- 悪路での走行
- 交通静穏化策が実施されているエリアでの走行
- その他、路面の高さや勾配の急激な変化が生じる環境（駐車場など）での走行。

車体寸法、7.5 ページを参照してください。

はじめに

サーキット走行



警告: 本車両にはフロントウィンドウが装備されていません。運転する際は、ヘルメットまたは衝撃耐性のある眼鏡の着用を強くお勧めします。

安全性と最適な冷却性能の両方を確保するため、マクラーレンではヘルメットを着用して、AAMS をオフにすることを推奨しています。

車両の性能と信頼性を最大限に発揮するためには、サーキットでの走行の前に、以下の前提条件を満たしていることが重要です。

- エンジンオイルが標準動作温度である
- エンジンオイルレベルが 3、4、5 または 6 つの白色セグメントで表示されている。エンジンオイルの点検、6.3 ページを参照してください。
- エンジンクーラントが標準動作温度である
- タイヤが安全な動作温度を超えていない



注意: サーキット走行を行う場合は、事前にはマクラーレン代理店にご相談ください。マクラーレンでは、サーキット走行の前後に車両を点検に出すよう推奨しています。



注意: ご自分で完全にコントロールできる範囲内で、また車両性能の限度を超えない範囲で走行してください。

クールダウン

サーキット走行時は、ブレーキやトランスミッションが高温になりパフォーマンスに影響が出る可能性があるため、マクラーレンではクールダウンする時間を取ることを推奨します。急ブレーキや必要以上のギアチェンジをせずに比較的低速で走行すると、空気の流れて車両を冷却できます。

マクラーレンでは、サーキットを出る前に車両を標準動作温度に下げる時間を取ることを推奨します。



注意: パフォーマンス走行の直後に停車する場合、マクラーレンでは、すぐにはイグニッションスイッチをオフにせずにパーキングブレーキをかけることを推奨します。マクラーレンでは、エンジンをアイドルリングさせてからイグニッションスイッチをオフにすることを推奨します。



注意: サーキットおよび競技での使用上の注意については、サービスおよび保証ガイドを参照してください。

はじめに

保存データ

お客様の車両にはデータを収集し、一時的または永続的に保存する多くのコンポーネントがあります。この技術データには、車両の状態、発生したすべての事象、お客様の車両に発生している可能性がある、または過去に発生した誤動作などに関する情報があります。

これらには、例えば次のものがあります。

- システムコンポーネントの作動状況（フルードレベルなど）
- 車両および個々のコンポーネントのステータスメッセージ（「クーラントフルードの低下」など）
- 重要なシステムコンポーネントの誤動作および不具合（「ランプスイッチの故障」など）
- 特殊な運転状況での車両の反応および作動状況（エアバックの展開など）
- 環境条件（外気温など）

このデータは、もっぱら技術的な性質のものであり、次の目的に使用できます。

- 不具合や欠陥の認識および修正の支援
- 車両機能の分析（事故後など）
- 車両機能の最適化

データは車両の動きを追跡するために使用することができません。

お客様の車両が点検を受ける際には、次の技術情報を車両から読み取ることができます。

- 修理サービス履歴
- 保証事象
- 品質保証

この情報は特殊な診断テスターを使用して、サービスネットワーク（メーカーを含む）の従業員によって読み取ることができます。必要に応じて、より詳細な情報を得ることができます。

不具合が修正された後、この情報は不具合メモリーから削除されるか、または連続的に上書きされます。

車両を運転する場合、他の情報に関連する技術データを他者が追跡する状況が発生する可能性があります。

例えば、次のものがあります。

- 事故報告書
- 車両の損傷
- 目撃証言

マクラレーンは、衝突事故の際のお客様の行動に関する情報にはアクセスしません。また、次の場合を除いて他者とその情報を共有しません。

- お客様の同意、またはリース車両の借主の同意を得た場合
- 警察また類似する官庁の正式な要求に応じる場合
- 法的手続に備えてメーカーの防衛の一環とする場合
- 法律の定めるところによる場合

さらに、マクラレーンは収集または取得した診断データを次の場合に使用することがあります。

- マクラレーンの研究に必要な場合
- 研究ニーズに使用できるよう適切な機密性を維持し、必要性が示されている場合
- 研究目的で他の組織と特定の車両に関連付けられていないサマリーデータを共有する場合

運転の前に

アシスタンス	1.2
代理店ネットワーク	1.2
はじめに.....	1.2
運転の前に	1.2
運転操作装置	1.2
インストールメント.....	1.2
センターディスプレイ	1.2
快適機能と便利機能	1.2
メンテナンス	1.2
車両データおよび用語集.....	1.2
本書についての情報.....	1.3
オーナー文書.....	1.3
電子ユーザーマニュアル.....	1.4
記号.....	1.4
車両への配慮.....	1.5
運転上の安全	1.5
車両の使用	1.5
最低地上高	1.5
サーキット走行	1.6
クールダウン	1.6
保存データ.....	1.7
運転の前に	1.4
開閉	1.4
一般.....	1.4
キーレスエントリー	1.4
リモコンキーエントリー.....	1.4
リモコンキーの収納	1.5
ドアを開ける	1.6

ドアをロックする.....	1.6
ミスロック	1.7
個人用設定.....	1.7
車内からロック / ロック解除する	1.7
車内からドアを開ける.....	1.8
ドアを閉じる.....	1.8
トノーカバー.....	1.9
開ける	1.9
閉じる	1.10
サービスカバー	1.10
開ける	1.11
閉じる	1.11
自動ロック	1.11

荷物の収納 1.12

トノーコンパートメント収納.....	1.12
助手席側フットウェル収納.....	1.12

盗難防止システム 1.13

アラームシステム.....	1.13
アラームシステムを有効にする	1.13
アラームシステムを解除する	1.13
イモビライザー	1.13
けん引防止.....	1.14
けん引防止を無効にする	1.14

シート 1.15

安全性.....	1.15
シート.....	1.16

運転の前に

シートの高さ調整.....	1.16	展開式ロールオーバープロテクション	1.27
シートのチルト調整.....	1.16	アクティブエアマネジメントシステム	1.28
ステアリングホイールとステアリングコラム	1.17	概要	1.28
ステアリングホイールの電動調整	1.17	ミラー.....	1.29
コンフォートエントリー/イグジット	1.18	外部ミラー	1.29
ホーン	1.18	ミラーの調整.....	1.29
乗員の安全	1.19	リバースギア時のミラーディップ	1.29
シートベルト	1.19	熱線入りミラー.....	1.29
シートベルトの着用.....	1.20	ライト.....	1.30
シートベルトテンショナー.....	1.20	外部照明	1.30
ベルトフォースリミッター.....	1.20	ランプスイッチ	1.30
シートベルト警告灯	1.20	オートマチックランプコントロール.....	1.31
ヘルメット	1.21	サイドランプ.....	1.31
補助拘束装置	1.21	ロービームヘッドランプ.....	1.31
エアバッグシステム.....	1.21	ハイビームヘッドランプ	1.32
エアバッグの交換.....	1.21	パッシングランプ.....	1.32
エアバッグシステムの修正.....	1.21	ヘッドランプ	1.32
フロントエアバッグ	1.22	スタティックアダプティブヘッドランプ.....	1.32
ニーエアバッグ（日本およびマレーシアのみ）.....	1.22	高速道路ファンクションライティング	1.32
サイドヘッドエアバッグ	1.22	デイトタイムランニングランプ	1.33
乗員分類システム - 助手席.....	1.23	リアフォグランプ	1.33
エアバッグの展開.....	1.24	方向指示器	1.34
正規外着座（OOP）.....	1.25	方向指示器 - 車線変更.....	1.34
補助拘束装置（SRS）警告灯.....	1.25	ハザード警告灯	1.34
安全機能	1.25	ハザード警告灯の操作.....	1.34
チャイルドパッセンジャー	1.26	パニックアラーム.....	1.35
チャイルドシートシステム.....	1.26		
KISI チャイルドシート機能.....	1.27		

運転の前に

パーキングランプ.....	1.35
車両リフト.....	1.36
車両リフト.....	1.36
車両リフトの操作.....	1.36
車両リフト - 上昇.....	1.37
車両リフト - 下降.....	1.37

運転の前に 開閉

一般

キーレスエントリー機能を使用するかリモコンキーの適当なボタンを押すことで、車両をロックおよびロック解除することができます。

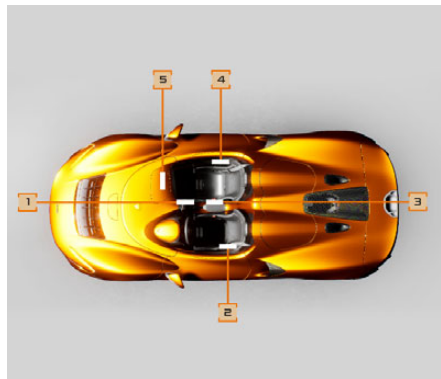
キーレスエントリー機能は、リモコンキーがセンサーから1.2m（3フィート11インチ）の範囲内にいる必要があります。

エンジンが停止している場合、電気的な状態にかかわらず車両をロックすることができます。車両の電气的状態、2.4 ページを参照してください。

キーレスエントリー

キーレスエントリーを使用すると、リモコンキーがセンサーから1.2m（3フィート11インチ）の範囲内にあれば、ドアを開けるだけで車両のロックを解除し、盗難防止アラームシステムを停止させることができます。使用者がリモコンキーを身に着ける、あるいはバッグなど非金属製のものに入れて携帯していれば、ほかに必要なものではありません。キーを外に出す必要も操作する必要もありません。

5つのセンサーによって、リモコンキーが車両の周囲のどこにあるか検出されます。



左ハンドル車を図示 - 右ハンドル車も同様

1. 車内フロントセンサー
2. 運転席ドアセンサー
3. 車内リアセンサー
4. 助手席ドアセンサー
5. 助手席フットウェルセンサー

リモコンキーエントリー

お客様のマクラーレンにはリモコンキーが2個付属しています。リモコンキーを使用して、離れた場所から車両をロックおよびロック解除することができます。

i 注意: 盗難防止のため、リモコンキーの操作は車両のすぐ近くで行ってください。

リモコンキーを使って、ロックおよびロック解除できるものは以下の通りです。

- ドア
- トノーカバー
- センターコンソール収納ボックス
- サービスカバー

運転の前に 開閉



リモコンキーを使用して車両のロックを解除するには、「ロック解除」ボタンを押します。フロント、リアおよびサイドの方向指示器（市場により異なります）が2回点滅し、盗難防止アラームシステムが解除されます。

警告: ステアリングホイールの移動中はステアリングホイールやコラムに手を触れないようにしてください。

車両がロック解除されると、ステアリングホイールとコラムが前方いっぱいまで移動し（ドライバーから遠ざかる方向）、一番上まで上がった状態になります。

警告: リモコンキーはエンジンを始動可能にする他、車両のその他の機能を有効にする場合も使用します。車両から離れる際には必ずリモコンキーを携帯してください。

注意: リモコンキーは、高レベルの電磁放射にさらさないでください。例えば、ノートパソコン、タブレット、パーソナルメディアプレイヤー、携帯電話などの近くには置かないでください。誤作動の原因となることがあります。

車両設定で「運転席側」と「両側」のどちらのオプションが選択されているかで、「ロック解除」ボタンの作動が変わります。セキュリティ、4.12 ページを参照してください。

「ロック解除」ボタン	結果
1 回押す	「両側」を選択した場合、ボタンを 1 回押すと両側のロックが解除されます。 「運転席側」を選択した場合、ボタンを 1 回押すと運転席側のロックが解除されます。ボタンをもう一回押すと（短時間の間を置いて）、助手席ドアのロックが解除されます。

「ロック解除」ボタン	結果
2 回押す	「両側」を選択した場合、ボタンを 2 回押すと両側のロックが解除され、運転席側のラッチが外れます。 「運転席側」を選択した場合、ボタンを 2 回押すと運転席側のみロックが解除され、ラッチが外れます。

リモコンキーの収納

セキュリティ上の理由から、マクラーレンでは、ドライバーが車内にいるときはドライバーがリモコンキーを携帯することを推奨しています。リモコンキーを車内に置きたい場合は、人目につく場所には置かないでください。

注意: ドライバーディスプレイに「車内にキーはありません」というメッセージが表示された場合は、リモコンキーを検出される位置に移動させてください。

注意: ドライバーディスプレイに「車内にキーはありません」というメッセージが表示された場合は、リモコンキーを検出される位置に移動させてください。

運転の前に 開閉

ドアを開ける



1. 「ドアリリース」ボタン (1) をしっかりと押すと、ドアのロックが解除され、ドアを開けることができます。

i 注意: キーレスエントリー機能は、リモコンキーがセンサーから 1.2 m (3 フィート 11 インチ) の範囲内にある必要があります。

⚠ 警告: ドアを開ける際には必ずドアの後方に立ってください。横に立つと開いたドアによって怪我を負うおそれがあります。ドアが開く速度は気温により左右されます。

i 注意: ドアはまず外側に開き、次いで上方向に開くので、ドアを開ける前に横方向と上方向に十分なスペースがあることを確認してください。車体寸法、7.5 ページを参照してください。

i 注意: リモコンキーが車内にない状態で「ドアリリース」ボタンを使用して車両のロックを解除すると、盗難防止アラームシステムが作動してアラームが鳴る場合があります。

2. キーレスエントリーを使用したときはフロント、サイド、およびリアの方向指示器 (市場により異なります) が 2 回点滅し、盗難防止アラームシステムが解除されます。
3. ドアラッチが外れると、ドアが少し持ち上がり、外側上方に自動的にスイングします。

i 注意: ドアはまず外側に開き、次に上方向に開くので、ドアを開ける前に横方向と上方向に十分なスペースがあることを確認してください。車体寸法、7.5 ページを参照してください。

ドアをロックする



1. ドアを閉じます。ドアを閉じる、1.8 ページを参照してください。
2. リモコンキーを使用して車両をロックするには、「ロック」ボタンを押します。サイレントドアロックのオプションが設定されていない場合、フロント、リア、およびサイドの方向指示器 (市場により異なります) が、車両の周りをぐるりと回るように順に素早く点滅します。これで、盗難防止アラームシステムが作動しました。
3. 方向指示器が点滅して、盗難防止アラームシステムが有効になったことを示します。

運転の前に 開閉

ミスロック



ドア、トノーカバーまたはサービスカバーを開けたまま、もしくはリモコンキーを車内に置いたまま車両をロックしようとする、ミスロックを示す警告音が鳴ります。

すべてのドア、トノーカバーおよびサービスカバーを閉じたことを確認してから、車両をロックし直してください。

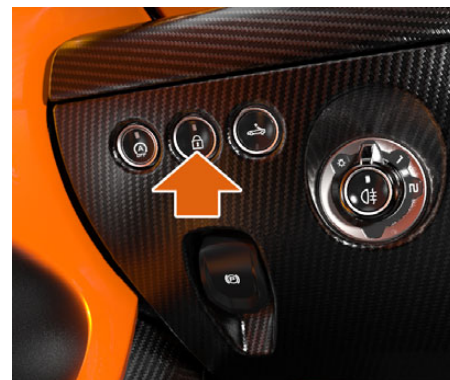
個人用設定

同乗者を乗せずに運転することが多いお客様は、リモコンキーのボタンを押したときに運転席ドアのみをロック解除するようにロックキングシステムを変更できます。セキュリティ、4.12 ページを参照してください。

運転席ドアのみをロック解除するように設定している場合、助手席ドアは次のいずれかの方法でロック解除できます。

- 助手席ドアの内側のハンドルを引きます
- リモコンキーの「ロック解除」ボタンをもう一度押します
- ダッシュボードにある「セントラルロックキング」ボタンから車両をロック解除します

車内からロック/ロック解除する



1. 「セントラルロックキング」ボタンを押して車両をロックします。ボタンのランプが点灯し、車両がロックされたことを示します。ドアは車内から開けることができます。
2. 「セントラルロックキング」ボタンをもう一度押して車両をロック解除します。ボタンのランプが消灯します。

運転の前に 開閉

車内からドアを開ける

ドアはロックされているときでも随時車内から開けることができます。



警告: 車両が停止しており、道路や交通の状況が安全なとき以外はドアを開けないでください。



注意: ドアはまず外側に開き、次いで上方方向に開くので、ドアを開ける前に横方向と上方方向に十分なスペースがあることを確認してください。



ドアを開けるには、「ドアリリース」ボタンをしっかりと押し、ドアの開閉機構が作動するまでドアを外側に押します。すると、ドアは自動的に外側、次いで上方方向にスイングします。



注意: リモコンキーが車内にない状態で「ドアリリース」ボタンを使用して車両のロックを解除すると、盗難防止アラームシステムが作動してアラームが鳴る場合があります。

ドアを閉じる

ドアを下方方向に押し引きし、確実にラッチしたことを確認してください。



警告: ドアを閉じる際は、手や他の物体がドアエッジにかからないようにしてください。

特に、ソフトクローズラッチ装着車の場合は、1つ目のラッチがかかった時点でドアが自動的に全閉状態までロックされるため、注意が必要です。挟み込み防止機能が搭載されていないため、ドアとドア開口部の間に物体や身体の一部が挟まれた場合でも、ドアの全閉動作は中止されません。重傷や車両の損傷が発生するおそれがあります。



注意: ドアを無理に閉めないでください。ドア開口部やドアシールが損傷するおそれがあります。

運転の前に 開閉

トノーカバー



トノーカバーとはコックピット背後にあるパネルのことです。トノーカバーを開くと、トノーコンパートメントにアクセスすることができます。

フューエルフィルターパイプおよびクーラントフィルターパイプは、トノーコンパートメントからアクセスします。非常用装備もトノーコンパートメントに収納されています。非常用装備、6.9 ページを参照してください。

トノーコンパートメントは、ヘルメットなどの収納にも利用できます。

-  注意: トノーカバーは、車両が停止していて、かつニュートラルが選択されていない限りロック解除できません。
-  注意: 発車したときにトノーカバーが開いている場合、メッセージがドライバーディスプレイに表示されます。
-  注意: トノーカバーのラッチが解除されたり開いていたりする場合は、ギアを選択できません。車両を移動する必要がある場合は、「D」または「R」を5 秒間押し続けて、これをオーバーライドしてから、ギアを選択します。
-  注意: トノーカバーに問題がある場合は、すぐにマクラーレン代理店に連絡してください。

開ける

車両は、キーが挿入されて、アウェイクモードになっている必要があります。車両の電気的狀態、2.4 ページを参照してください。



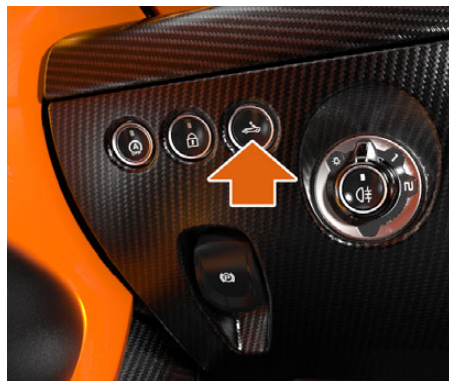
警告: トノーカバーの稼働部品の間に物を置かないでください。操作中は、乗員または周囲の人がトノーカバーの近くにいないことを確認してください。

-  注意: トノーカバーを操作するには、キーが運転席ドアの検知範囲内にある必要があります。



リモコンキーまたはダッシュボードの「トノーリリース」ボタンを押します。

運転の前に 開閉



トノーコンパートメントにあるすべての品物は、必ず警告ラベルの指示どおりに正しく収納してください。

トノーカバーが開いた状態で車両を運転すると、「トノーカバーが開いています」というメッセージがドライバーディスプレイに表示され、警告音が鳴ります。

閉じる



警告: トノーカバーを閉じる際は、手や他の物体がトノーカバーのエッジにかからないようにしてください。

最初のキャッチが噛み合うと、カバーは自動的に全閉位置まで作動を続けます。挟み込み防止機能が搭載されていないため、カバーと開口部の間に物体や身体の一部が挟まれた場合でも、カバーの全閉動作は中止されません。重傷や車両の損傷が発生するおそれがあります。



注意: リモコンキーをトノーコンパートメント内に置き忘れないでください。置き忘れた場合、トノーカバーがロックされ、車両に入れなくなるおそれがあります。

カチッという音がして閉じるまでトノーカバーを押し下げます。



注意: 車両をロックすると、トノーエリアのアラームが有効になります。

サービスカバー



サービスカバーは車両の前部、AAMS のすぐ後ろにあります。サービスカバーの下コンパートメントには、パワーステアリングフルードおよびブレーキフルードフィラーポイントが装備されています。パワーステアリングフルード、6.7 ページとブレーキフルード、6.8 ページを参照してください。

運転の前に 開閉

開ける

 **警告: エンジンがエコスタート/ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動することがあります。**

 **注意:** サービスカバーは、車両が停止していて、かつニュートラルが選択されていない限りロック解除できません。

1. サービスカバーを押し下げてリリースします。
2. サービスカバーを全開位置まで持ち上げます。

閉じる

1. カチッという音がして閉じるまでサービスカバーを押し下げます。
2. サービスカバーがしっかりと閉じられていることを確認します。

 **警告: サービスカバーを閉じる際は、手や他の物体がサービスカバーのエッジにかからないようにしてください。**

 **注意:** リモコンキーをサービスコンパートメント内に置き忘れないでください。置き忘れた場合、サービスカバーがロックされ、車両に入れなくなるおそれがあります。

 **注意:** 車両をロックすると、サービスカバーのアラームが有効になります。

自動ロック

ドア、トノーカバーおよびサービスカバーは、車両が発進すると自動的にロックされます。

 **注意:** 事故発生時に衝撃力が既定のレベルを超えると、ドアのロックは自動的に解除されます。

オートマチックロック機能は、センターインフォテイメントタッチスクリーンの車両設定セクションで選択できます。自動ドアロック、4.12 ページを参照してください。

オートマチックロックがオンの場合、車両が発進してロックされると、「インテリアセントラルロッキング」ボタンが点灯します。

運転の前に 荷物の収納

トノーコンパートメント収納

 **警告:** この車両は、車外で荷物を運ぶようには設計されていません。マクラレーン
は、荷物を車外に収納したことによる損
傷または傷害について一切責任を負いま
せん。

 **警告:** 固定していない物品をコックピット
内に置かないでください。急ブレーキや
急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛
び出した物品により怪我を負うおそれ
があります。

 **警告:** トノーコンパートメントの最大荷
物積載量を超えないようにしてくださ
い。車両重量、7.6 ページを参照してく
ださい。

トノーコンパートメントは、ヘルメットなどの
小物の収納に利用できます。

トノーコンパートメントにあるすべての品物
は、必ず警告ラベルの指示どおりに正しく収納
してください。

 **注意:** 次に示すものはいずれもトノーコン
パートメントには保管しないでください。

- 危険物質 / 液体や揮発性物質 / 液体
- 重いまたは鋭利な物体
- 熱に影響を受ける食物または液体
- 割れ物や壊れやすい物品

助手席側フットウェル収納

 **警告:** 固定していない物品をコックピット
内に置かないでください。急ブレーキや
急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛
び出した物品により怪我を負うおそれ
があります。

助手席側フットウェル収納バッグは助手席シー
トに取り付けて、手荷物や 2 個目のヘルメッ
トを安全に運ぶことができます。

乗員がシートに座っているときは、助手席フッ
トウェル収納バッグを使用しないでください。

運転の前に 盗難防止システム

アラームシステム

アラームシステムが有効になっているときに以下のいずれかが開けられると、警告が表示され警告音が鳴ります。

- ドア
- トノーカバー

i 注意: 開けられた開口部を閉じていてもアラームは停止しません。アラームを止めるには車両のロックを解除します。

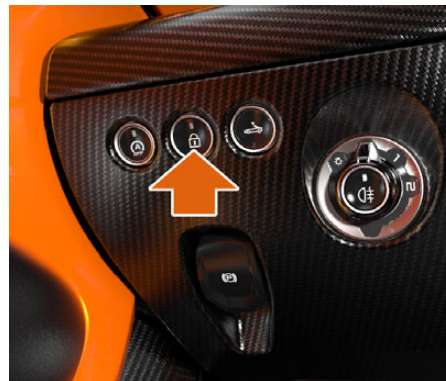
アラームシステムはまた、以下の機能を備えています。

- けん引防止
- センターコンソール収納ボックスの状態検出

i 注意: 自動アラームを有効にするには、センターコンソールの収納ボックスを閉じておく必要があります。

アラームシステムを有効にする

車両をロックします（キーレスシステムまたはリモコンキーを使用）。約 5 秒後に盗難防止アラームシステムが有効になります。



車両をロックすると、「セントラルロッキング」ボタンのランプが約 60 秒間点灯し、この時間を超えると、ランプが点滅し続けます。

アラームシステムを解除する

車両のロックを解除します（キーレスシステムまたはリモコンキーを使用）。アラームが解除され、「セントラルロッキング」ボタンのランプが点滅を停止します。

イモビライザー

イモビライザーはお客様のマクラーレンが不正に始動されるのを防ぎます。

車両が車内にリモコンキーがないことを感知すると、イモビライザーが自動的に起動します。

車内にリモコンキーがあることが感知されると、イモビライザーは解除されます。

i 注意: イモビライザーは、エンジンが停止中の場合のみ作動します。

運転の前に 盗難防止システム

けん引防止

けん引防止は、吊り上げけん引やトレーラー積載による車両の盗難を防止するように設計されています。

どのような方法でも、車両が持ち上げられたり傾けられたりするとアラームが作動します。

けん引防止は車両がロックされてから約 30 秒後に起動し、車両のロックが解除されると停止します。

けん引防止を無効にする

i 注意: イグニッションスイッチがオンのままでは、けん引防止を無効にすることはできません。



けん引防止を無効にする:

1. イグニッションをオフにしてください。
2. トノーカバーを開けます。
3. 右側のトノーカバー下のバルクヘッドにあるボタンを押します。スイッチのランプが点滅し、けん引防止が無効になったことを示します。
4. トノーカバーを閉めます。

5. 車両をロックします (キーレスシステムまたはリモコンキーを使用)。

けん引防止は車両のロックを解除するまで無効になります。

運転の前に シート

安全性

 警告: 運転席シートの調整は必ず停車して行ってください。道路や交通状況への注意がおろそかになるおそれがあります。結果として、運転操作を誤り、事故につながるおそれがあります。

 警告: シートはリモコンキーが車内にないときでも移動できます。

 警告: お子様だけを車内に残さないでください。偶然シートが動いた場合にお子様が怪我を負うおそれがあります。

 警告: シートの動作によって手などを挟まれないように注意してください。万一の事故の際に負傷する危険性を低減するため、以下の事項をお守りください。

- 乗員全員がシートベルトを正しく装着できるように、また同時にフロントエアバッグからできる限り遠い位置となるようにシートの位置を設定してください
- 運転席シートの位置は、ドライバーが車両を安全に運転できる位置でなければなりません
- 運転席シートからペダルまでの距離は、ドライバーがペダルを完全に踏み込むことができる距離でなければなりません。
- ドライバーの胸からエアバッグカバーの中心までの距離は 25 cm (10 インチ) 以上でなければなりません

- ステアリングホイールを握ったときに、ドライバーの肘が軽く曲がるような位置にする必要があります

- 乗員は常にシートベルトを正しく装着していなければなりません

- 助手席シートは、無理な姿勢とならない範囲内でできる限り後方に設定してください

 警告: マクラーレンは、この車両にチャイルドシートを装着することはお奨めしませんが、もし使用する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 身長 1.5 m (4 フィート 11 インチ) 未満、または 12 歳未満のお子様は、適切なチャイルドシートにより保護しなければなりません。車両を使用する国および地域の法規に固有の要件を参照してください
- 助手席シートにチャイルドシートを装着する場合は、シートを最後端の位置に設定してください

運転の前に シート

シート

シートの前後位置調整

 **警告:** 運転する前に、必ずシートが確実にロックされていることを確認してください。



シートを調整するには、レバーを持ち上げて、シートを好みの位置までスライドさせます。

運転席シートを調整する場合は、すべてのペダルに楽に足が届き、いっぱいまで踏むことができるようにしてください。

 **注意:** フットウェルまたはシートのそばに固定されていない物や荷物などがないことを確認してください。シートが損傷したり、調整を完全に行えないことがあります。

シートの高さ調整



シートが目的の高さになるまでスイッチを押します。

シートのチルト調整



シートが目的の位置に達するまでボタンを押します。

運転の前に

ステアリングホイールとステアリングコラム

ステアリングホイールの電動調整

⚠ 警告: ステアリングホイールの位置調整は必ず停車して行ってください。道路や交通状況への注意がおろそかになるおそれがあります。結果として、運転操作を誤り、事故につながるおそれがあります。

ステアリングホイールは、車両がアウェイクモードの場合に、「コラムコントロール」スイッチを使用して高さや前後位置を調整することができます。車両の電气的状態、2.4 ページを参照してください。

コラムコントロールスイッチはステアリングコラムの左側にあります。



1. 高さ: 上昇
2. 高さ: 下降
3. リーチ: 遠
4. リーチ: 近

コラムコントロールスイッチを 1 と 2 の方向に移動すると、ステアリングホイールの高さを上下に調整できます。

コラムコントロールスイッチを 3 と 4 の方向に移動すると、ステアリングホイールの位置を前後に調整できます。

i 注意: 「コラムコントロール」スイッチでは、ステアリングホイールの位置を一度に一方方向にしか調整できません。

コラムコントロールスイッチを使用して、次の状態になるようにステアリングホイールを調整します。

- ステアリングホイールを握ったときに、腕が若干曲がった状態になること
- 両足を自由に動かすことができること
- ドライバーディスプレイ上の情報がすべてはっきりと見えること

運転の前に

ステアリングホイールとステアリングコラム

コンフォートエントリー/イグジット

コンフォートエントリー/イグジットが有効のときは、エンジンをオフにして運転席ドアを開くと、ステアリングホイールとコラムが前方に（ドライバーから遠ざかる方向に）いっぱいまで移動し、一番上まで上がった状態になります。

この機能のスイッチのオン/オフ方法はコンフォートエントリー/イグジット、4.11 ページを参照してください。



警告: ステアリングホイールの移動中はホイールやコラムに手を触れないようにしてください。



注意: 「コラムコントロール」スイッチを操作することで、あらゆる自動調整動作をキャンセルできます。

ホーン

ホーンを操作するには、ステアリングホイールの中央を押します。



注意: ホーンはイグニッションスイッチがオフのときでも作動します。

運転の前に 乗員の安全

シートベルト

シートベルトとチャイルドシートは衝突時の衝撃に対し乗員を拘束し、それによって車内衝突による負傷やむち打ち症の危険を最小限に抑制するための最も有効な手段です。

 **警告:** シートベルトは非着用時、誤った着用をしたとき、あるいはシートベルトバックルに完全に締結されていないときは本来の機能を果たすことができません。怪我を防止するために、乗員全員が常に各々のシートベルトを正しく着用するようにしてください。ベルトは以下の条件を満たすように装着してください。

- 骨盤のできる限り低い位置（腹部ではなく股関節部）にかける
- 体に密着させる
- ねじれをなくす
- 肩の中央部を通る位置にかける
- ベルトが首と肩の間の鎖骨の中心を通るようにかける
- 肩ベルトを上方向に引き、ベルトを骨盤部に密着させる

 **警告:** 乗員が使用しているシートベルトで他の物体を固定しないでください。

 **警告:** あまり厚手の衣類を着用するのは避けてください。鋭い縁や壊れやすい物、特にそれらの物が乗員の衣類に付いていたりポケットに入っていたりする場合、その部分にはシートベルトをかけないでください。シートベルトが損傷したり、乗員が負傷したりするおそれがあります。

 **警告:** 各シートベルトは一度に1人の乗員しか使用することはできません。

 **警告:** 身長 1.5 m (4 フィート 11 インチ) 未満、または 12 歳未満のお子様は、適切なチャイルドシートにより保護しなければなりません。チャイルドシートはメーカーの取扱説明書に従って装着してください。現行の国および地域の法規の特殊要件を参照してください。

決してお子様を他の乗員の膝に座らせないでください。

 **警告:** 妊娠中の女性は、母親と胎児の最大限の安全のためにシートベルトを着用する必要があります。腰ベルトは腹部の下、腰の部分に、肩ベルトは胸部中央から腹部側面を通るようにかけます。ベルトが緩んだりねじれたりしていないことを確認してください。

 **警告:** シートベルトが本来の保護水準を発揮するのは、シートバックレストを垂直に近い位置に設定し、乗員が真っ直ぐに座っている場合のみです。

 **警告:** シートベルトやバックルが極端に汚れたり損傷したりしていると、シートベルトは正常に機能しません。ベルトラッチがバックルと完全に締結できることを確認してください。

シートベルトに損傷がないか、鋭い縁に当たっていたり引っかかっていたりしないかを定期的に点検してください。事故の際にベルトが裂け、乗員が怪我を負うおそれがあります。

ベルトに損傷がある場合や、重い負荷がかかった場合はシートベルトの点検を依頼してください。シートベルトの修理や交換は必ずマクラーレン代理店に依頼してください。

運転の前に 乗員の安全

シートベルトの着用



1. 無理のない姿勢で、操作装置類に容易に手が届くようにシートを調整します。
2. シートベルトラッチを持ち、体の前を通します。その際、ベルトが首と肩の間の鎖骨の中心を通り、胸部から骨盤に至るようにかけます。
3. ベルトを正しい位置に配置してラッチをバックルに差し込み、カチッと音がして締結したことが確認できるまで押し込みます。
4. バックルからラッチを引き、確実にラッチがはまり込んでいるか確認してください。

シートベルトテンショナー

シートベルトにはベルトテンショナーが組み込まれています。ベルトテンショナーは事故の際にシートベルトに張力をかけ、乗員を強く引っ張ります。

警告: 助手席に乗員がいない場合は、ベルトラッチを助手席のシートベルトバックルに差し込まないでください。事故の際にベルトテンショナーが作動する可能性があります。

警告: ベルトテンショナーは誤った着座位置や間違った装着を補正することはありません。ベルトテンショナーは乗員をバックレストの方向に引き戻しはしません。

ベルトテンショナーは正面衝突または追突が発生し、車両が急減速または急加速した場合に、（ベルトラッチがシートベルトバックルに締結されていることを条件として）ベルトごとに作動します。

ベルトテンショナーが作動するとパンという音がして、補助拘束装置警告灯が点灯します。少量の煤塵が放出されることもあります。

警告: ベルトテンショナーが作動したら（または、作動したかどうか分からない場合は）、絶対に車両を運転しないでください。直ちに最寄りのマクラーレン代理店にご相談ください。

ベルトフォースリミッター

シートベルトにはベルトフォースリミッターが組み込まれています。ベルトフォースリミッターはフロントエアバッグに同調し、衝撃を受けた際にベルトにかけられた張力を徐々に解放し、乗員が受ける力を低減します。

シートベルト警告灯



ドライバードisplayのシートベルト警告灯と警告音が、車両の乗員に対し各々シートベルトを装着するように促します。ドライバーと乗員がシートベルトを着用するとシートベルト警告灯が消灯し、警告音が止まります。

運転の前に 乗員の安全

ヘルメット

 **警告:** AAMS は、大きな物体のキャビンへの飛び込みを防ぐことはできません。マクラレーンでは、本車両の運転中にヘルメットを着用することを推奨しています。

 **警告:** ヘルメットは正しく装着したシートベルトの代用となるものではなく、シートベルトが提供する乗員保護の水準を高めるものです。

 **警告:** ヘルメットは頭にぴったりフィットして、中で頭が動かないものでなければなりません。ヘルメットが緩い場合は交換してください。

 **警告:** ヘルメットのストラップは必ず着用してくださいヘルメットのストラップを外した状態で運転しないでください。

 **注意:** ヘルメットのライナーは定期的に清掃してください。

 **注意:** ヘルメット着用中に事故に遭った場合は、ヘルメットの交換をお勧めします。

お客様のマクラレーンには、怪我のリスクを最小限に抑えるために、2 個のヘルメットと衝撃耐性のある眼鏡が付属しています。

補助拘束装置

エアバッグシステム

お客様のマクラレーンには以下のエアバッグが装備されています。

- 運転席フロントエアバッグ（ステアリングホイール内）
- 助手席フロントエアバッグ（ダッシュボード上部内）
- ダッシュボード下部のニーエアバッグ（日本およびマレーシアのみ）
- サイドヘッドエアバッグ（ドア内）

 **警告:** エアバッグが正常に作動するのは、ステアリングホイール、助手席エアバッグおよびニーエアバッグカバーが覆われていない場合のみです。

 **警告:** エアバッグは正しく着用したシートベルトの代用となるものではなく、シートベルトが提供する乗員保護の水準を高めるものです。

 **警告:** 万一の事故の際に怪我を負う危険性を低減するため、以下の事項を遵守してください。

- ドライバーの胸部からエアバッグカバーまで、少なくとも 25 cm（10 インチ）以上の距離を確保してください
- 車両の走行中はダッシュボード上にかがみ込まないでください
- ダッシュボードに足を乗せないでください

- ステアリングホイールはリムの外側を握ってください。ステアリングホイールの内側を握っていると、エアバッグが展開したときに怪我を負うおそれがあります
- 乗員とエアバッグの展開空間の間に他の物体がないことを確認してください
- エアバッグは高速で展開するため、エアバッグの膨張によって怪我を負うおそれがあります

エアバッグの交換

 **注意:** マクラレーンでは部品の動作寿命によってエアバッグが不動作となることがないよう、15 年ごとにエアバッグを交換することをお奨めしています。

エアバッグシステムの修正

障害のある方が車両を使用できるようにエアバッグシステムを修正する必要がある場合は、最寄りのマクラレーン代理店にご相談ください。

マクラレーン代理店に関する詳しい情報は、サービスおよび保証ガイドを参照してください。

運転の前に 乗員の安全

フロントエアバッグ



運転席フロントエアバッグ（1）はステアリングホイールの正面に展開し、助手席フロントエアバッグ（2）はダッシュボードの正面上方に展開します。

フロントエアバッグは、乗員が頭部および胸部に怪我を負う危険性をより低減できるとシステムが判断したときに展開します。



注意: 助手席フロントエアバッグは、ドライバーディスプレイの「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯が点灯していないときだけ展開します。乗員分類システム - 助手席、1.22 ページを参照してください。

ニーエアバッグ（日本およびマレーシアのみ）



警告: ニーエアバッグの作動時に乗員が怪我を負う危険性を低減するために、必ず次の事項をお守りください。

- 乗員とエアバッグの展開空間の間には物を置かない
- 衣服のポケットに重い物や鋭い物体を入れておかない

ニーエアバッグはダッシュボードの下部に組み込まれており、車両の衝撃が発生する側の乗員が膝および下半身に怪我を負う危険性をより低減できるとシステムが判断したときに展開します。

サイドヘッドエアバッグ



サイドヘッドエアバッグは各ドアパネルの上部に組み込まれており、車両の衝撃が発生する側の乗員が頭部に怪我を負う危険性をより低減できるとシステムが判断したときに展開します。



警告: サイドヘッドエアバッグの展開時に乗員が怪我を負う危険性を低減するために、必ず次の事項をお守りください。

- ドアにアクセサリ等を取り付けない
- 乗員、特にお子様は、車内からドアに寄りかからないでください

運転の前に 乗員の安全

i 注意: 助手席側ヘッドエアバッグは、助手席に乗員がいなければ展開しません。乗員分類システム - 助手席、1.22 ページを参照してください。

乗員分類システム - 助手席

このシステムはシートベースに内蔵された容量性重量マットを使用し、同時に助手席シートベルトのシートベルトバックルが締まっているかを確認することで、助手席の乗員の有無を判定します。

このシステムでは、チャイルドシートにお子様がいる場合、または助手席に乗員がない場合に、助手席フロントエアバッグおよび助手席サイドヘッドエアバッグが無効になります。



エアバッグの状態は助手席側ダッシュボードの「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯により表示されます。

「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯はイグニッションスイッチをオンにすると点灯し、5 秒後に消灯します。

この警告灯は、助手席に乗員がいなかったときやチャイルドシートが装着されているときは継続点灯します。

i 注意: 「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯は、助手席に大人の乗員がいなかった限り常時点灯します。

「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯が点灯しているときは、助手席フロントエアバッグおよび助手席サイドエアバッグは非アクティブになります。助手席側ベルトテンショナーは、「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯が点灯していても常にアクティブです。

! 警告: チャイルドシートを装着しているのに「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯が点灯していない場合は、フロントエアバッグは非アクティブにはなっていません。どちらかの助手席エアバッグが展開した場合、お子様が重大な怪我を負うおそれがあります。

運転の前に 乗員の安全

 **警告:** 乗員分類システムが正しく機能するように、マクラーレンでは座席の下に物を置かないこと、およびシートカバー、ヒーター、マッサージ器などのアフターマーケット部品を取り付けないことを推奨しています。これらのアイテムは、乗員分類システムの動作に著しく影響します。

 **警告:** 作動中の電子機器または 12 V のアクセサリソケットに接続された電子機器は、助手席に置かないでください。乗員分類システムの動作に影響することがあります。

 **警告:** 乗員分類システムに何らかの液体（雨水を含む）がかかった場合、動作に影響することがあります。

 **警告:** シートに乗員がいない場合でも「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯が点灯していないときは、チャイルドシートを取り付けたり乗員をシートに座らせたりしないでください。速やかに最寄りのマクラーレン代理店にご相談ください。

 **警告:** 先の尖ったものを助手席に置かないでください。シートクッションが破裂すると、乗員分類システムが損傷するおそれがあります。

 **警告:** 乗員分類システムが正しく機能するように、チャイルドシートシステムの下には決して物（クッションなど）を置かないでください。チャイルドシートのベース全体が常にシートに接していなければなりません。チャイルドシートを正しく取り付けしていない場合、万一の事故の際に本来の保護水準を提供できず怪我の原因になります。

エアバッグの展開

衝突が発生すると、補助拘束装置がエアバッグを展開して乗員を保護します。このシステムは乗員に可能な限り最高の保護を提供するために、展開するエアバッグの数や、各エアバッグを衝突の激しさに応じてどの程度膨張させるかを制御します。

このシステムはセンサーを使用して、衝突の重大度と車両乗員数を迅速に評価します。これらすべての要素がわかると、システムは必要なエアバッグを展開し、インパクトゾーンの膨張圧を調整します。これにより、乗員が衝撃によって重大な怪我を負う危険性を低減します。

事故後、エアバッグは膨張プロセスの後ほぼ即座に減圧を開始します。エアバッグを膨張させるために使われたガスは、エアバッグの通気口から排出されます。

 **注意:** エアバッグは乗員の動きを減速し、制限することによって、身体への負荷を低減します。ただし、エアバッグは正しく装着したシートベルトに取って代わるものではありません。

運転の前に 乗員の安全

 **警告:** エアバッグが展開するとパンという音がし、少量の微粒子が放出されることがあります。この騒音はお客様の聴覚に害を与えることはありません。また、微粒子は健康上危険なものではなく、火災の発生を示すものでもありません。この微粒子は、喘息やその他の呼吸器系の問題がある方の場合、一時的に呼吸困難を引き起こすおそれがあります。呼吸困難を防止するため、速やかに車外に出てください。

 **警告:** 警告: エアバッグの展開後は、エアバッグの部品が高温になっています。エアバッグに触れないでください。エアバッグの交換は、マクラーレン代理店に依頼してください。

正規外着座 (OOP)

お客様のマクラーレンのエアバッグシステムは、正規外着座 (OOP) 状態の小さいお子様に対しの確に動作することを試験で確認済みです。OOP 状態は衝突によってエアバッグが展開した際に、小さいお子様がパッセンジャーシートの不適切な位置に座っている場合に発生します。

補助拘束装置 (SRS) 警告灯



補助拘束装置は、イグニッションスイッチがオンでエンジンが動作中のとき、定期的にセルフテストを実行します。

ドライバーディスプレイのこの警告灯はイグニッションスイッチをオンにすると点灯し、エンジンを始動してから5秒後に消灯します。



警告: 以下のいずれかの事項が発生した場合は、直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

- イグニッションスイッチをオンにしても警告灯が点灯しない
- エンジン始動後 5 秒が経過しても警告灯が消灯しない
- エンジン始動後に警告灯が再び点灯する

安全機能

万一事故に巻き込まれた場合、お客様や救急隊員を支援するために以下の事象が発生します。

- ドアロックの解除
- ハザード警告灯の点灯
- 室内照明の点灯

場合により、燃料システムのスイッチがオフになります。

運転の前に 乗員の安全

チャイルドパッセンジャー

⚠ 警告: お子様をチャイルドシートで安全に固定している場合でも、お子様が車内に残さないでください。お子様が車両の一部で思わぬ怪我をしたり、ドアを開け、暑さや寒さに長時間さらされて重傷を負ったり、命にかかわる傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告: お子様がドアを開けた場合、それによって他人に怪我をさせたり、車両から抜け出して思わぬ怪我をしたり、通過する車両によって怪我をするおそれがあります。

⚠ 警告: チャイルドシートシステムを直射日光にさらしてはなりません。チャイルドシートシステムの金属部品でお子様が火傷をするおそれがあります。

⚠ 警告: 重い物体や堅い物体をしっかりと固定せずに車内に置かないでください。積荷を固定しなかったり、不適切な場所に置いたりすると、急ブレーキや急激な方向変更あるいは事故の際にお子様を怪我をする危険が増大します。

チャイルドシートシステム

マクラーレンは、この車両にチャイルドシートを装着することはお奨めしませんが、もし使用の場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 身長が 1.5m (4 フィート 11 インチ) 未満または 12 才未満のお子様は、その体重に合った適切なチャイルドシートにしっかりと固定してください。
- 詳細については、マクラーレン代理店にお問い合わせください
- 車両を使用する国および地域の法規に固有の要件を参照してください



⚠ 警告: 助手席エアバッグが作動している場合は、チャイルドシートシステムを後ろ向きに固定しないでください。エアバッグが作動しているかどうかは「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯で確認できます。

⚠ 警告: 「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯が点灯していない場合、助手席ではチャイルドシートシステムを後ろ向きに使用してはなりません。助手席では、チャイルドシートシステムを前向きに使用してください。助手席側の警告ラベルで確認することができます。

⚠ 警告: 助手席にチャイルドシートシステムを前向きに取り付ける場合は、助手席を完全に後方に移動し、高さを最も低い位置に配置する必要があります。手で調節する助手席は、高さ調整ができません。

⚠ 警告: チャイルドシートシステムを正しく取り付けしていない場合、事故や急ブレーキの際にお子様固定されず、怪我をするおそれがあります。チャイルドシートシステムを取り付けるときは、チャイルドシートの正しい使用に関するメーカーの指示に従ってください。

運転の前に 乗員の安全

KISI チャイルドシート機能

お客様のマクラーレンには、シートベルトを一時的にロックしてチャイルドシートを助手席にしっかりと固定するように設計された、助手席側のオートマチックロックシートベルト、KISI システムが装着されています。

1. 助手席側シートベルトを完全に引き出します。KISI システムは、シートベルトを完全に引き出さない限り作動しません。

i 注意: 車両を坂道に駐車させている場合、慣性ロックによりシートベルトが引き出せない場合があります。この状態が生じた場合は、シートベルトを少し緩めてから、慣性ロックにかからないように慎重にシートベルトを引き出します。

2. チャイルドシートメーカーの説明に従ってシートベルトをチャイルドシートに渡して、ベルトラッチをバックルにかみ合わせます。
3. 下部セクションが固定装置にしっかりと締め付けられ、上部セクションが収縮できるようにベルトを調整します。ベルトが収縮し、KISI システムはカチッと音をたてて固定されます。
4. シートベルトを可能な限り収縮したら、上部セクションを引っ張ってシートベルトがロックされていることを確認します。

i 注意: シートベルトが完全に収縮すると KISI システムは解除され、通常のシートベルトとして装着できます。KISI システムは一度ロックを解除すると、次にチャイルドシートを使用するときにシートベルトを完全に引き出した状態からあらためて KISI システムを作動させる必要があります。

展開式ロールオーバープロテクション

⚠ 警告: ロールオーバープロテクションシステムの展開ポイントには何も置かないでください。ロールオーバープロテクションシステムは、必要な場合に妨げなく展開できなければなりません。



エアバッグ（エアバッグシステム、1.21 ページを参照）に加えて、お客様のマクラーレンにはロールオーバープロテクションシステム（ROPS）が装備されています。ROPS は車両が横転した場合に、自動的に展開してコックピットエリアを保護します。

運転の前に アクティブエアマネジメントシステム

概要

 **警告:** フロントエアロブレードを閉じる際は、手や他の物体を挟まないように注意してください。挟み込み防止機能が搭載されていないため、開口部に物体や身体の一部が挟まれた場合でも、AAMS を閉じる動作は中止されません。重傷や車両の損傷が発生するおそれがあります。

 **警告:** AAMS は、大きな物体のキャビンへの飛び込みを防ぐことはできません。マクラーレンでは、本車両の運転中にヘルメットまたは衝撃耐性のある眼鏡の着用を推奨しています。

McLaren アクティブエアマネジメントシステム (AAMS) は、車両ノーズのダクトから空気を導き、キャビンの上に向かう流れを作り出し、対向する気流から乗員を保護します。

AAMS はデフォルトでオフに設定されています。「AAMS」ボタンを押して AAMS を作動させ、フロントエアロブレードを展開します。



 **注意:** 運転中に AAMS を作動または解除するには、ステアリングホイールを中央位置にする必要があります。

AAMS が展開した状態では、車両の性能が制限されます。

 **注意:** フロントエアロブレードを無理に閉じないでください。AAMS が損傷するおそれがあります。

AAMS を展開した状態で運転していると、ヘルメットを着用している場合、車両の乗員がバフェッティングの影響を受けることがあります。AAMS がオンのときにヘルメットを着用しない場合は、衝撃耐性のある眼鏡を常に着用する必要があります。

クリーニングについてはアクティブエアマネジメントシステムの洗浄、6.27 ページを参照してください。

運転の前に ミラー

外部ミラー

 **警告:** 運転の前に、道路や交通の状況を最も良く視認できるようにミラーを調整してください。

 **警告:** 一部の市場では、外部ミラーに凸面鏡を採用しています。こうしたミラーは視野が広くなりますが、鏡に映った像の大きさが小さくなります。これは、対象物が見かけよりも実際には近くにあることを意味します。後続車までの距離を誤認し、事故の原因となることを防止するために、車線変更時は後続車までの実際の距離を確認してください。

ステアリングホイールとセンターコンソール間のダッシュボードに外部ミラーの調整つまみがあります。

ミラーの調整



1. イグニッションスイッチをオンにします。
2. 左側ミラーを調整する場合は調整つまみを左 (1) に、右側ミラーを調整する場合は右 (2) に回します。
3. 調整つまみを上下左右に動かし、ミラーを好みの位置に調整します。

リバースギア時のミラーディップ

リバースギアにシフトしたときに、外部ミラーが下向きになるように設定することができます。これによって、車両後方の地面を確認できます。リバースミラーディップ、4.14 ページを参照してください。

熱線入りミラー

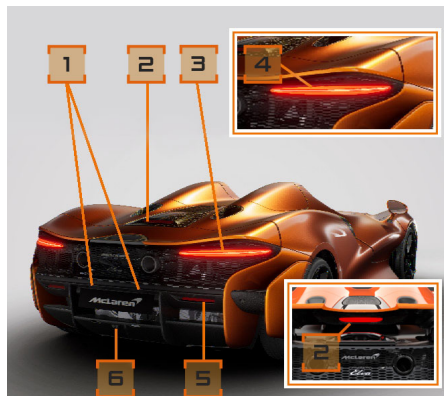
エンジン作動中に「熱線入りミラー」ボタンを押すと、外部ミラーの熱線がオンになります。気温が 5℃ (41°F) 以下になったときも、これらの熱線がオンになります。

運転の前に ライト

外部照明



1. ヘッドランプハイビーム
2. 方向指示器/デイトタイムランニングランプ/
サイドランプ
3. ヘッドランプロービーム
4. サイド方向指示器



1. ナンバープレートランプ
2. センターハイマウントストップランプ
3. ストップランプ/テールランプ
4. 方向指示器
5. リフレクター
6. リバースランプとリアフォグランプ

ランプスイッチ

 **警告:** ランプは霧が発生しても自動的に点灯することはありません。オートマチックランプコントロールはあくまでも補助機能であり、車両のランプを点灯する責任は常にドライバーが負います。

ランプスイッチはステアリングホイールと運転席ドアの間にあり、以下のポジションがあります。

運転の前に ライト



(0) の位置で、デイトタイムランニングランプとテールランプは消灯します。

つまみを (A) の位置に回すと、オートマチックランプコントロールがオンになります。

つまみを (1) の位置に回すとサイドランプが、(2) の位置に回すとヘッドランプが点灯します。サイドランプ警告灯がドライバーディスプレイに点灯します。

オートマチックランプコントロール

周辺光が所定のレベルより下がると、サイドランプとロービームヘッドランプが自動的に点灯します。

オートマチックランプコントロールをオンにするには、ランプスイッチを (A) の位置に回します。

i 注意: ランプスイッチが (A) 位置に設定されているときに車両が雨を検知した場合、現在の外部ランプの照明レベルに関わらず、ロービームヘッドランプが自動的に点灯します。

i 注意: エクステリアランプスイッチが位置 (A) のときにリアフォグランプを点灯すると、周囲の光レベルに関わらず、ロービームヘッドランプも点灯します。リアフォグランプを消灯すると、周囲の光の条件に応じて、ロービームヘッドランプも消灯します。

サイドランプ

サイドランプおよびデイトタイムランニングランプは、ヘッドランプの下側に配された一連の発光ダイオードの組み合わせです。サイドランプはデイトタイムランニングランプよりも低輝度で点灯します。デイトタイムランニングランプ、1.33 ページを参照してください。

サイドランプ、テールランプ、ナンバープレートランプは、ランプスイッチを (1) の位置に回すと点灯します。

 サイドランプ通知灯がドライバーディスプレイに点灯します。

i 注意: 周辺光が所定のレベルより下がると、ロービームヘッドランプも自動的に点灯します。

ロービームヘッドランプ

ヘッドランプをオンにするには、ランプスイッチを (2) の位置に回します。

 ロービーム通知灯がドライバーディスプレイに点灯します。

i 注意: お客様のマクラーレンでは、道路の左側または右側のどちらを走行しても同一のロービーム設定が適用されます。

運転の前に ライト

ハイビームヘッドランプ



ハイビームに切り替えるには、ハイビームレバーを奥に押します。

 ハイビームヘッドランプ通知灯がドライバーディスプレイに点灯します。

ロービームに戻すには、ハイビームレバーを手前に引きます。

パッシングランプ

ハイビームレバーを手前いっぱいに引きます。



ハイビームヘッドランプ通知灯がドライバーディスプレイに点灯します。

ハイビームレバーを引いている間だけハイビームヘッドランプが点灯します。

ヘッドランプ

スタティックアダプティブヘッドランプ



スタティックアダプティブヘッドランプは、車両がヘッドランプを点灯して旋回するとき、進行方向をより明るく照らします。

高速道路ファンクションライティング

高速道路ファンクションライティングは、車速が事前設定したしきい値を超える場合に、ヘッドランプ照明を強くします。

運転の前に ライト

デイトタイムランニングランプ

お客様のマクラーレンには、イグニッションスイッチをオンにすると（すべてのランプのスイッチがオフであっても）自動的に点灯するデイトタイムランニングランプがテールランプとともに装備されています。サイドランプおよびデイトタイムランニングランプは、ヘッドランプの下側に配された一連の発光ダイオードの組み合わせです。デイトタイムランニングランプはサイドランプよりも高輝度で点灯します。

リアフォグランプ

警告: ランプは霧が発生しても自動的に点灯することはありません。

i 注意: リアフォグランプが作動するのは、ランプスイッチが（A）または（2）の位置にある場合のみです。ランプスイッチ、1.30 ページを参照してください。



ランプスイッチの中央にあるリアフォグランプボタンを押します。

Q ドライバーディスプレイにあるリアフォグランプ通知灯およびスイッチ内のランプが両方とも点灯します。

i 注意: ランプスイッチが（A）位置のときにリアフォグランプを点灯すると、周囲の光の条件にかかわらず、ロービームヘッドランプも点灯します。リアフォグランプを消灯すると、周囲の光の条件に応じて、ロービームヘッドランプも消灯します。

運転の前に ライト

方向指示器



次のどちらかの操作を行います。

- 左方向指示器を作動させるには、方向指示器/ハイビームレバーを押し下げます
- 右方向指示器を作動させるには、方向指示器/ハイビームレバーを押し上げます



ドライバーディスプレイにある対応する通知灯が点滅します。

レバーはステアリングホイールを直進位置に戻すと、元の位置に戻ります。

方向指示器 - 車線変更

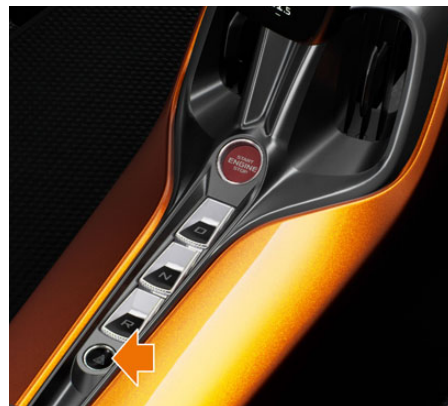
高速道路で車線変更する際には方向指示器/ハイビームレバーを抵抗が感じられる位置まで動かします。該当する方向指示器が3回点滅します。

照明に関する詳細についてはランプスイッチ、1.30 ページを参照してください。

ハザード警告灯

ハザード警告灯はイグニッションスイッチがオフの場合も作動します。ハザード警告灯はエアバッグが展開したときには安全機能として自動的に点灯します。

ハザード警告灯の操作



ハザード警告灯をオンにするには、「ハザード警告灯」ボタンを押します。

すべての方向指示器ランプとドライバーディスプレイの両方の方向指示器警告灯が点滅します。

運転の前に ライト

ハザード警告灯をオフにするには、再度「ハザード警告灯」ボタンを押します。

i 注意: ハザード警告灯が自動的にオンになった場合は、「ハザード警告灯」ボタンを1回押してハザード警告灯をオフにしてください。

パニックアラーム

パニックアラーム機能は、ホーンの鳴動と方向指示器ランプの点滅を繰り返すことによって注意を引くように設計されています。

パニックアラームは「ハザード警告灯」ボタンを3秒以上押し続けることで作動させることができます。

ホーンはパニックアラームが60秒間作動し続けると停止しますが、方向指示器ランプは点滅を続けます。ホーンは「ハザード警告灯」ボタンを3秒以上押し続けることで再び作動させることができます。

パニックアラームをオフにするには、「ハザード警告灯」ボタンを短く押します。

パーキングランプ



i 注意: パーキングランプはイグニッションスイッチがオフのときにのみ作動します。

パーキングランプをオンにするには、左側の場合は方向指示器/ハイビームレバーを下に、右側の場合は上に、抵抗が感じられる位置まで押します。車両にロックがかかると、選択したパーキングランプが点灯します。

パーキングランプをオフにするには、左側の場合は方向指示器/ハイビームレバーを下に、右側の場合は上に、抵抗が感じられる位置まで押します。

すると、選択したパーキングランプがオフになります。

i 注意: 両側のパーキングランプを作動させるには、方向指示器/ハイビームレバーを押し下げてから押し上げます。無効にするには、方向指示器/ハイビームレバーを再び押し下げてから押し上げます。

運転の前に 車両リフト

車両リフト

⚠ 警告: 車両リフトをジャッキアップシステムとして使用しないでください。車両リフトを使用して車両の底部に入ると、重傷を負うおそれがあります。

i 注意: ドライバーディスプレイの車両リフトアイコンがアンバー色になっている場合、または車両リフト障害メッセージがドライバーディスプレイに表示された場合、システムは使用できません。その場合は車両を高速で運転せず、速やかにマクラーレン代理店にご連絡ください。

「車両リフト」メニューには、次のオプションがあります。

- 車両リフト - 上昇、1.37 ページ
- 車両リフト - 下降、1.37 ページ

車両リフトを使用すると、現在の車高に応じて車両を上昇/下降させることができます。

車高を上昇させることができるのは、走行速度が 50 km/h (31 mph) 以下のときだけです。60 km/h (37 mph) を超えると、車高は自動的に下降します。

i 注意: サスペンションは長時間上げた状態を保つことができますが、時間が経つと緩んで下がる可能性があります。

車両を長時間上昇したままの位置にしておくと、次にエンジンを始動したときにシステムがリセットされ、車両が通常の車高に戻る場合があります。

走行中に車両リフトを使用した場合、ステアリングの感覚がわずかに変化する場合があります。これは異常ではなく、車両の動作に影響を与えるものではありません。

i 注意: 車両リフトの昇降中は、車両のハンドリングモードは使用できません。

i 注意: 発進モードがアクティブの場合、車両リフトは使用できません。

i 注意: 車両リフトは、エンジンが作動している場合에만使用可能です。

i 注意: エンジンがエコスタート-ストップシステムによって停止されている間に車両リフトが要求された場合、エンジンは自動的に再始動します。

車両リフトの操作



車両リフトを作動させるには、ステアリングコラムの右側にあるコントロールレバーのボタンを押します。車両リフトが作動すると、確認音が鳴ります。

i 注意: 車両リフトは、エンジンが作動していてドアが閉じている場合에만使用できます。

i 注意: エンジンがエコスタート-ストップシステムによって停止されている間に車両リフトが要求された場合、エンジンは自動的に再始動します。

運転の前に 車両リフト

- i** 注意: 車両リフトの昇降中は、車両のハンドリングモードは使用できません。
- i** 注意: 車両リフトは、発進モードがアクティブの場合は使用できません。

車両リフト - 上昇



車両を上昇させるには、コントロールレバーのボタンを押します。

- i** 注意: 車両が通常の高さの場合、車両前部の上昇オプションのみ使用できます。
-  車高の変更を確認する上昇音が聞こえ、「車両リフト」アイコンが点灯します。
- i** 注意: ステアリングホイールを過度に回すと、車両リフトの開始が遅れます。

車両が上昇しているときにエンジンが停止すると、システムは停止します。エンジンが再始動すると上昇を続行します。

上昇から下降に切り替えるには、コントロールレバーのボタンを押します。車両は下降を始め、ドライバーディスプレイに変更を確認する情報が表示されます。

車両が完全に上昇すると、確認音が鳴ります。車両を持ち上げたままのときは、「車両リフト」アイコンが点灯します。

- i** 注意: 車両を運転する前には、必ずディスプレイの車両リフトアイコンを確認してください。

車両リフト - 下降

- i** 注意: 停止している間に車両を下げるには、エンジンが作動し、運転席のドアが完全に閉じていなければなりません。
- i** 注意: 車両の下降中は、車両を高速で運転しないでください。車両の下降が始まると、下降音が鳴り、「車両リフト」メニューがドライバーディスプレイに表示され、ドライバーがシステムをコントロールすることが可能になります。
- i** 注意: 車両を運転する前に、必ずドライバーディスプレイの車両リフトアイコンを確認してください。



運転の前に 車両リフト

車両を下降させるには、コントロールレバーのボタンを押します。



注意: 車両が上昇状態のときは、車両を下降させるオプションのみ使用できます。



車高の変更を確認する下降音が鳴り、画面の「車両下降」アイコンが点灯します。

下降から上昇に切り替えるには、コントロールレバーのボタンを押します。車両は上昇を始め、ドライバーディスプレイに変更を確認する情報が表示されます。

車両が下がると確認音が鳴り、「車両リフト」アイコンが消灯します。



運転操作装置

始動および走行	2.4
車両の電気の状態.....	2.4
ロック.....	2.4
スリープ.....	2.4
アウェイク.....	2.4
イグニッション.....	2.4
クランキング.....	2.4
パワーセービングモード.....	2.4
駐車日数.....	2.5
イグニッションのスイッチをオンにする.....	2.5
インストルメントと警告灯.....	2.6
警告灯.....	2.6
通知灯.....	2.6
ドライバーディスプレイの概要.....	2.7
ドライバーディスプレイ - 左側.....	2.7
ドライバーディスプレイ - 右側.....	2.8
シームレスシフトギアボックスのギア位置.....	2.8
パーキングブレーキ.....	2.8
パーキングブレーキの状態.....	2.8
パーキングブレーキの操作.....	2.9
ブレーキペダル.....	2.10
ブレーキディスクおよびパッド.....	2.10
ブレーキ警告灯.....	2.10
エンジンの始動 / 停止.....	2.10
エンジンの始動.....	2.11
エンジンの停止.....	2.11
エコスタート - ストップシステム.....	2.12
システムの操作.....	2.12
停止.....	2.13
走行.....	2.13

発進.....	2.13
エンジン警告灯.....	2.14
フェイルセーフモード.....	2.14
経済走行.....	2.14
排気ガス温度監視.....	2.15
パーキングセンサー.....	2.15
リアビューカメラ.....	2.17
シームレスシフトギアボックス	2.17
概要.....	2.17
ギア位置.....	2.18
ドライブ.....	2.18
ニュートラル.....	2.18
リバース.....	2.18
アクセルペダル位置.....	2.19
キックダウン.....	2.19
マニュアル / オートマチックモード.....	2.19
ギアシフトパドル.....	2.21
Pre-Cog.....	2.21
ハンドリングとパワートレインコントロール	2.22
ハンドリングコントロール.....	2.22
モードの選択.....	2.22
モード.....	2.23
パワートレインコントロール.....	2.23
モードの選択.....	2.23
アクティブモード.....	2.24
ノンアクティブモード.....	2.25
エコノミーモード.....	2.25
モードメモリー.....	2.25

運転操作装置

発進コントロール	2.26	マニュアルテスト	2.35
発進コントロール手順	2.26	アクティブセンターマウントストップランプ	2.35
走行安全システム	2.27	タイヤ空気圧監視システム	2.36
一般	2.27	タイヤ空気圧監視システムの概要	2.36
アンチロックブレーキシステム	2.28	タイヤ空気圧監視システムの動作	2.36
アンチロックブレーキシステム状態表示灯	2.28	タイヤ温度監視システムの動作	2.38
ブレーキアシストシステム	2.29	クルーズコントロール	2.38
ヒルホールドコントロール	2.29	概要	2.38
ブレーキステア	2.29	クルーズコントロールの使用	2.39
電子制御ブレーキ予備充填	2.30	クルーズコントロールのキャンセル	2.39
エレクトロニクススタビリティコントロール	2.30	クルーズコントロールの速度を上げる	2.40
トラクションコントロールシステム	2.30	クルーズコントロールの速度を下げる	2.40
エレクトロニクススタビリティコントロールを非アクティブにする	2.30	保存した速度の呼び出し	2.41
エレクトロニクススタビリティコントロールダイナミックモード	2.31	アクティブスピードリミッター	2.41
スポーツダイナミックモード	2.31	速度上限の設定	2.41
トラックダイナミックモード	2.31	速度の選択	2.42
可変ドリフトコントロール	2.31	アクティブスピードリミッターのキャンセル	2.42
ESC オフ	2.32	慣らし運転	2.42
エレクトロニクススタビリティコントロールを再びアクティブにする	2.32	慣らし運転	2.43
再アクティブ手順	2.32	エンジンおよびギアボックス	2.43
アクティブエアロ	2.33	ブレーキ	2.43
エアブレーキ - 「AERO (エアロ)」 ボタンオフ	2.33	標準 / 道路での使用	2.43
エアブレーキ - 「AERO (エアロ)」 ボタンオン	2.33	サーキットでの使用	2.43
エアブレーキを下げる - 走行中	2.34	給油	2.43
エアブレーキを下げる - 停車中	2.34	燃料の給油	2.44
エアブレーキの操作	2.34	ガソリンスタンドの給油機による給油	2.44
エアブレーキセルフテスト	2.35	燃料フィルターパイプを使用した給油	2.44

運転操作装置

推奨燃料.....	2.45
冬季の走行.....	2.46
冬季の走行.....	2.46
スノーソックス	2.46

運転操作装置 始動および走行

車両の電气的状態

この車は以下に説明する基準に応じて、次の状態のうちひとつを発動します。

-  注意: ロック状態を除き、以下のどの状態からでもエンジンを始動することができます。
-  注意: 車両がスリープモードの場合は、「START/STOP（始動/停止）」ボタンを2秒以上押し続けます。
-  注意: 車両はバッテリーの残量が少なくなっていることを検知するとエネルギーを節約するためにアウェイクモードになります。イグニッションの使用は停止されますがクランキングは行うことができます。これは、エンジンを始動してバッテリーの充電を開始できるようにするためです。

ロック

ローパワーモードにロックされます。

スリープ

ローパワーモードになりますが、ロックはされません。

アウェイク

スリープモードの状態ではドアを開けるか「START/STOP（始動/停止）」ボタンを押すとこの状態になります。

時刻、オドメーター、バッテリーの状態、およびフューエルゲージはドライバーディスプレイで確認できます。

60 秒間操作を行わないとスリープモードに戻ります。

イグニッション

アウェイクモードのときに「START/STOP（始動/停止）」ボタンを押すとこの状態になります。

ヒーター/エアコン調節ダイヤルを操作できます。ドライバーディスプレイのメニューとマクラーレンインフォテインメントシステム（MIS）が使用できます。

-  注意: イグニッションオンの状態にはタイムアウトはありません。バッテリーが上がる可能性があるので注意してください。

クランキング

エンジンの始動/停止、2.10 ページを参照してください。

パワーセービングモード

非常にまれな状況下で、車両が十分な電圧を供給することができない場合、パワーセービングモードが有効になります。

 **警告: パワーセービングモードが有効な場合、温度調節およびステアリングは低減効果で動作します。**

-  注意: パワーセービングモードが有効な場合、「バッテリー管理有効 - オーナーズマニュアル参照」というメッセージがドライバーディスプレイに表示されます。

運転操作装置 始動および走行

駐車日数



車両がアウェイクモードのときは、「駐車日数」の残りがドライバーディスプレイに表示されます。これはエンジンを始動したり、バッテリーチャージャーに接続せずにバッテリーが放電するまで車両を駐車できる最大日数を示します。

イグニッションのスイッチをオンにする



1. リモコンキーが車内にあることを確認してください。
 2. エンジンを始動せずにイグニッションのスイッチをオンにするにはブレーキペダルを踏まずに「START/STOP（始動/停止）」ボタンを押します。
 3. イグニッションスイッチがオンになり、油温計、水温計、燃料計が作動し、セルフテストのためにいくつかの警告灯が点灯します。ドライバーディスプレイ全体が点灯します。
- i 注意:** 車両がアウェイクモードのときは、ブレーキペダルを放して「START/STOP（始動/停止）」ボタンを2回押します。

運転操作装置 始動および走行

インストルメントと警告灯

警告灯は点灯時の色によって分類されます。

赤またはアンバー色の警告灯は、故障が検知されたことを示します。赤ランプによって表示された故障は、アンバー色による表示よりも重要度の高い故障です。

青または緑色の通知灯は、システムや機能の電源がオンになり動作中であることを示します。

警告灯

	タイヤ空気圧監視システム、2.36 ページ。
	シートベルト、1.19 ページ。
	リアフォグランプ、1.33 ページ。
	補助拘束装置、1.21 ページ。
	エレクトロニックスタビリティコントロール、2.30 ページ。
	走行、2.13 ページ。
	アンチロックブレーキシステム、2.28 ページ。
	ブレーキペダル、2.10 ページ。 パーキングブレーキ、2.8 ページ。

	オイル圧低下警告灯。点灯した場合は、安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレーン代理店にご連絡ください。
	エンジンクランク過熱警告灯。点灯した場合は、安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレーン代理店にご連絡ください。
	バッテリー充電切れ警告灯。点灯した場合は、安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレーン代理店にご連絡ください。
	エレクトロニックスタビリティコントロールシステム故障警告灯。点灯した場合は、故障の状態に合わせた運転を行ってください。マクラレーン代理店にお問い合わせください。
	燃料残量低下警告灯。点灯した場合は、できるだけ早く給油してください。燃料の給油、2.44 ページを参照してください。
	一般障害警告灯。点灯すると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレーン代理店にご連絡ください。

	一般障害注意灯。点灯すると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレーン代理店にご連絡ください。
---	--

通知灯

	方向指示器、1.34 ページ。
	ハイビームヘッドランプ、1.32 ページ。
	ランプスイッチ、1.30 ページ。
	ランプスイッチ、1.30 ページ。
	方向指示器、1.34 ページ。

運転操作装置 始動および走行

ドライバーディスプレイの概要



1. タコメーター、3.2 ページ。
2. スピードメーター、3.3 ページ。

ドライバーディスプレイ - 左側



ドライバーディスプレイには、ドライバーに対する重要な情報が表示されます。これは選択したモードと車両の設定によって異なります。

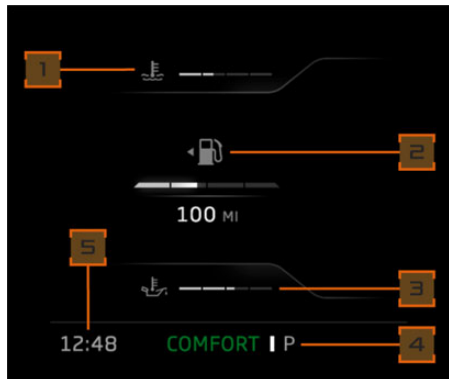
1. ハンドリングコントロール、2.22 ページ。
2. 外気温度



メニューはコントロールレバーを使って操作します。

運転操作装置 始動および走行

ドライバーディスプレイ - 右側



1. 水温、3.14 ページ。
2. 燃料残量および範囲、3.15 ページ。
3. オイル温度、3.14 ページ。
4. パワートレインコントロール、2.23 ページ。
5. 時間。

シームレスシフトギアボックスのギア位置

ギアボックスはフルオートマチックまたはマニュアルモードで動作します。

ドライバーがマニュアルモードを選択しない限り、オートマチックモードが選択されます。ギア位置、2.18 ページとマニュアル/オートマチックモード、2.19 ページを参照してください。

マニュアルモードがアクティブの場合、ギアチェンジはギアシフトパドルを用いて行います。ギアシフトパドル、2.21 ページを参照してください。

パーキングブレーキ



注意: 急な下り坂の斜面に駐車する場合は、フロントホイールを縁石の方向に向けます。急な上り坂の斜面に駐車する場合は、フロントホイールを縁石の反対方向に向けます。

パーキングブレーキの状態



パーキングブレーキ作動表示灯が点滅しているときは、パーキングブレーキの作動/解除がされなかったことを意味します。この問題を解決するには、再度パーキングブレーキの作動/解除操作を行ってください。パーキングブレーキの操作、2.9 ページを参照してください。

運転操作装置 始動および走行

ブレーキペダル

 警告: 運転席のフットウェルには物を置かないでください。フロアマットやカーペットが適切に固定されており、ペダル操作の妨げにならないことを確認してください。

ペダルの間に物が挟まった場合、ブレーキやアクセルの操作ができず事故につながるおそれがあります。

 警告: ブレーキシステムはエンジンが回転している間はサーボアシストが働いています。ブレーキはエンジンを停止しても機能しますが、強い力でペダルを踏まないとブレーキが利きません。

 警告: ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。足を乗せているとブレーキがオーバーヒートして制動力が低下し、過度の摩耗を引き起こします。

 警告: 走行中にブレーキ警告灯が点灯した場合は、安全に速やかに停車し、直ちにマクラレン代理店にご連絡ください。

ブレーキディスクおよびパッド

 警告: ブレーキパッドを新品に交換した場合は、なじむまで一定の時間がかかります。交換後 1,000 km (625 マイル) までは急ブレーキが必要になるような走行は避けてください。

ブレーキディスクおよびパッドの摩耗は、運転スタイルや走行条件によって変わります。

ブレーキ警告灯

 ブレーキ警告灯はイグニッションスイッチをオンにするとシステムテストとして点灯します。それ以外のときにブレーキ警告灯が点灯した場合は故障を示します。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレン代理店にご連絡ください。

エンジンの始動/停止

 警告: 閉ざされた空間に車両があるときは、決してエンジンをかけないでください。排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと意識を失い死に至るおそれがあります。

 注意: エンジンの始動時にアクセルペダルを踏み込まないでください。

運転操作装置 始動および走行

エンジンの始動



1. リモコンキーが車内にあることを確認します。
2. ブレーキペダルを踏み込み、「START/STOP（始動/停止）」ボタンを押して放します。エンジンが始動します。
3. エンジンがクランキング中に再度「START/STOP（始動/停止）」ボタンを押すとクランキングが停止します。

エンジンの停止



1. ブレーキペダルを踏みます。
2. ニュートラルを選択します。
3. 「START/STOP（始動/停止）」ボタンを押します。エンジンが停止し、イモビライザが作動します。車両はアウェイクモードに入ります。車両の電气的状態、2.4 ページを参照してください。

i 注意: エンジンが停止すると、パーキングブレーキは自動的にがかかります。自動パーキングブレーキは、運転席ドアを開けたままパーキングブレーキスイッチをオフの位置で押し続けると無効にすることができます。

運転操作装置

始動および走行

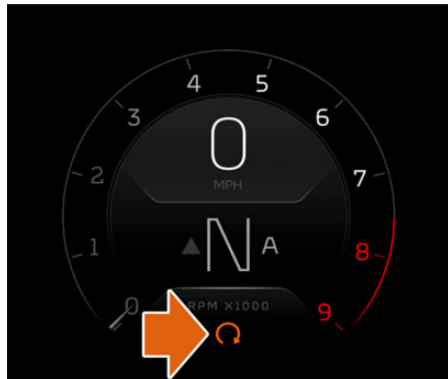
エコスタート-ストップシステム

このシステムは燃料消費と排気ガス排出量の削減が可能になる条件の場合、自動的にエンジンを停止し、必要に応じて再び始動させます。

自動的にエンジンを停止させるには、システムが次の条件を満たしている必要があります：

- ドライバーの存在を検出していること
- 走行速度が前回の停止から 10 km/h (6 mph) を超えていること
- エンジンが標準動作温度であること
- 車両バッテリーがフル充電されていること
- エアコンの要求が高すぎないこと
- コンフォートパワートレインモードが有効であること

システムの操作



極低速で、ステータスアイコンがドライバーディスプレイに表示されます。アイコンが以下のように点灯します。

- 条件を満たしていない場合はオレンジ色に点灯し、システムは使用できません
- すべての条件を満たしている場合は緑色に点灯し、システムを使用できます

ブレーキペダルが踏み込まれた場合、システムは自動的にエンジンを停止し、車両は減速して完全に停止します。

「ENGINE STOPPED (エンジン停止)」というメッセージがドライバーディスプレイに表示されます。

ブレーキペダルが解放される、またはエンジンの再始動が必要な状態が検出されると、エンジンは自動的に再始動します。

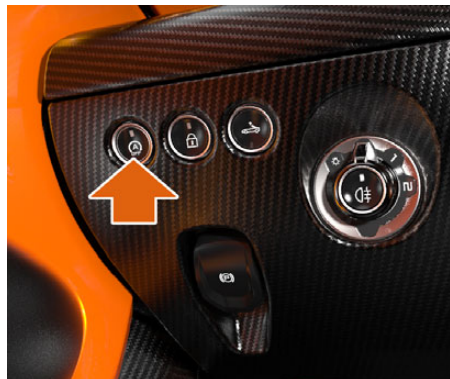
i 注意：エンジン停止中にパーキングブレーキがかかっている場合、ブレーキペダルを解放しても、エンジンは再始動しません。オートマチックリスタートを開始するには、ブレーキペダルを踏み込み、パーキングブレーキを解除してからブレーキペダルを放します。

i 注意：電気、エアコンまたはその他の車両電源の需要を維持するため、ブレーキペダルが解放される前にエンジンが自動的に再始動する場合があります。

運転操作装置

始動および走行

停止



「エコスタート-ストップオフ」ボタンを押して、システムを停止させます。ボタンのライトが点灯し、ドライバーディスプレイのステータスランプが消灯します。

システムを起動するには、もう一度ボタンを押します。

- i** 注意: エンジンが自動的に停止しているときに「エコスタート-ストップオフ」ボタンが押された場合、エンジンは再始動します。

- i** 注意: システムが停止していてもイグニッションをオンにすると、デフォルトで起動します。

走行

発進

- !** 警告: ステアリングやフットブレーキのアシスト機能が働かなくなるため、運転中は決してエンジンを停止しないでください。ステアリングやブレーキの操作に大きな力が必要になるため、車両がコントロール不能になり事故につながるおそれがあります。

- i** 注意: エンジンが標準運転温度になるまではエンジン回転数をあまり上げないように走行してください。
- i** 注意: 車速が約 15 km/h (9 mph) に達するとドアがロックされます。オートロックはセンターディスプレイで設定できます。自動ドアロック、4.12 ページを参照してください。
- i** 注意: 駐車の際に切り返し操作が多い場合、ステアリングアシストは少し硬めに感じるかもしれません。これは正常であって、オーバーヒートからステアリングシステムを保護するためです。

運転操作装置 始動および走行

i 注意: 冷機状態から始動した場合、エンジンアイドリングの回転数が上昇し、ギアチェンジが行われる回転数が暖機時よりも高くなる可能性があります。触媒コンバーターが短時間で作動温度に達し、エンジン排出ガスを低減します。

1. エンジンが動作中にブレーキペダルを踏み続けます。
2. ドライブギアまたはリバースギアを選択するか、ギアシフトパドルを用いてシフトアップを行います。詳しい説明はギアシフトパドル、2.21 ページおよびギア位置、2.18 ページを参照してください。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを解除します。ドライブディスプレイの赤色ステータスランプが消灯します。

i 注意: パーキングブレーキが手動で解除されない場合、車両を走行させると、以下の条件が満たされた場合に限り、自動的に解除されます。

- すべてのドアを閉めている
- 運転席シートベルトが締結されている

⚠ 警告: パーキングブレーキを手動で解除した場合、車両が動き出すことがあります。

4. アクセルペダルを慎重に踏み込みます。

エンジン警告灯



エンジン警告灯はイグニッションスイッチをオンにすると点灯し、故障がなければエンジンを始動するとすぐに消灯します。

走行中にこの警告灯が点灯した場合はエンジンマネージメントの故障が検出され、エンジン性能が低下している可能性があります。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラーレン代理店にご連絡ください。

フェイルセーフモード

車両またはシステム性能を制限しないと車両にそれ以上の損傷が生じる可能性のある不具合を車両システムが検知すると、フェイルセーフモードが自動的に作動します。このモードで運転する場合は注意が必要です。直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

経済走行

燃費を改善するには、以下のことに気をつけてください。

- 停止した状態から走行を開始するときはゆっくりと、滑らかに加速してください
- マニュアルモードではできる限り早めにシフトアップし、エンジンが高回転になるのを避けてください



シフトアップで最大限の省燃費性能を維持できるときは、ギアシフトインジケーター (GSI) が点灯します。

i 注意: 市場によっては利用可能でない場合があるので、マクラーレン代理店にご相談ください。

- エンジンに高い負荷をかけたり極端に高回転にするのを避けてください
- 不要時はエアコンのスイッチを切ってください
- 渋滞しやすい場所の走行は避けてください
- 運転スタイルが道路や交通状況に適していることを確認してください。時間をかけて、スムーズで段階的な加速とブレーキを行います

運転操作装置

始動および走行

排気ガス温度監視

車両は常時、排気ガス温度を監視し、触媒コンバーターに過熱により生じる損傷が起こらないようにしています。

過剰な排気ガス温度が検出されると、ドライバーディスプレイに警告が表示されます。このメッセージを確認したら、直ちに車両の速度を落としてください。高いエンジン回転数と高いエンジン負荷（フルスロットル）を伴う車両操作を中断し、排気ガスの温度が下がるのを待ってください。このメッセージは温度が下がるまで点灯を続けます。

排気ガス温度が過剰なレベルのまま下がらないと、別の警告が表示され、フェイルセーフモードが起動します。車両を再度始動するまで、エンジン性能が制限されます。

 注意: 触媒コンバーターの過熱警告は、通常の走行中に表示されることはほとんどなく、極端な運転条件の結果起こります。高い排気ガス温度は例えば、長時間のサーキット走行、長時間高回転を維持し続けること、スロットル操作を急激に何度も変化させることなどによって引き起こされることがあります。

 注意: 高い排気ガス温度は触媒コンバーターに損傷を引き起こす可能性があるもので、慎重な運転を行うことで避けなければなりません。

警告が引き続き表示される場合はマクラーレン代理店にご連絡ください。

パーキングセンサー

パーキングセンサーは、低速での運転操作時に障害物があるとドライバーに警告します。このシステムはフロントバンパー内の4個の超音波センサー、リアバンパー内の4個の超音波センサーおよび2個の音響器で構成されています。各音響器はピッチが異なり、障害物が車両のフロント側にあるのかリア側にあるのかを判別できます。

エンジン作動中にドライブが選択されている場合、フロントパーキングセンサーは自動的にオンになります。リアパーキングセンサーは、リバースギアを選択すると自動的に作動します。パーキングセンサーボタンの周囲のランプがアンバー色で点灯する場合、パーキングセンサーが作動していることを示します。

運転操作装置 始動および走行



フロントパーキングセンサーは、車両のギアがニュートラルに入っており、システムを手動でオンにした場合に、有効にできます。

フロントバンパーの中央のセンサーの検知範囲は、約 1m (3 フィート) です。リアバンパーの中央のセンサーの検知範囲は、約 1.5m (5 フィート) です。

検知範囲内に障害物があると、断続的なトーンが鳴ります。車両が障害物に近づくと、トーンの周期が短くなります。センサーから障害物までの距離が約 40 cm (1 フィート 6 インチ) 未満になると、トーンが連続音になります。

⚠ 警告: パーキングセンサーは、子供や動物などの動く物は至近距離まで近づかないと検知することができません。常に警戒を怠らず、必ずミラーを使用し、振り向いて後方を確認しながら操作を行ってください。

i 注意: パーキングセンサーはあくまでも目安に過ぎず、運転の際にドライバーが障害物を目視確認する代わりとなるものではありません。パーキングセンサーは細い柱や、縁石などの地表近くの小さい障害物など、一部の障害物は検知できません。

リアパーキングセンサーはリバースギア以外にシフトすると自動的にスイッチがオフになります。

車速が 26 km/h (16 mph) を超えてドライブが選択されている場合、フロントパーキングセンサーは自動的にオフになります。

ボタンの中央を押して、パーキングセンサーを手動で起動している場合、車速が 20 km/h (12 mph) に減速されると、フロントパーキングセンサーが再び起動します。

パーキングセンサーは、ボタンの中央を長押しすると手動でオフにできます。

セントラルインフォテインメントタッチスクリーンからパーキングセンサーの近接表示を解除するには、ドライブまたはニュートラルの状態ではボタンの中央を押します。

リバースギアが選択されている場合、パーキングセンサーを手動でオフにすることはできません。パーキングセンサーを手動でオフにすると、ボタンの周りのライトが消灯します。

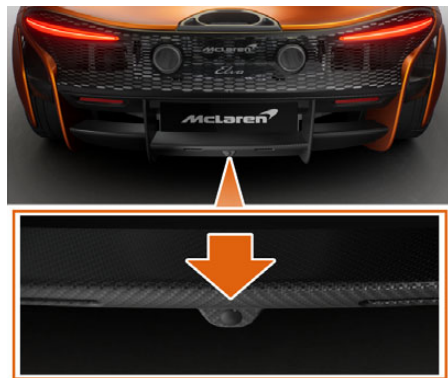
システムを手動でオフにしても、リバースギアを選択するとフロントとリアのセンサーがオンになり、ドライブまたはニュートラルを選択するまで解除されません。

故障が検知されると、システムが無効になり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、パーキングセンサーボタンのランプが点滅します。センサーに泥や氷、雪などが付着している場合は取り除いてください。問題が解決しない場合はマクラーレン代理店にご連絡ください。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

リアビューカメラ



リアビューカメラ（RVC）は、リアバンパーの中央に取り付けられています。機能をアクティブにすると、ライブビデオ画像がドライバーディスプレイに表示されます。

i 注意: ビデオ画像がぼやけていたり不鮮明な場合は、水で湿らせた柔らかい布でレンズを慎重に清掃してください。

ライブビデオ画像には、色付きのグリッドが表示されます。このグリッドは車両後部と障害物の距離を測るためのガイドとして使用できます。

i 注意: リアビューカメラはあくまでも目安に過ぎず、運転の際にドライバーが障害物を目視確認する代わりとなるものではありません。リアビューカメラは、周辺光や気象条件によっては一部の障害物を表示しない場合があります。

RVC は、リバースギアを選択すると自動的にアクティブになり、前進ギアを選択してから 10 秒後に自動的にオフになります。また、前進車速が 10 km/h（6 mph）を超えると直ちにオフになります。

■ RVC が手動で作動し、セントラルインフォテインメントタッチスクリーンに表示されている場合は、オンスクリーンアイコンにタッチすることで解除できます。ステータスバーの下の任意の場所にタッチするか、セントラルインフォテインメントタッチスクリーンのボタンを実際に押しても RVC は解除されます。

概要

ギアボックスは 7 速デュアルクラッチシームレスシフトギアボックスを採用し、オートマチックまたはマニュアルモードで動作します。

ドライバーがマニュアルモードを選択しない限り、オートマチックモードが選択されます。マニュアル/オートマチックモード、2.19 ページを参照してください。

オートマチックモードでは、ギアボックスは次の条件に基づき最も適切なギアを選択し、ドライバーの運転スタイルに合わせてシフトポイントを自動的に最適化します。

- パワートレインコントロール、2.23 ページ
- アクセルペダル位置、2.19 ページ
- 車速
- ブレーキ踏力

i 注意: エンジンやギアボックスが暖まるまでは、高回転走行や高負荷走行は行わないでください。滑りやすい路面を走行する際にリアホイールを長時間スピンさせないでください。ドライブレインが損傷するおそれがあります。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

ギア位置



ギア位置ボタンのいずれかを押ししてください。

- i** 注意: ドライブ、ニュートラル、リバースのうちどれが選択されているかを示すため、ボタンの文字が赤く点灯します。

ドライブ

□ 7 速前進ギアをすべて利用できます。マニュアルモードが選択されていない限り、ギアチェンジはオートマチックになります。

ドライブを選択してブレーキを放すと、車両はアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き始めます。これにより、駐車時や渋滞時の運転操作が楽になります。

ニュートラル

N ギアは入りません。ブレーキを放すと（車両を押したり、けん引したり）自由に動かすことができます。けん引の場合のニュートラルの詳しい使用方法是、回収のためのけん引、6.33 ページを参照してください。

ニュートラルはどの速度でも「N」ボタンを押すことで選択できます。「D」ボタンを押すか、ギアシフトパドルを用いてシフトを開始し、車速に適切なギアを選択します。

リバース

R 通常の状況では、車両が静止しているときはリバースギアを選択します。

駐車時にドライブからリバースにすばやく変更し、再びドライブに戻すという操作が必要な場合、10 km/h（6 mph）以下の速度であれば走行したままリバースまたはドライブにギアチェンジすることができます。

- i** 注意: 速度が 10 km/h（6 mph）を超えるときにリバースまたはドライブにチェンジした場合、トランスミッションはセルフプロテクション機能によりニュートラルに入ります。10 km/h（6 mph）未満の速度で走行中は、「N」ボタンを押すことによってニュートラルを選択できます。

リバースを選択してブレーキを放すと、車両はアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き始めます。これにより、駐車時の運転操作を楽に行うことができます。



選択したギア（マニュアルモード）またはギア位置（オートマチックモード）がドライバーディスプレイに表示されます。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

i 注意: システムに通信障害が発生した場合は、ギア位置は表示されません。障害を通知するために、ドライバーディスプレイに警告メッセージが表示されます。

アクセルペダル位置

ドライバーの運転スタイルに応じ、シームレスシフトギアボックスのギアチェンジのパターンが変わります。アクセルペダルを軽く踏むドライバーの場合は、低めのエンジン回転数でシフトアップが行われます。アクセルペダルを強く踏むドライバーの場合は、高めのエンジン回転数でシフトアップが行われます。

キックダウン

キックダウンは自動モードの場合、迅速な加速を達成するよう設計されています。

アクセルペダルを圧力ポイントを越えていっぱいまで踏み込みます。ペダルからカチッと振動を感じます。ギアボックスが即座に選択可能な最低ギアにシフトダウンし、最大加速が行われます。ペダルから力を抜くとキックダウンが終了し、通常のギアチェンジパターンに戻ります。

ペダルを緩く踏んだ場合でも、車速によってはギアボックスがシフトダウンすることがあります。

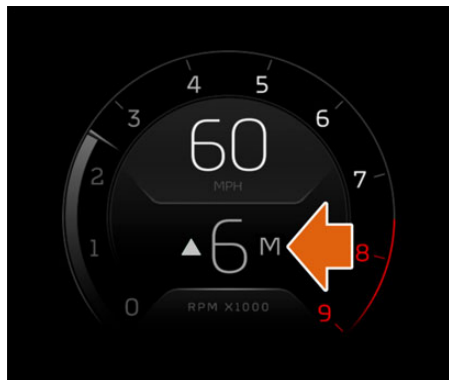
マニュアル/オートマチックモード



マニュアルモードを選択するには、「MANUAL (マニュアル)」ボタンを押します。

運転操作装置

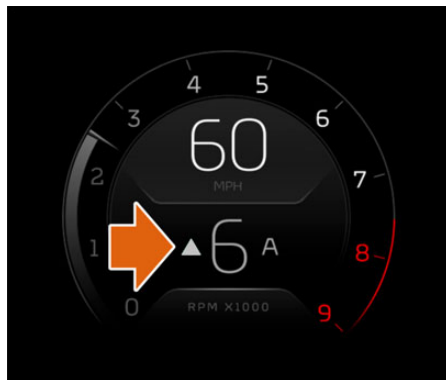
シームレスシフトギアボックス



ギアボックスモードインジケータには、M と現在選択されているギアが表示されます。すべての前進ギアチェンジは、ギアシフトパドルを使用して行います。ギアシフトパドル、2.21 ページを参照してください。

ギアシフトモード（PSC）はインジケータで、最適な性能を維持するためにシフトアップが必要になると音を鳴らして知らせます。

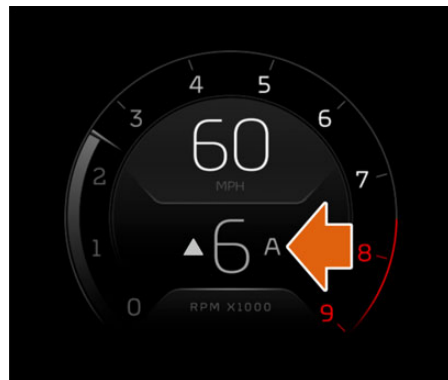
設定オプションについては、ギアシフトモード、4.12 ページを参照してください。



マニュアルモードで省燃費走行時には、シフトアップを行うことで最適な省燃費性能が維持できる場合にギアシフトインジケータ（GSI）が点灯します。要求される加速または原則がより高いギアに合わない場合は、GSI は点灯しません。経済走行、2.14 ページを参照してください。

i 注意: 市場によっては利用可能でない場合があるので、マクラーレン代理店にご相談ください。

再度「MANUAL（マニュアル）」ボタンを押すとオートマチックモードに戻ります。



ギアボックスモードインジケータに A と表示されます。ギアチェンジはすべて自動的に行われますが、ギアシフトパドルを操作するとギアボックスは一時的にマニュアルモードになります。このモードは、ドライバーがマニュアルギアチェンジを続けている間アクティブになります。ギアボックスモードインジケータには「A/M」と表示されます。ギア位置インジケータ、3.13 ページを参照してください。

i 注意: マニュアルギアチェンジを行わずに 8 秒間が経過すると、ギアボックスはオートマチックモードに戻ります。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

ギアシフトパドル



シフトアップするには、右パドルを手前に引きめます。シフトダウンするには、左パドルを手前に引きめます。現在のギア位置がギア位置ディスプレイに表示されます。ギア位置インジケータ、3.13 ページを参照してください。

i 注意: 一体型パドルとセンターピボット構造により、どちらのパドルを使用してもシフトアップ、シフトダウンができます。

上述の方法以外にも、左パドルを押すことによってシフトアップ、右パドルを押すことによってシフトダウンすることができます。

ギアシフトパドルは選択したハンドリングおよびパワートレインモードに関係なく動作します。また、ギアチェンジの際にアクセルペダルを離す必要也没有ありません。

⚠ 警告: マニュアルモードの場合、本車両は安全のためにエンジン回転数をモニターし、必要に応じてオートマチックギアチェンジを行うことがあります。

⚠ 警告: 滑りやすい路面では、シフトダウンしてエンジンブレーキを作動させないでください。

i 注意: オートマチックモードでパドルを操作した場合、ギアチェンジをしないまま8秒間が経過するとギアボックスはオートマチックモードに戻ります。

ブレーキをかけているときに選択可能な最低ギアにすぐにシフトするには、パドルでシフトダウンを選択して長押しします。そうすると、最適なギアに達するかパドルを離すまで、低いギアへ順番にシフトしていきます。

車速が 10 km/h (6 mph) 未満の場合、またはギアを選択したまま停車した場合、パドルをシフトダウン方向に押し続けるとニュートラルになります。

ニュートラルはどの速度でも「N」ボタンを押すことで選択できます。「D」ボタンを押すか、ギアシフトパドルを用いてシフトを開始し、車速に適切なギアを選択します。

Pre-Cog

ギアボックスは次のギアチェンジを予測して必要なギアをあらかじめ選択することにより、迅速でシームレスなギアチェンジを確実にします。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

車両が加速中でも、ギアボックスが次に高いギアをあらかじめ自動的に選択します。急加速後すぐにシフトダウンが必要な場合は、シフトダウンパドルを軽く引いて Pre-Cog 位置に保持し、次に低いギアをあらかじめ選択します。準備ができたなら、ほぼ一瞬でシフトダウンするためにパドルをいっぱいまで引きます。

減速中にシフトアップをあらかじめ選択するには、シフトアップパドルを軽く引いて Pre-Cog 位置に保持し、次に高いギアをあらかじめ選択します。準備ができたなら、あらかじめ自動選択されたシフトダウンのかわりに、ほぼ一瞬でシフトアップするためにパドルをいっぱいまで引きます。

ハンドリングコントロール

ハンドリングコントロールスイッチは、プロアクティブシャシーコントロールII システムに対して効果を発揮します。

モードの選択



i 注意: 車両をオンにすると、車両はコンフォートモードで始動します。

1. ハンドリングパドルを上を押すと、スポーツモードに切り替わります。
2. ハンドリングパドルをもう一度上を押すと、トラックモードに切り替わります。
3. スポーツモードまたはコンフォートモードに戻すには、ハンドリングパドルを押し下げます。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

モード

N	ノーマル	最も柔らかいサスペンション設定となり、コーナリング時の優れたボディコントロールを保ちながら快適な乗り心地を実現します。
S	スポーツ / ノンアクティブ	固めのサスペンションとなり、安定感のある乗り心地と強化されたハンドリング特性を実現します。
T	サーキット	最も固いサスペンションとなり、レーシングカー並みのハンドリングと走行特性を実現します。 エレクトロニックスタビリティコントロール警告灯が常時点灯します。

i 注意: ドライブバーディスプレイに表示される情報は、選択したハンドリングモードに応じて変化します。ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ、3.13 ページを参照してください。

選択を変更するか、あるいはイグニッションスイッチをオフにするまで、選択したモードがアクティブとなります。

i 注意: 選択時に以下の条件がすべて満たされていないと、条件が満たされるまでそのモードになりません。

- 不具合条件が存在していないこと
- (エレクトロニックスタビリティコントロールなど)、車両のダイナミクス機能またはスタビリティ機能がアクティブになっていない
- 車両が走行中の場合は、ステアリングホイールが直進位置になっており、左右に旋回していない

車両がノンアクティブモードの場合は、そのハンドリング特性はスポーツハンドリングモードのものと一致します。

トラックモードを開始するには、AAMS をオフにする必要があります。

車両がすでにトラックモードになっているときに AAMS を作動させるには、まずトラックモードをオフにする必要があります。

i 注意: トラックモードは、AAMS がオフの場合にのみ使用できます。

i 注意: トラックハンドリングモードでも、エレクトロニックスタビリティコントロールシステムは動作しています。詳しい説明はエレクトロニックスタビリティコントロール、2.30 ページを参照してください。

パワートレインコントロール

モードの選択



i 注意: 車両をオンにすると、車両はコンフォートモードで始動します。

i 注意: トラックモードは、AAMS がオフの場合にのみ使用できます。

1. パワートレインパドルを上を押すと、スポーツモードに切り替わります。
2. パワートレインパドルをもう一度上を押すと、トラックモードに切り替わります。
3. スポーツモードまたはコンフォートモードに戻すには、パワートレインパドルを押し下げます。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール



シフトパターンは、選択したパワートレインモードに応じて異なります。

アクティブモード

オートマチックモード		
C	ノーマル	ギアチェンジは車両の本来のパフォーマンスを損なうことなく、経済的に最適な方法で行われます。
S	スポーツ	ギアチェンジは高めのエンジン回転数で、シフトにかかる時間は短縮され、さらにシリンダーカットで向上されています。シリンダーカット、7.11 ページを参照してください。
T	サーキット	ギアチェンジはスロットルレスポンスに応じて瞬時に行われ、シリンダーカットによりさらに向上します。シリンダーカット、7.11 ページを参照してください。

マニュアルモード		
C	ノーマル	ギアチェンジは最も快適な方法で行われ、シリンダーカットにより向上します。シリンダーカット、7.11 ページを参照してください。

S	スポーツ	ギアチェンジは短いシフト間隔で行われ、イグニッションカットによりさらに向上します。イグニッションカット、7.12 ページを参照してください。
T	サーキット	最も鋭敏なギアチェンジパターンです。ギアチェンジは瞬時に行われ、慣性プッシュによりさらに向上します。慣性プッシュ、7.12 ページを参照してください。

i 注意: ドライブバーディスプレイに表示される情報は、選択したパワートレインモードに応じて変化します。ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ、3.13 ページを参照してください。

i 注意: 公道でトラックモードを使用することは推奨できません。トラックモードは、あくまでもハイパフォーマンスサーキット/オフロードのみでの使用を目的としています。

i 注意: トラックモードは、AAMS がオフの場合にのみ使用できます。

選択を変更するか、あるいはイグニッションスイッチをオフにするまで、選択したモードがアクティブとなります。

運転操作装置

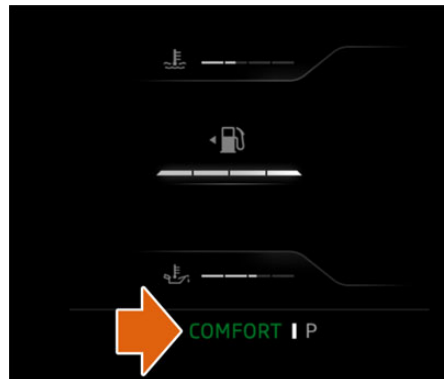
ハンドリングとパワートレインコントロール

アクティブダイナミクスパネルがオフの場合は、ドライバーディスプレイのパワートレイン表示に「ノンアクティブ」と表示されます。ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ、3.13 ページを参照してください。

ノンアクティブモード

オートマチックモードとマニュアルモードのどちらの場合も、ギアチェンジは短いシフト間隔で行われ、慣性ブッシュによりさらに向上します。慣性ブッシュ、7.12 ページを参照してください。

エコノミーモード



車両がいずれかのパワートレインモードでオートマチックギアシフトを選択しているときは、穏やかに走行している限りトランスミッションは経済的なシフトパターンで動作します。これは、車速、アクセル、ブレーキおよび路面の勾配に基づいて決定されます。

現行のアクティブなシフトパターンに応じて、エコノミーモードが作動中は「ノンアクティブ」、「コンフォート」、「スポーツ」または「トラック」の表示が緑色に変わります。その他の燃費節約方法についての情報は経済走行、2.14 ページを参照してください。

モードメモリー

前回のモード選択（最後のイグニッションサイクルの前）を再開するには、パワートレインパドルとハンドリングパドルを同時に 2 秒間押し続けてください。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

発進コントロール

発進コントロールは、停止状態から発進する際に最大の加速力が得られるように設計されています。



警告: サーキット以外では発進コントロールを起動しないでください。



警告: 発進コントロールを起動する前に、両側のドア、トノーコンパートメント、サービスカバーが閉じられていること、周囲の状況が最大加速運転を行うために支障がないことを確認してください。



注意: 発進コントロールはオートマチックモード、マニュアルモードのいずれでも、またハンドリングモードやパワートレインモードにかかわらず動作できます。



注意: 発進シーケンスは、パーキングブレーキをかけることでいつでも中断できます。



注意: 故障があった場合や発進手順を正しく実行しなかった場合は、ドライバーディスプレイに「Launch mode unavailable - see Owners Manual（発進モード使用不可 - オーナーズマニュアルを参照）」という警告メッセージが表示されます。発進手順を繰り返し、正しく行われていることを確認してください。警告メッセージが消えない場合は、マクラーレン代理店にご連絡ください。



注意: 発進モードは以下の条件を満たしている場合にのみ使用できます。

- 両方のドアが閉まっている
- 通常車高および車両リフト機能非アクティブ
- 大気高度がエンジンパフォーマンスに悪影響を及ぼさない
- エンジンクーラントが標準動作温度である

発進コントロール手順

1. ステアリングホイールが直進位置になっていることを確認します。
2. ブレーキペダルを左足でしっかりと踏み、ローギアを選択します。



注意: ギアボックスモードインジケーターの「L」が点滅します。マニュアル/オートマチックモード、2.19 ページを参照してください。「Launch Mode active - Awaiting full throttle（発進モード作動中 - スロットル全開待機中）」がドライバーディスプレイに表示されます。

3. 左足をブレーキペダルに乗せたまま、右足でアクセルペダルをいっぱいまで踏み込んだままにします。エンジン回転数は 3,200 rpm に上昇します。



注意: 「Launch Mode active - Boost building（発進モード作動中 - ブースト準備中）」というメッセージがドライバーディスプレイに表示されます。十分に昇圧したら、「Launch Mode active - Boost ready（発進モード作動中 - ブースト準備完了）」というメッセージがドライバーディスプレイに表示されます。

運転操作装置

走行安全システム

i 注意: 発進コントロールを中止するには、アクセルペダルを踏む前にブレーキペダルを解放するか、発進コントロールが非アクティブになるまで約 100 秒間待ってください。「Launch Mode aborted - See owner's manual（発進モード中止 - オーナーズマニュアルを参照）」というメッセージがドライバーディスプレイに表示されます。

4. ブレーキペダルから左足を離すと、最大加速が得られるように発進コントロールシステムが発進コントロールを実行します。

i 注意: 発進コントロールを中止するにはアクセルペダルを離すか、発進コントロールが非アクティブになるまで約 5～10 秒間待ってください。発進が中止されたらアクセルペダルを離し、再度アクセルペダルを踏んで走行を開始します。「Launch Mode aborted - See owner's manual（発進モード中止 - オーナーズマニュアルを参照）」というメッセージがドライバーディスプレイに表示されます。

5. 発進コントロールは中止するまで手順を正しく実行することで動作します。

i 注意: 発進コントロール時にはオートマチックでギアシフトが行われ、トラクションが最適化されます。この操作は発進コントロールが中止されるまで続行されます。発進コントロールを中止するにはアクセルペダルを離すか、ブレーキをかけるか、ギアシフトパドルのいずれかを操作します。

一般

本章では以下の安全システムについて説明します。

- アンチロックブレーキシステム（ABS）
- ブレーキアシストシステム
- ヒルホールド
- ブレーキステア
- 電子制御ブレーキ予備充填
- エレクトロニックスタビリティコントロール（ESC）
- アクティブエアロ
- タイヤ空気圧監視システム（TPMS）



警告: スピードを出し過ぎると、特にカーブや、濡れた、または凍結した路面の走行時に事故が発生する危険性が高くなります。先行車両との間には常に安全な車間距離を保ってください。必ず、道路の状況や天候条件に合わせた運転を行ってください。また、通行者や路上の物体から十分な距離を保ってください。

運転操作装置

走行安全システム

アンチロックブレーキシステム

アンチロックブレーキシステムは、ブレーキングによるホイールのロックを防止します。これによって、ブレーキをかけながら車両を操舵することが可能になります。

アンチロックブレーキシステムは、路面の状況にかかわらず、車速が約 8 km/h (5 mph) 以上のときに作動します。滑りやすい路面ではブレーキを穏やかに踏んだときにも効果を発揮します。



警告: ポンピングブレーキは行わないでください。ブレーキペダルをしっかりと、一定の力で踏んでください。ポンピングブレーキを行うとブレーキの効果が低減します。

ブレーキをかけた際にアンチロックブレーキシステムが作動すると、警告灯が点滅し、ブレーキペダルから波動が伝わります。

アンチロックブレーキシステムが作動した場合は、ブレーキが必要なくなるまでブレーキペダルを踏み続けてください。



警告: 必ず、周囲の道路状況や天候条件に合わせた運転を行ってください。通行者や路上の物体から十分な距離を保ってください。

アンチロックブレーキシステム状態表示灯



システムが故障した場合は状態表示灯が点灯します。車両を運転しないでください。速やかにマクラーレン代理店にご連絡ください。



警告: アンチロックブレーキシステムが故障した場合は、ブレーキアシストシステムやエレクトロニックスタビリティコントロールも非アクティブになります。アンチロックブレーキシステムが故障した場合は、ブレーキをかけた際にホイールがロックするおそれがあります。これによって停止距離が長くなり、またハンドル操作が利かなくなる可能性があります。

運転操作装置

走行安全システム

ブレーキアシストシステム

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキを踏んだ状況で作動します。急ブレーキを踏むと、ブレーキアシストシステムによりブレーキの踏力が自動的に増大し、停止距離が短縮されます。

緊急事態が解消するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み込み続けます。アンチロックブレーキシステムは、ホイールのロックを防止します。

ブレーキペダルを離すとブレーキは通常どおり作動します。ブレーキアシストシステムは非アクティブになります。



警告: ブレーキアシストシステムが故障した場合でも、ブレーキは作動します。ただし、制動力が自動的に増大することはないため、停止距離が長くなる可能性があります。

ヒルホールドコントロール

坂道で車両を停止するためにブレーキペダルを踏んだ場合、ヒルホールドコントロール機能はペダルを離した後も2秒間ブレーキをかけ続け、スムーズな発進をアシストします。

ブレーキステア

ブレーキステアはトルクベクトリングディファレンシャル効果を実現しますが、軽量化と反応速度の改善のためにブレーキシステムに組み込まれています。

トルクベクトリングによって、ディファレンシャルがリアの各ホイールに伝達する力の量を変化させ、最適の安定性とトラクションを実現します。

コーナリング時に車両がアンダーステアになりつつあることを検知すると、システムはリアの内輪に軽くブレーキをかけます。これによって車両のヨーレートが増大し、車両のアンダーステアに対する抵抗が増します。横方向のGも増大し、ハンドリング特性が向上します。

ドライバーがコーナーからの立ち上がりでスロットルを開け過ぎると、リアの内輪の速度が増し、ブレーキステアが作動しなければ車両が不安定になるおそれがあります。この状況でも、ブレーキステアが再びリアの内輪に軽くブレーキをかけることによって、トラクションと走行安定性を回復します。

運転操作装置 走行安全システム

電子制御ブレーキ予備充填

アクセルペダルを急に離した場合、電子ブレーキ予備充填機能が即座にブレーキパッドをディスクに触れさせ、素早いブレーキを可能にします。

エレクトロニックスタビリティコントロール

エレクトロニックスタビリティコントロール（ESC）は、走行安定性およびタイヤと路面間のトラクションを監視します。

ESC は、ホイールがスピンを始めるか車両が滑り始めるとこれを検知し、個々のホイールにブレーキをかけるとともにエンジン出力を制限して車両を安定させます。また、濡れた路面や滑りやすい路面での発進の際にもアシストを行い、ブレーキング時の車両の安定性を向上させます。



注意: エレクトロニックスタビリティコントロールは推奨指定タイヤの使用時に限り正常に作動します。

エレクトロニックスタビリティコントロールはエンジンを始動するとすぐ自動的にアクティブになります。



警告: エレクトロニックスタビリティコントロール警告が点灯した場合、エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにしないでください。道路や交通状況に合わせた運転を行ってください。

トラクションコントロールシステム

トラクションコントロールシステムはエレクトロニックスタビリティコントロールに欠かさない部分です。

トラクションコントロールシステムはホイールのスピンを防止するためにトルクを低減します。ホイールのスピンを止めるためにさらに介入が必要な場合はリアホイールに個別にブレーキがかかります。トラクションコントロールシステムは個々の駆動輪にブレーキをかけてスピンを防止します。これにより、滑りやすい路面でも加速が可能になります。



警告: スピードを出し過ぎている場合、トラクションコントロールシステムが事故の危険性を低減することはできません。

エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにする



警告: エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにすると、車両がスリップする危険性が高まります。道路や交通状況に合わせた運転を行ってください。



警告: サーキット走行時、周囲の状況が適切である場合をのぞいて、エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにしないでください。

運転操作装置

走行安全システム

i 注意: エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにすると、以下の状態が発生します。

- ・「ESC OFF」警告灯の点灯
- ・「ESC OFF」ボタンの点灯
- ・エレクトロニックスタビリティコントロールによる走行安定性の改善が行われません
- ・エンジンのトルク制限解除および駆動輪のスピン
- ・アンチロックブレーキシステムはアクティブのままです

エレクトロニックスタビリティコントロールダイナミックモード

エレクトロニックスタビリティコントロールのレベルは、現在アクティブなハンドリングモードに対応し、ドライバーの要求に合わせてさまざまなダイナミックモードに調節することができます。

エレクトロニックスタビリティコントロールのダイナミックモードは車速に関わらず選択できます。

スポーツハンドリングモードまたはトラックハンドリングモードがアクティブであることを確認してください。ハンドリングコントロール、2.22 ページを参照してください。



スポーツダイナミックモード

1. スポーツハンドリングモードを選択します。
エレクトロニックスタビリティコントロールはデフォルトでオンになっています。
2. 「ESC OFF (ESC オフ)」 ボタンを短く押して、スポーツダイナミックモードをアクティブにします。これにより、デフォルトの ESC ON モードよりも自由でダイナミックな走行が可能になります。
「ESC DYN」 がドライバーディスプレイに表示されます。

トラックダイナミックモード

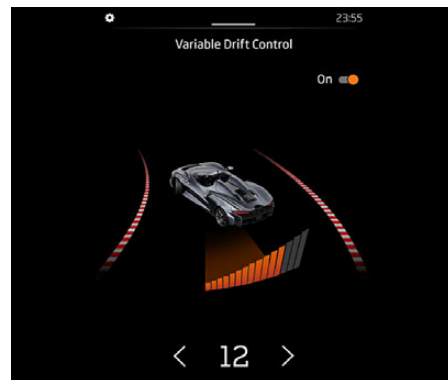
1. トラックハンドリングモードを選択します。

エレクトロニックスタビリティコントロールはデフォルトでオンになっています。

2. 「ESC OFF (ESC オフ)」 ボタンを短く押して、トラックダイナミックモードをアクティブにします。これにより、スポーツダイナミックモードよりもさらに自由でダイナミックな走行が可能になります。

「ESC DYN」 がドライバーディスプレイに表示されます。

可変ドリフトコントロール



運転操作装置 走行安全システム

スポーツダイナミックモードとトラックダイナミックモードでは、ESC が許容するドリフトの量を調整できます。

スポーツダイナミックモード、トラックダイナミックモードまたは ESC オフ状態の場合は、センターディスプレイで可変ドリフトコントロールにアクセスできます。これにより、ドライバーは、エレクトロニクススタビリティコントロールの正確なサポートレベルを選択できるようになります。

「ホーム」メニューからトラクションコントロールを選択し、トラクションコントロールの設定にアクセスします。

「+」または「-」を選択して、お好みに合わせてドリフトの量を増減します。★を選択して、お気に入りの設定を保存および管理します。

工場出荷時の設定に戻すには、「Default（デフォルト）」を選択します。

ESC オフ

1. スポーツハンドリングモードまたはトラックハンドリングモードを選択します。
2. ESC ダイナミックモードになっていない場合、「ESC OFF（ESC オフ）」ボタンを軽く押して、ESC ダイナミックモードをアクティブにします。

3. 「ESC OFF（ESC オフ）」ボタンを 2 秒間長押しし、その後 5 秒以内にもう一度押すと、エレクトロニクススタビリティコントロールが非アクティブになります。
ドライバーディスプレイに「ESC OFF」と表示され、「ESC OFF」ボタンのランプが点灯します。

エレクトロニクススタビリティコントロールを再びアクティブにする

エレクトロニクススタビリティコントロールを再びアクティブにすると、ドライバーディスプレイにあるエレクトロニクススタビリティコントロールオフ警告灯が消灯します。



注意: エレクトロニクススタビリティコントロールはイグニッションスイッチをオフにし、次にオンにすると再び自動的にアクティブになります。

再アクティブ手順



エレクトロニクススタビリティコントロールを再びアクティブにするには、以下のいずれかを実行します。

- 「ESC OFF（ESC オフ）」ボタンを短く押します。ボタンのランプが消灯します。
- ハンドリングコントロールのモードをコンフォートに変更します。
- イグニッションスイッチをオフにし、再びオンにします。

運転操作装置

走行安全システム

アクティブエアロ

警告: ドライバーはエアブレーキ作動時に、人を巻き込まないように必ず確認しなければなりません。

エアブレーキは車両の後部にあり、車両の要件に応じて動的に動きます。また、イグニッションのON/OFFのサイクルを行うたびにセルフテスト機能が起動します。

注意: エアブレーキは油圧を使用しており、エンジンが動作中のみ作動します。

注意: エアブレーキシステムはトランスミッションオイルの温度が低下すると、自動的にオフになります。エアブレーキの操作を選択すると、折り畳み式ドライバーディスプレイに警告メッセージが表示されます。トランスミッションオイルの温度が上昇すると、エアブレーキシステムが作動します。



1. 収納位置
2. 展開位置

エアブレーキ - 「AERO (エアロ)」 ボタンオフ
車速が 150 km/h (93 mph) 以下の場合、エアブレーキは収納されたままになります。

車速が 150 km/h (93 mph) を超えると、エアブレーキは展開され、車両の要件に応じて動的に動きます。これにより、空力抵抗が増し、車両の高速走行安定性が向上します。

エアブレーキは、急ブレーキ時または垂直方向や前後方向の大きな G フォースが検出されると、車速が 150 km/h (93 mph) 以下でもアクティブに作動する場合があります。

エアブレーキ - 「AERO (エアロ)」 ボタンオン
エアブレーキが展開され、車両の要件に応じて動的に動きます。これにより、空力抵抗が増し、車両の走行安定性が向上します。エアブレーキは車速に関わらず上昇させることができます。



「AERO (エアロ)」 ボタンを押すと、エアブレーキが展開します。ボタンのランプが点灯します。

運転操作装置

走行安全システム

 **注意:** 車両がフルスロットルで直進している場合は、空力抵抗を下げて直進速度を上げるためにエアブレーキが自動的に下降します。

エアブレーキを下げる - 走行中

15 km/h (9 mph) を超える速度で走行中は、「AERO (エアロ)」ボタンを押すとエアブレーキが完全に下がります。

 **警告:** エアブレーキを下げるときは枝や木の葉など、エアブレーキの動作を妨げるものがないか確認し、あった場合は取り除いてください。放置した場合、エアブレーキが正常に動作しなくなるおそれがあります。ドライバーはエアブレーキの動作時に人や物が巻き込まれることがないよう、必ず確認してください。

 **注意:** エアブレーキが動作しているときに車両の走行安定性を確保するため、エアブレーキは、車速が以下の基準を満たしている場合に「AERO (エアロ)」ボタンを押すと反応します。

- コーナリング時は、車速は 15 km/h (9 mph) から 120 km/h (75 mph) の範囲内でなければなりません。
- 直進時は、車速は 15 km/h (9 mph) から 250 km/h (155 mph) の範囲内でなければなりません。

エアブレーキを下げる - 停車中

エアブレーキが展開したままの状態ですぐに停車した場合は、「AERO (エアロ)」ボタンを 5 秒間押し続けるとエアブレーキが下がり始めます。

障害物がないか注意しながら、エアブレーキが完全に下がるまでボタンを押し続けてください。

 **警告:** エアブレーキを下げるときは枝や木の葉など、エアブレーキの動作を妨げるものがないか確認し、あった場合は取り除いてください。放置した場合、エアブレーキが正常に動作しなくなるおそれがあります。ドライバーはエアブレーキの動作時に人や物が巻き込まれることがないよう、必ず確認してください。

 **注意:** エアブレーキが完全に収納される前に「AERO (エアロ)」ボタンを離した場合、エアブレーキは元の選択位置に戻ります。

エアブレーキの操作

高速走行中に急ブレーキをかけた場合、エアブレーキが完全展開位置まで自動的に上昇し、最大限にブレーキをアシストします。

ブレーキペダルを踏む力が解放されると、エアブレーキは前の位置に戻ります。

 **注意:** エアブレーキは急ブレーキによって車両が停止する直前に下がります。

エアブレーキは、以下の状況では、ブレーキペダルが踏まれていなくても車両の安定性を保つためにアクティブに起動する場合があります。

- 前後方向の大きな G フォースが検出されるとき (アクセルペダルを急に放した場合など)
- 垂直方向の大きな G フォースが検出されるとき (丘の頂上を通過する場合など)

 **注意:** エアブレーキは、エンジンルームの冷却をサポートするためにアクティブに作動する場合があります。

運転操作装置

走行安全システム

エアブレーキセルフテスト

エアブレーキは、以下のいずれかが発生した場合に自動セルフテストを実行します。

- 各フルイグニッションサイクルの後
- エンジンを初めて始動したとき
- 速度が 15 km/h (9 mph) を超えている場合

エアブレーキは上昇してから、徐々に最初の位置に戻ります。



警告: エアブレーキのセルフテストで不具合が見つかったと、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。マクラーレン代理店にお問い合わせください。



注意: エアブレーキを展開したままエンジンを停止していた場合は、セルフテストは逆手順で行われます（エアブレーキがいっぱいになり、次いで最初の位置まで上昇します）。

マニュアルテスト



1. 「AERO（エアロ）」ボタンを押します。エアブレーキが上昇し、ダウンフォース位置でロックされます。ボタンのランプが点灯します。
2. 「AERO（エアロ）」ボタンを長押しして、エアブレーキを収納位置に戻します。ボタンのランプが消灯します。

アクティブセンターマウントストップランプ



アクティブセンターハイマウントストップランプは、エアブレーキ内にあります。エアブレーキが展開されると、スタティックセンターハイマウントストップランプが見えなくなります。エアブレーキが展開されると、アクティブセンターハイマウントストップランプがブレーキ作動中に点灯します。

運転操作装置 走行安全システム

タイヤ空気圧監視システム

車両の走行前、タイヤ温度が低い間にすべてのタイヤを点検し、空気を入れるか抜いて適切な空気圧にする必要があります。

車両メーカーが各作動モードで推奨するタイヤ空気圧は、車両のステッカーまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されています。車両のタイヤのサイズが車両のステッカーもしくは空気圧ラベルに記載されたサイズと異なる場合は、ご自分で適切な空気圧を判断する必要があります。

特定の状況では、空気漏れではない場合でも、タイヤ空気圧監視システム（TPMS）の圧力警告が表示される可能性があります。これは、タイヤ空気圧を設定した場所と車両を走行させる場所との温度差に原因がある場合があります。例えば、エアコンが作動している場所または暑い車庫で空気圧を設定してから外を走行すると、走行開始からしばらくしてタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。

外気温が極度に変動した場合、または季節的な温度変化によって、TPMS 圧力警告が表示されることもあります。

警告: タイヤ空気圧の警告を無視しないでください。すぐにタイヤ空気圧を点検し、必要場合はマクラーレン代理店にお問い合わせください。

タイヤ空気圧監視システムの概要



TPMS は、1 つ以上のタイヤについてタイヤ空気圧が低下したときや、タイヤ温度が許容水準を超えたときに警告を発します。

このシステムは各タイヤバルブに配されたセンサーと車内に配されたレシーバを使用し、各タイヤのタイヤ空気圧と温度を監視します。センサーとレシーバ間の通信は無線周波（RF）信号によって行います。

i 注意: TPMS は、車内または車両の近くで無線送信機（無線式ヘッドホン、送受信機など）を使用すると干渉を受けることがあります。

タイヤ空気圧監視システムの動作

! タイヤ空気圧の低下や上昇、またはタイヤ温度の上昇が検知されると、TPMS 警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

速やかに車両を停止してすべてのタイヤを点検し、推奨空気圧まで空気を入れてください。タイヤ空気圧、6.23 ページを参照してください。タイヤの空気圧を適正な空気圧にすると、この警告灯は消灯します。

運転操作装置

走行安全システム

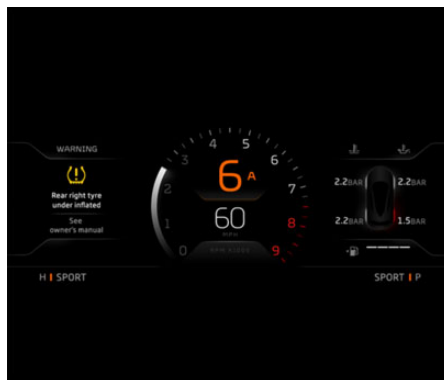
極端に空気圧が不足したタイヤで走行を続けるとタイヤがオーバーヒートし、タイヤの破損につながります。空気圧不足は燃費を悪くし、タイヤトレッドの寿命を短縮させ、車両のハンドリングや停止性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

タイヤに空気を入れすぎた場合も、タイヤトレッドの摩耗や車両ハンドリングに悪影響が及ぶ可能性があります。

警告: TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに取って代わるものではありません。空気圧不足が TPMS 空気圧不足警告灯を点灯させるほどではない場合であっても、適正な空気圧を維持するのはドライバーの責任です。

タイヤはすべて、冷えている間に毎週点検し、タイヤ空気圧ラベルに記載の推奨空気圧になるように調整する必要があります。

ドライバーディスプレイの「車両情報」画面に移動して、現在のタイヤ空気圧を表示します。車両情報、3.6 ページを参照してください。



このディスプレイには、4本のタイヤそれぞれの空気圧が表示されます。空気圧の値が緑色で表示されている場合は何もする必要はありません。赤色の文字で表示された場合は、できるだけ早く関連するタイヤに空気を入れて適切な空気圧にし、タイヤに減圧の原因の可能性がないか点検します。

警告: ドライバーディスプレイに表示されるタイヤ空気圧は、圧力計で計測するよりも正確です。タイヤ空気圧監視システムは、タイヤ空気圧の手動による点検や、摩耗や損傷の点検の代わりとなるものではありません。

警告: タイヤ空気圧監視システムにはタイヤの損傷を警告する機能はありません。タイヤの状態を定期的に点検してください。

警告: 頻繁に空気圧不足警告が発生する場合は、マクラーレン代理店にタイヤの点検を依頼してください。空気圧が不足したタイヤで走行を続けると、タイヤがオーバーヒートし、タイヤの破損につながります。その結果、車両をコントロールできなくなり、死亡または重傷を負う可能性があります。

環境: タイヤの空気圧不足は燃費を悪化させ、タイヤトレッドの寿命を短縮させ、車両のハンドリングやブレーキ特性に悪影響を及ぼす可能性があります。

環境: 少なくとも週に1回はタイヤ空気圧を点検してください。

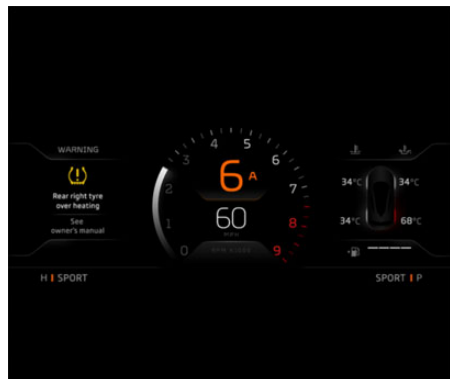
運転操作装置

クルーズコントロール

タイヤ温度監視システムの動作

タイヤ温度の上昇が検知されると、タイヤ温度監視システムによりドライバーディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ドライバーディスプレイの「車両情報」画面に移動して、現在のタイヤ温度を表示します。車両情報、3.6 ページを参照してください。



このディスプレイには、4本のタイヤそれぞれの現在の温度が表示されます。温度表示が以下の場合:

- 青色で表示された場合、タイヤはまだ最適な動作温度に達していません
- 緑色で表示された場合、対処は必要ありません
- 赤色で表示された場合、タイヤの安全な動作温度を超えています。安全な温度になるまで（すなわち温度が緑色で表示されるようになるまで）減速するか車両を停止してください。

タイヤの温度の上昇の考えられる原因に関してタイヤを点検してください。

概要

警告: クルーズコントロールをアクティブにしたときは道路や交通状況に特に注意し、常に周囲の状況に対し安全な速度で走行してください。

警告: ワインディングロードや滑りやすい路面、あるいは（霧や強雨、降雪時など）視界が悪い状況では決してクルーズコントロールを使用しないでください。

クルーズコントロールを使用すると、ドライバーはアクセルペダルを使用せずに一定の速度を維持することができます。これは、一定の速度を長時間維持できる高速道路走行時に便利な機能です。

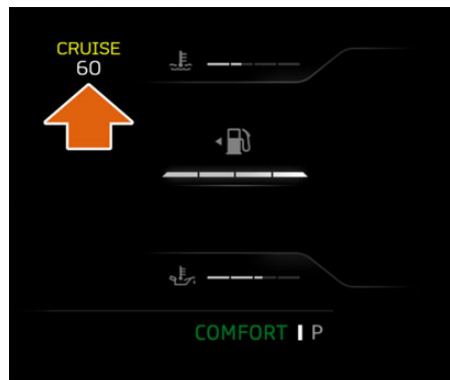


クルーズコントロール機能はすべて、ステアリングコラムの右側にあるクルーズコントロールレバーで操作します。

運転操作装置

クルーズコントロール

クルーズコントロールの使用



クルーズコントロールをアクティブにするには、設定したい速度まで加速してレバーを短く上に押します。設定された速度がドライバーディスプレイに表示されます。

i 注意: クルーズコントロールは車速が 30 km/h (20 mph) を超えないと作動しません。

アクセルペダルを踏むことにより、随時速度を上げることができます。アクセルペダルを離すと、車両はクルーズコントロール速度に戻ります。

! 警告: クルーズコントロールを使用していることを常に意識し、長時間クルーズコントロールを超えた速度で走行しないでください。この状況でアクセルペダルを離した場合、予想したペースで車両が減速しないことがあります。

クルーズコントロールのキャンセル



クルーズコントロールレバーを短く奥に押します。クルーズコントロールがキャンセルされ、ドライバーディスプレイのインジケーターが消灯します。前回の設定速度は保存されたままになります。

i 注意: 保存されている前回の速度は、エンジンスイッチをオフにするとクリアされます。

フットブレーキを踏んだ場合やニュートラルを選択した場合にも、クルーズコントロールはキャンセルされます。

運転操作装置

クルーズコントロール



注意: エレクトロニックスタビリティコントロールがホイールスピンまたは車両のスリップを検知した場合、またはエレクトロニックスタビリティコントロールをオフにした場合、クルーズコントロールは自動的にキャンセルされます。

クルーズコントロールの速度を上げる



- レバーを短く上に押すと、車速が 1 km/h (1 mph) 刻みで上がります (選択した単位によります。速度と距離の単位、4.9 ページを参照してください)。
- または、レバーを上押し続け、設定したい速度に達したら、レバーを放します。
- または、新たに設定したい速度まで加速し、レバーを上押しして新しい速度を保存します。

クルーズコントロールの速度を下げる



- レバーを短く下に押すと、車速が 1 km/h (1 mph) 刻みで下がります (選択した単位によります。速度と距離の単位、4.9 ページを参照してください)。
- または、レバーを押し下げたままにすると、車両が減速します。設定したい速度に達したら、レバーを放します。

運転操作装置

アクティブスピードリミッター

i 注意: クルーズコントロールレバーを使用して減速した場合、減速を早めるためにギアボックスがシフトダウンする場合があります。ギアチェンジパドルを使用してシフトダウンした場合は、クルーズコントロールは停止しません。

保存した速度の呼び出し

! 警告: 保存した速度は、周囲の道路や交通状況に合わない限り呼び出さないください。急加速は危険です。



クルーズコントロールレバーを手前に軽く引きます。クルーズコントロールは保存した前回の速度に車速を調整します。

速度上限の設定

! 警告: 速度制限を適切に遵守することはドライバーの責務です。

! 警告: アクティブスピードリミッター (ASL) 機能は、(急な下り坂など) 一定の状況下においては車両が速度上限を超えることを許容する場合があります。

i 注意: 車両が停止しているときでも ASL をアクティブにすることができます。速度上限はデフォルトの速度である 30 km/h (20 mph) に設定されます。

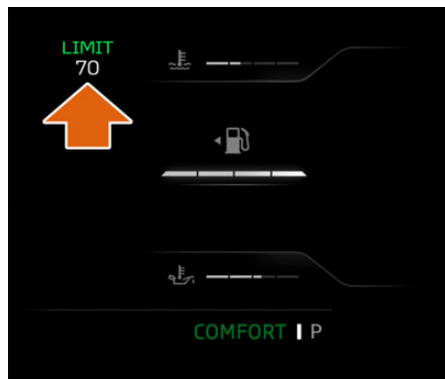
ドライバーは ASL コントロールから速度上限を設定することができます。

運転操作装置 慣らし運転

速度の選択



1. 車両を最大許容速度まで加速または減速し、レバーを短く下に押して、ASL をアクティブにします。
2. 速度上限がドライバーディスプレイに表示されます。



i 注意: スロットルペダルを所定の位置以上に踏み込むことで、ASL をオーバーライドできます。

アクティブスピードリミッターのキャンセル



ASL をキャンセルするには、レバーを短く奥に押します。ドライバーディスプレイのインジケーターが消灯します。

運転操作装置 給油

慣らし運転

新車時、または以下のいずれかの部品を交換したときは、以下の説明に従って慣らし運転を行ってください。

エンジンおよびギアボックス

1,000 km (625 マイル) 走行まで:

- 様々な道路とエンジン回転数で走行してください。
- 道路の制限速度の範囲内で、もしくは 240 km/h (150 mph) 以下で走行してください
- サーキットでの走行は行わないでください。
- エンジンに過剰な負荷をかけないでください (フルスロットルでの走行)。
- 2,000 rpm 未満のエンジン回転数での走行は避けてください。
- 一定の速度や負荷で長時間走行することは避けてください。
- キックダウンは使用しないでください。
- シフトダウンによって強いエンジンブレーキをかけないでください。
- 高速走行や高負荷走行後は 2 分以上経過するまでエンジンを停止しないでください
- 10 分以上エンジンをアイドリングしないでください

1,000 km (625 マイル) の慣らし運転期間が終了したら、徐々にフルパフォーマンスで使用できるようにします。

 **注意:** 慣らし運転中にエンジンやギアボックスの使用制限を守らない場合、早期摩耗や損傷が発生する可能性があります。

 **注意:** 慣らし運転に関する説明は、エンジンまたはトランスミッションの交換後の最初の 1,000 km (625 マイル) にも適用されます。

 **環境:** この助言は燃費の向上にも役立つものであり、慣らし運転後の通常の運転スタイルにも取り入れることをお勧めします。

ブレーキ

新しいブレーキには、初期のなじみ期間が必要です。最初の 1,000 km (625 マイル) までは急ブレーキを避けてください。

標準 / 道路での使用

- 高回転および高負荷走行を行う前にエンジンを暖機してください。エンジンが完全に動作温度に達するまではエンジン回転数が 5,000 rpm を超えないようにしてください
- 高回転 / 高負荷走行後は、2 分以上経過するまでエンジンを停止しないでください
- 10 分以上エンジンをアイドリングしないでください

サーキットでの使用

 **注意:** 慣らし運転中にサーキット走行は行わないでください。

サーキット走行を行う場合は、事前にマクラーレン代理店にご相談ください。マクラーレンでは、サーキット走行の前後に車両を点検に出すよう推奨しています。

運転操作装置 給油

燃料の給油

 警告: 燃料は高い引火性があります。燃料を取り扱う際には火気、裸火、喫煙および携帯電話の使用は禁止されています。給油の前にエンジンを停止してください。

 警告: 燃料および気化した燃料は、健康を害するおそれがあります。気化した燃料を吸い込んだり、燃料が皮膚や衣服に付着したりしないように注意してください。

 注意: フューエルフィルターは、左シートの後ろにあるトノーカバーの下にあります。

ガソリンスタンドの給油機による給油



1. エンジンを停止します。
2. トノーカバーを開けます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。
3. 給油口にノズルを挿入して給油します。推奨燃料については推奨燃料、2.45 ページを参照してください。
4. ポンプのノズルがオフになった後は、タンクへの給油を続けしないでください。
5. ノズルを取り外します。
6. トノーカバーを閉めます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。

燃料フィルターパイプを使用した給油



1. エンジンを停止します。
2. トノーカバーを開けます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。
3. 燃料フィルターパイプを収納から出します。燃料フィルターパイプ、6.11 ページを参照してください。
4. フィラーネックに燃料フィルターパイプを挿入します。
5. 燃料フィルターパイプにノズルを挿入して給油します。推奨燃料については推奨燃料、2.45 ページを参照してください。

 注意: 燃料を入れ過ぎないでください。

運転操作装置

冬季の走行

 **警告:** こぼれないように注意してください。こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。

6. ノズルを取り外します。
7. 燃料フィルターパイプを取り外します。
8. トノーカバーを閉めます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。
9. 燃料フィルターパイプを完全に清掃し、収納ボックスに保管します。

推奨燃料

エンジンの性能を最大に引き出すためには、EN 228 規格に適合した 99 RON/88 MON 無鉛ガソリンを使用してください。

99 RON/88 MON が入手できない地域では、EN 228 格に適合したオクタン価が 95 RON/85 MON 以上の無鉛プレミアムガソリンを使用してください。

 **注意:** 99 RON/88 MON 無鉛ガソリンを使用しないと、エンジン性能が制限されます。

 **注意:** 給油する燃料の品質に関する情報は給油機に表示されています。

 **注意:** 給油機燃料が無鉛ガソリンに関する EN 228 の要件を満たしていない場合や燃料添加剤を使用した場合、エンジンが摩耗・損傷する可能性が高くなります。

 **注意:** 誤った燃料の使用によって生じた損傷は車両保証の対象外となります。

 **注意:** 10 % を超えるエタノールを含む燃料は使用しないでください。この車両は 10 % を超えるエタノールを含有する燃料の使用が必要な装置を装備していません。

 **注意:** E85 燃料（85 % エタノール含有）は使用しないでください。E85 燃料を使用すると、エンジンと燃料システムに深刻な損傷が発生します。

 **注意:** 燃料タンクに誤った種類の燃料を間違えて給油した場合は、エンジンを始動しないでください。マクラーレン正規代理店にご連絡ください。

運転操作装置

冬季の走行

冬季の走行

冬のはじめに、マクラレーン代理店で車両を点検することを推奨します。この点検には以下の項目が含まれています。

- 不凍液 / 防錆剤濃度の点検
- フロントウィンドウウォッシャーシステムへの高濃度ウォッシャーフルードの補充
- バッテリーの点検

スノーソックス

マクラレーンは、マクラレーン車用として認定されたスノーソックスのみの使用を推奨します。スノーソックスを装着する場合は、以下の点に注意してください。

- スノーソックスは必ずリアホイールにのみ、かつ左右両方に装着してください
- メーカーの取付説明書に従います

スノーソックスのパッケージに記載された最大許容速度を超えないようにしてください。

雪道での走行が終わったら速やかにスノーソックスを取り外してください。



インストルメント

概要	3.2
概要.....	3.2
タコメーター.....	3.2
シフトライト.....	3.2
スピードメーター.....	3.3
ドライバーディスプレイ	3.4
概要.....	3.4
時計.....	3.4
温度.....	3.4
メニュー.....	3.4
メニューのナビゲーション.....	3.5
トリップ情報.....	3.5
トリップ（開始後）.....	3.6
トリップ（長期）.....	3.6
オドメーター.....	3.6
車両情報.....	3.6
概要.....	3.6
メッセージ.....	3.7
タイヤ.....	3.7
オイルの状態.....	3.7
バッテリー.....	3.8
サービス.....	3.8
車両識別番号.....	3.8
ナビゲーション.....	3.9
メッセージ.....	3.9
メッセージ.....	3.10
ディスプレイウィンドウ.....	3.12
ノンアクティブ/ コンフォートモード	3.12
スポーツモード.....	3.12
トラックモード.....	3.12

ギア位置インジケーター.....	3.13
ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ.....	3.13
エレクトロニクススタビリティコントロール.....	3.13
オイル温度.....	3.14
水温.....	3.14
燃料残量および範囲.....	3.15
燃料残量.....	3.15
到達可能距離（燃料）.....	3.15

インストルメント

概要

概要

ドライバーディスプレイはイグニッションをオンにするとアクティブになります。イグニッションのスイッチをオンにする、2.5 ページを参照してください。

警告: ディスプレイまたは車両の電気系統が故障している場合、ドライバーディスプレイにメッセージは表示されません。直ちにマクラレン代理店にご相談ください。このような状況での車両の使用は危険です。

タコメーター



タコメーターディスプレイは、ノンアクティブ、コンフォート、またはスポーツパワートレインおよびハンドリングモードのときにドライバーディスプレイの中央に表示されます。ディスプレイの赤色の数字はエンジンの最高RPMを表しています。

スポーツまたはトラックパワートレインまたはハンドリングモードが選択されている場合、タコメーターのスタイルは選択したモードに合わせて変更されます。ディスプレイウィンドウ、3.12 ページを参照してください。

- i** 注意: 最高 RPM は動的であり、特定の条件下で低下します (例えば、エンジンオイルが通常の動作温度未満である場合、またはニュートラルギアが選択されている場合です)。
- i** 注意: エンジンを長時間最高回転数もしくはそれに近い回転数で動作させないでください。エンジンを保護するために、最大 RPM に達すると燃料供給が遮断されます。

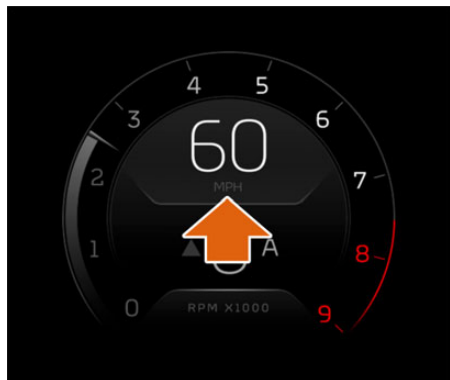
シフトライト

トラックパワートレインまたはハンドリングモードを選択すると、ドライバーディスプレイの上部にシフトライトが表示されます。シフトライトは、緑色ブロック、赤色ブロックおよび青色ブロックの3つのブロックで構成されています。各ブロックはエンジン回転数が増加すると点灯します。青色ブロックが点灯するポイントを超えてエンジン回転数が増加すると、急加速できません。

インストールメント

概要

スピードメーター



ノンアクティブまたはコンフォートパワートレインおよびハンドリングモードの場合、スピードメーターはドライバーディスプレイの中央に表示されます。

スポーツまたはトラックパワートレインまたはハンドリングモードが選択されている場合、スピードメーターのスタイルは選択したモードに合わせて変更されます。ディスプレイウィンドウ、3.12 ページを参照してください。

i 注意: スピードメーターは、単位をマイルからキロメートルに変更すると、mph から km/h に切り替わります。速度と距離の単位、4.9 ページを参照してください。

i 注意: システムに通信障害がある場合は、車速は常に「0」と表示されます。障害を通知するために、ドライバーディスプレイに警告メッセージが表示されます。この障害が存在する間は、状況に合わせて運転スタイルを調整してください。車両の速度に責任を負うのは常にお客様です。マクラーレン代理店にお問い合わせください。

インストールメント

ドライバーディスプレイ

概要

警告は、ドライバーディスプレイのポップアップウィンドウに表示されます。

保存されているメッセージは、イグニッションがオンのときに随時見ることができます。メッセージ、3.10 ページを参照してください。



警告: 車両が走行中にメニューを操作・閲覧しようとする、道路や交通状況に対する注意が散漫になり、事故につながるおそれがあります。



警告: 警告メッセージは無視しないでください。適切な対応を怠ると、怪我を負ったり車両が損傷するおそれがあります。

時計

現在の時刻が表示されます。詳細については、時間と単位、4.7 ページを参照してください。

温度



警告: 表示された温度が氷点よりも高い場合であっても、路面が凍結している可能性があります。常に運転スタイルと速度を天候状況に合わせる必要があります。

温度は現在の外気温です。外気温の変化が表示されるまでに若干の時差があります。

外気温が 3 °C (37 °F) より下がると低温警告メッセージが表示され、温度の表示色が変わります。

外気温が 0 °C (32 °F) より下がると凍結警告が表示されます。

メニュー



ステアリングコラムの左側にあるコントロールレバーを使用することにより、メニュー構造を操作することができます。

以下のカテゴリーが利用可能です。

- トリップ情報、3.5 ページ。
- 車両情報、3.6 ページ。
- ナビゲーション、3.9 ページ。

インストールメント ドライバーディスプレイ

メニューのナビゲーション

1. コントロールレバーを上または下に動かして (+ または -) 選択する項目をハイライトさせます。
2. レバーを手前に引いて選択した項目に入ります。
3. 次に、一覧の中から見たいトピックを選び、コントロールレバーを上または下に動かして (+ または -) 目的のトピックをハイライトさせます。
4. 構造内の次のメニューに移動するには、レバーを手前に引きます。
5. 各構造の最後に情報または画面の表示があり、ここで設定の変更または情報の表示ができます。
6. 必要な機能の選択または設定を行った場合、レバーを手前に引いて確定します。



トリップ情報



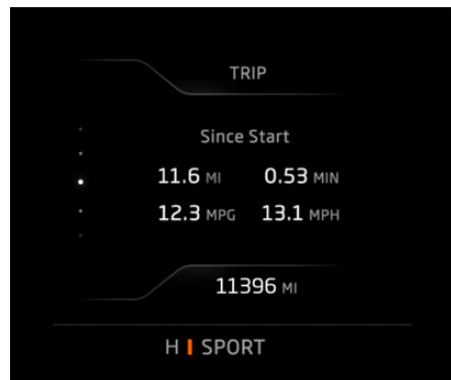
ドライバーディスプレイには、次のトリップデータを表示できます。

- トリップ（開始後）、3.6 ページ。
- トリップ（長期）、3.6 ページ。

トリップデータをゼロにリセットするには、メニューから必要なオプションを選択し、レバーを手前に引いて確定します。

インストールメント ドライバーディスプレイ

トリップ（開始後）

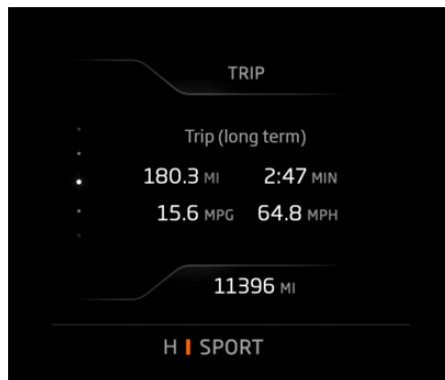


「トリップ（開始後）」インジケーターには、現在の走行に関する以下のデータが表示されます。

- 距離。
- 時間。
- 車両燃費。
- 平均速度。

この情報はエンジンのスイッチをオフにして約2時間以上経過した場合、ゼロにリセットされます。

トリップ（長期）



「トリップ（長期）」インジケーターには、前回のトリップリセット以降に蓄積された以下のデータが表示されます。

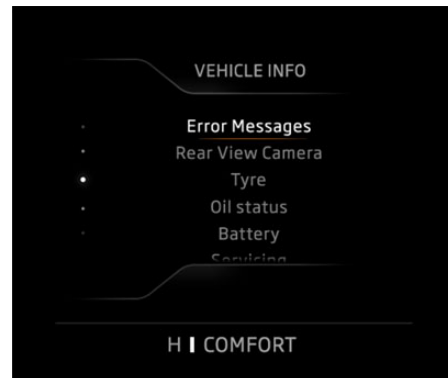
- 距離。
- 時間。
- 車両燃費。
- 平均速度。

オドメーター

オドメーターは各トリップ画面に表示され、車両が走行した合計距離を表示します。

車両情報

概要

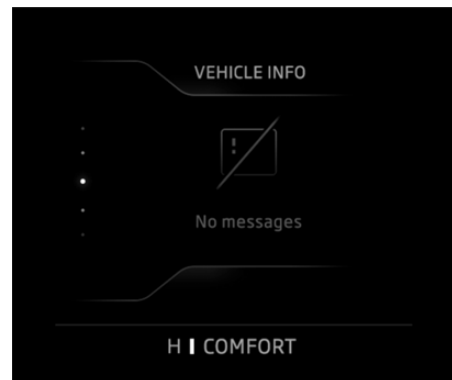


車両情報画面では以下の項目を選択できます。

- メッセージ、3.7 ページ。
- タイヤ、3.7 ページ。
- オイルの状態、3.7 ページ。
- バッテリー、3.8 ページ。
- サービス、3.8 ページ。
- 車両識別番号、3.8 ページ。

インストールメント ドライバースプレイ

メッセージ



この画面はログに記録されたエラーメッセージがないことを確認します。

ログにエラーが記録されている場合は、この画面にエラーメッセージとメッセージをスクロールするための矢印が表示されます。

タイヤ



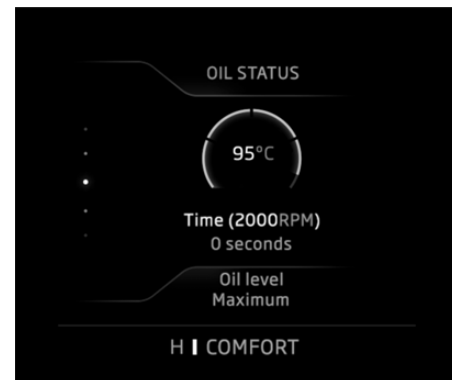
このディスプレイには4本のタイヤそれぞれの空気圧および温度が表示されます。

白色で表示されている場合、何もする必要はありません。

アンバー色または赤色の文字で表示されている場合、速やかにタイヤを検査し、空気圧を補正してください。

該当するタイヤを点検し、減圧または温度上昇の原因を確認してください。

オイルの状態

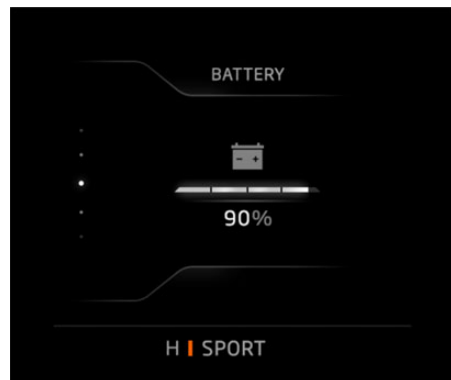


オイルのレベルおよびオイル温度を示すゲージが表示されます。

エンジンオイルレベルの点検方法については、エンジンオイル、6.3 ページを参照してください。

インストールメント ドライバーディスプレイ

バッテリー

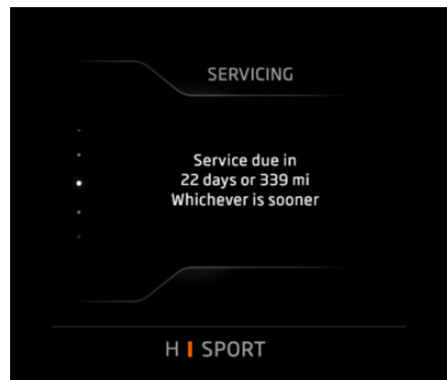


バッテリーの充電状態を示すゲージが表示されます。

バッテリーを充電するには、バッテリーの安全性、6.12 ページを参照してください。

エンジンを始動したりバッテリーを充電したりせずに駐車できる時間の長さについては、駐車日数、2.5 ページを参照してください。

サービス



整備日まで約 30 日または 1,000 km（625 マイル）になると、上記画面が表示されます。

それ以降、イグニッションスイッチをオンにするたびに、減少していく時間/距離とともにこのメッセージが表示されます。整備を受けると、マクラーレン代理店がこの画面をリセットします。

整備期限が過ぎると、期限を超過した距離がこの画面に表示されます。

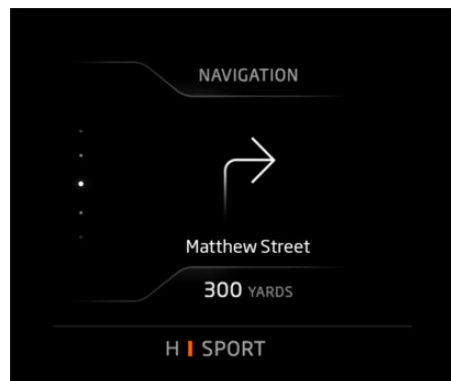
車両識別番号



車両識別番号（VIN）を表示します。

インストルメント ドライバーディスプレイ

ナビゲーション

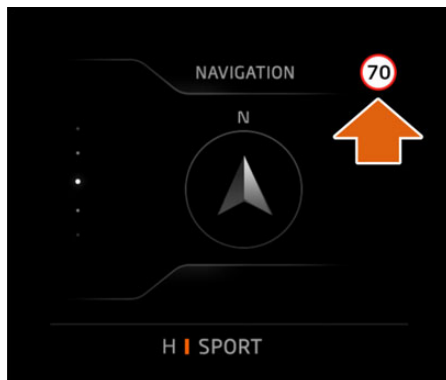


セントラルインフォテイメントタッチスクリーンを使用してルートガイダンスが開始されている場合は、ドライバーディスプレイにターンバイターンナビゲーションガイダンスが表示されます。

ルートの設定およびナビゲーション機能の使用の詳細については、ナビゲーション、4.30ページを参照してください。

ターンバイターン表示では、次の進行方向と距離が表示されます。

i 注意: 目的地をセントラルインフォテイメントタッチスクリーンで設定していない場合、コンパスと現在の道路名のみが表示されます。



可能な場合、現在の道路の速度制限がドライバーディスプレイに表示されます。

i 注意: 速度制限は目安です。一時的または新しい速度制限が設定されている可能性があるため、必ず現地の速度制限情報を確認してください。

メッセージ

ドライバーディスプレイに、オーナーズハンドブックを参照するように指示するメッセージが表示されることがあります。

重大度を示すメッセージとともにアイコンが表示されます。



操作が必要でない情報。



操作が必要な情報。



低リスクの障害情報。



高リスクの障害情報。



i 注意: メッセージによっては、特定の機能で障害が発生していることを示すアイコンが異なる場合があります。

メッセージによっては、オーナーズハンドブックを参照してください。次ページの表に、それらのメッセージが表示されたときにすべき行動を示します。



警告: 警告メッセージを無視しないでください。適切な対応を怠ると、怪我を負ったり車両が損傷するおそれがあります。

インストルメント

ドライバーディスプレイ

メッセージ

メッセージ	アクション
ブレーキフルードが少なくなっています	ブレーキフルードを補充してください。ブレーキフルード、6.8 ページを参照してください。
ステアリングフルードが少なくなっています	パワーステアリングフルードを補充してください。パワーステアリングフルード、6.7 ページを参照してください。
左前輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
右前輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
左後輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
右後輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
クラッチの温度が高すぎます	この車は極端な条件のもとで走行が行われました。このような条件は、極度の坂道発進や急加速の繰り返し、あるいは急な上り坂での長時間に渡る低速走行によって生じることがあります。その結果、ギアボックスがエンジントルクを制限することがあります。車両を停止し、ニュートラルギアでエンジンを数分間アイドリングしてください。
クラッチ温度が高いです	この車は極端な条件のもとで走行が行われました。このような条件は、極度の坂道発進や急加速の繰り返し、あるいは急な上り坂での長時間に渡る低速走行によって生じることがあります。その結果、ギアボックスがエンジントルクを制限することがあります。車両を停止し、ニュートラルギアでエンジンを数分間アイドリングしてください。
ESC をオフにできません	ESC の停止条件が満たされていません。エレクトロニクススタビリティコントロール、2.30 ページを参照してください。
左前輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。

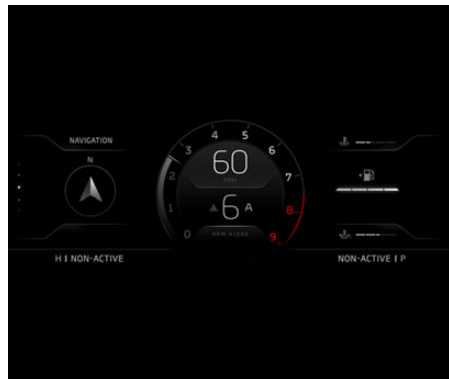
インストールメント ドライバーディスプレイ

メッセージ	アクション
右前輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
左後輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
右後輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
ESC を減少できません	ESC の低減条件が満たされていません。エレクトロニクススタビリティコントロール、2.30 ページを参照してください。
ローンチモードを利用できません	発進が可能な条件が満たされていません。発進コントロール、2.26 ページを参照してください。
ローンチモードが中断されました	発進コントロール、2.26 ページを参照してください。
現在の走行速度ではクルーズ制御は利用できません	クルーズコントロールの使用、2.39 ページを参照してください。
左前輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
右前輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
左後輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
右後輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検、6.22 ページを参照してください。
バッテリー管理有効	車両が十分な電圧を供給することができず、パワーセービングモードが有効になりました。室内温度制御とステアリングは低減効果で作動します。車両の電气的状態、2.4 ページを参照してください。
キーバッテリーの残量が極めて低いです	リモコンキーの電池の交換、6.18 ページを参照してください。
キーの電池残量低下	リモコンキーの電池の交換、6.18 ページを参照してください。

インストルメント ドライバーディスプレイ

ディスプレイウィンドウ

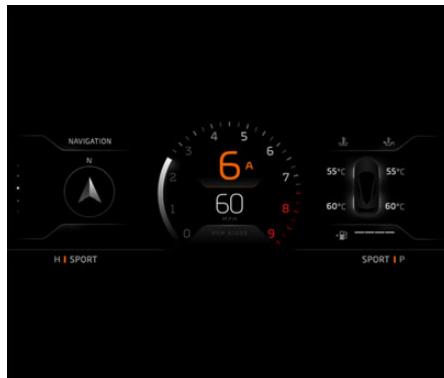
ノンアクティブ/コンフォートモード



ディスプレイウィンドウには、車両のコントロール設定および現在のパフォーマンス値が表示されます。車両がノンアクティブ/コンフォートモードの場合、上図のドライバーディスプレイが表示されます。

ドライバーディスプレイの中央部分に表示される情報は、選択したモードによって異なります。スポーツモード、3.12 ページとトラックモード、3.12 ページを参照してください。

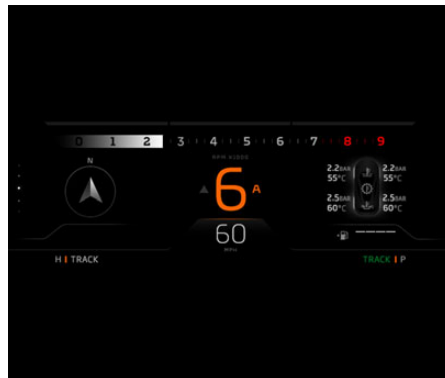
スポーツモード



ディスプレイウィンドウには、車両のコントロール設定および現在のパフォーマンス値が表示されます。車両がスポーツモードの場合、上図のドライバーディスプレイが表示されます。

ドライバーディスプレイの中央部分に表示される情報は、選択したモードによって異なります。ノンアクティブ/コンフォートモード、3.12 ページとトラックモード、3.12 ページを参照してください。

トラックモード



ディスプレイウィンドウには、車両のコントロール設定および現在のパフォーマンス値が表示されます。車両がトラックモードの場合、上図のドライバーディスプレイが表示されます。

ドライバーディスプレイの中央部分に表示される情報は、選択したモードによって異なります。ノンアクティブ/コンフォートモード、3.12 ページとスポーツモード、3.12 ページを参照してください。

シフトライトの詳細については、シフトライト、3.2 ページを参照してください。

インストールメント ドライバーディスプレイ

ギア位置インジケーター



ギアインジケーターは現在選択しているギア位置を表示します。ニュートラル、ギア1～7、またはリバース。インジケーターは、オートマチックまたはマニュアルモードが選択されているかどうかに応じて、「A」または「M」が表示されます。

ギア位置インジケーターは車両がスポーツまたはトラックモードの場合、ドライバーディスプレイの中心に移動して速度計と位置が換わります。スポーツモード、3.12 ページとトラックモード、3.12 ページを参照してください。詳しくは、マニュアル/オートマチックモード、2.19 ページを参照してください。

ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ



利用可能な各種設定に関する詳しい説明は、ハンドリングとパワートレインコントロール、2.22 ページを参照してください。

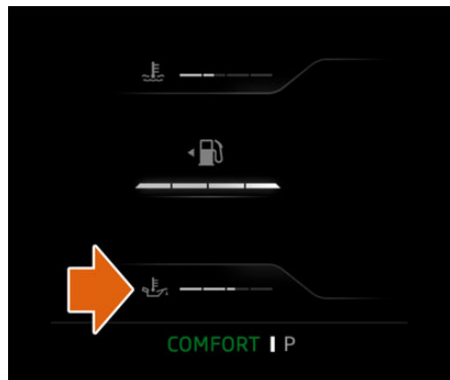
エレクトロニックスタビリティコントロール



選択されたエレクトロニックスタビリティコントロールモードが表示されます。利用可能な各種設定に関する詳しい説明は、エレクトロニックスタビリティコントロール、2.30 ページを参照してください。

インストールメント ドライバードisplay

オイル温度



油温計はドライバードisplayの右側にあります。

ディスプレイ中央の数字の色は、オイル温度を視覚的に示しています。

- 青 - オイル温度が低い。最初にエンジンを始動すると、オイル温度は低くなります。
- 白 - 正常な温度。
- 赤 - 高温。

ゲージが高温を示した場合は、標準温度になるまで減速してください。



警告: 温度が上昇を続けた場合、ドライバードisplayに警告メッセージが表示されます。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラーレン代理店にご連絡ください。

水温



水温はドライバードisplayの右側にあります。

ディスプレイ中央の数字の色は、水温を視覚的に示しています。

- 青 - 水温が低い。最初にエンジンを始動すると、水温は低くなります。
- 白 - 正常な温度。
- 赤 - 高温。

ゲージが高温を示した場合は、標準温度になるまで減速してください。

インストールメント ドライバーディスプレイ

 警告: 温度が上昇を続けた場合、ドライバーディスプレイに警告メッセージが表示されます。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレン代理店にご連絡ください。

燃料残量および範囲



燃料残量

燃料残量はドライバーディスプレイの右側に表示されます。

到達可能距離（燃料）

到達可能距離は、次回の給油が必要になるまでの予想航続距離です。



センターディスプレイ

はじめに	4.3
著作権.....	4.3
補足情報.....	4.3
システムコントロール.....	4.3
アプリ.....	4.4
ホーム.....	4.4
音量.....	4.4
電話.....	4.4
メディア.....	4.4
ミュート.....	4.4
設定.....	4.5
ナビゲーション.....	4.5
クライメートコントロール.....	4.5
ステータスバー.....	4.5
HVAC コントロール.....	4.5
設定	4.6
概要.....	4.6
接続.....	4.6
Bluetooth.....	4.7
Wi-Fi.....	4.7
時間と単位.....	4.7
言語.....	4.8
時刻形式.....	4.8
時刻調整.....	4.9
時間帯.....	4.9
速度と距離の単位.....	4.9
燃料消費単位.....	4.9
温度単位.....	4.10
圧力単位.....	4.10

ライト.....	4.10
スタティックアダプティブヘッドランプ.....	4.10
フットウェルライト.....	4.10
乗車および降車照明.....	4.11
夜間照明.....	4.11
運転の好み.....	4.11
コンフォートエントリー / イグジット.....	4.11
速度制限ディスプレイ.....	4.11
ギアシフトモード.....	4.12
リパース時の作動.....	4.12
セキュリティ.....	4.12
自動ドアロック.....	4.12
自動アラーム.....	4.12
サイレントドアロック.....	4.12
バレーモード.....	4.13
ドアロック解除.....	4.13
リパースミラーディップ.....	4.14
システム.....	4.14
法律情報.....	4.14
工場出荷時の設定に復元.....	4.15
すべてのデータと設定の消去.....	4.15
システムバージョン.....	4.15
VIN.....	4.15

電話	4.16
概要.....	4.16
安全上の注意事項.....	4.16
Bluetooth®.....	4.16
デバイスのペアリング / 接続.....	4.17
追加デバイスのペアリング.....	4.17

センターディスプレイ

電話の接続	4.18
電話をかける	4.18
キーボードの使用	4.18
連絡先の使用	4.19
通話履歴の使用	4.19
お気に入り	4.20
通話を受信	4.20
通話中のオプション	4.21
通話の終了	4.21
連絡先	4.21
検索	4.22
メディア	4.23
概要	4.23
オーディオソース	4.23
サポートされているメディアデバイス	4.23
メディアファイルのサポート	4.23
メディアコントロール	4.24
外部デバイスへの接続	4.25
USB および iPod	4.25
ストレージへのコピー	4.25
ストレージ	4.26
ファイルのインポート	4.26
ストレージの消去	4.26
名前の変更	4.26
移動またはコピー	4.27
Bluetooth オーディオ	4.27
オーディオ	4.28
概要	4.28

トーン	4.28
高音	4.28
中音	4.28
低音	4.28
速度感应式音量	4.28
バランス	4.29

ナビゲーション	4.30
概要	4.30
安全性	4.30
ナビゲーションの使用	4.31
目的地の設定	4.31
画面を使用	4.31
検索または住所	4.31
前回の目的地	4.32
お気に入り	4.32
連絡先	4.32
マクラーレン代理店	4.32
ガソリンスタンド	4.32
駐車場	4.32
その他の検索カテゴリ	4.32
ルートの概要	4.32

アプリ	4.33
Apple CarPlay	4.33
Android Auto Projection	4.33

センターディスプレイ はじめに

著作権

McLaren Automotive は本書で取り扱われるシステムを常時更新しています。このため、いつでも予告なしに仕様を変更する権利を留保します。

本書で提供される情報はすべて正確なものとなるように最大限の努力が払われていますが、McLaren Automotive またはその販売店は不正確な情報またはそれに生じる結果に対して、当事者の怠慢によって生じた人的傷害を除く一切の責任を負いません。

補足情報

Wi-Fi 商標の所有権は「Wi-Fi アライアンス」事業者団体に帰属します。メーカーは、自社認定製品が IEEE 802.11 規格に基づく WLAN（無線ローカルエリアネットワーク）デバイスクラスに属することを示すために、「Wi-Fi」商標を使用する場合があります。

Bluetooth® ワードマークとロゴは Bluetooth® SIG Inc. の所有物であり、McLaren Automotive Ltd. はこれらのマークをライセンスの下に使用しています。Bluetooth QDID: B019632、B017641、B017642。

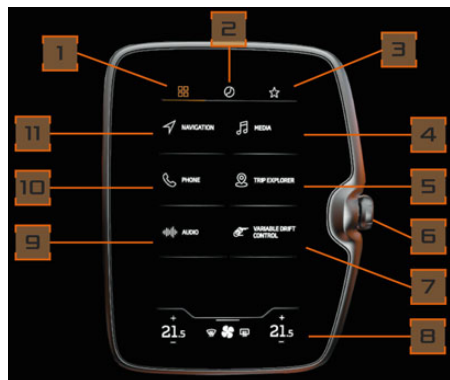
他の商標および商品名はそれぞれの所有者の商標および商品名です。

システムコントロール



イグニッションをオンにすると、マクラーレンインフォテインメントシステム (MIS) が起動し、利用可能であれば、前回使用していたオーディオソースが再開されます。前回使用していたソースを利用できない場合、MIS はホーム画面を表示します。

センターディスプレイ はじめに



アプリ

「アプリ」画面には、MISで使用可能なすべてのアプリケーションが表示されます。

「アプリ」画面にアクセスするには、「ホーム」アイコンを押すか、「アプリ」アイコンにタッチします。

- メディア、4.23 ページ
- 電話、4.16 ページ
- ナビゲーション、4.30 ページ
- オーディオ、4.28 ページ
- 可変ドリフトコントロール、2.31 ページ

ホーム

MIS がアクティブになっているときに、「ホーム」アイコンを押すと、システムのどの画面からでもホーム画面に戻ります。

音量

音量コントロールを使用して、現在アクティブなソースの音量を設定します。アクティブなソースの名前は画面に表示されます。

音量を上げるには音量コントロール（2）を時計回りに、音量を下げるには反時計回りに回します。設定した音量を示す水平バーが画面に短時間表示されます。

「ミュート」アイコン（5）を使用している場合（ミュート、4.4 ページを参照）、いずれかの方向に音量コントロールを回すとサウンドが回復します。

注意：音量コントロールのつまみを回して、音量を調節できます。一時的なオーディオソースの場合（電話呼び出しなど）、そのソースがアクティブなときにつまみを使用して音量を調節できます。

電話

「電話」アイコン（3）を押して電話機能にアクセスします。電話、4.16 ページを参照してください。

メディア

「メディア」アイコン（4）を押して、保存または接続されているメディアにアクセスします。メディア、4.23 ページを参照してください。

ミュート

「ミュート」アイコン（5）を押すと、システムのすべてのサウンドがミュートされます。ミュート記号が画面に短時間表示されます。

「ミュート」アイコンをもう一度押すか、音量コントロール（2）を回してサウンドを元に戻します。

センターディスプレイ

はじめに

設定

「設定」アイコン（6）を押して、設定にアクセスします。設定、4.6 ページを参照してください。

ナビゲーション



「ナビゲーション」アイコン（7）を押して、ナビゲーション機能を直接起動します。ナビゲーション、4.30 ページを参照してください。

クライメートコントロール



「クライメートコントロール」アイコン（8）を押して、クライメートコントロールシステムに直接アクセスします。クライメートコントロール、5.2 ページを参照してください。

ステータスバー

特定のシステムが作動しているとき、または機能がアクティブになっているときに、多数のアイコンが画面上部に表示されます。



電話の信号強度インジケータ



Bluetooth® デバイスが接続されている場合、Bluetooth® アイコンが白色で表示されます。



メディアミュート

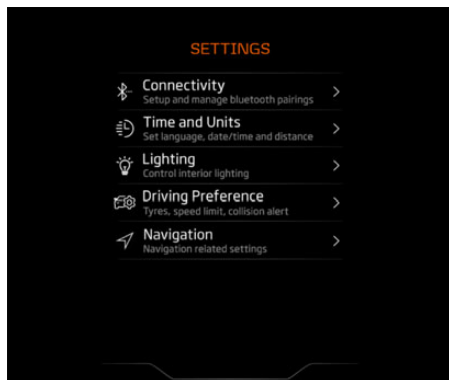
HVAC コントロール

クライメートコントロール、5.2 ページを参照してください。

センターディスプレイ 設定

概要

「設定」アイコンにタッチして「設定」メニューを表示します。



または、画面を上から下にスワイプして「設定」アイコンにタッチし、「設定」画面を開きます。

設定画面から以下の項目を選択できます。

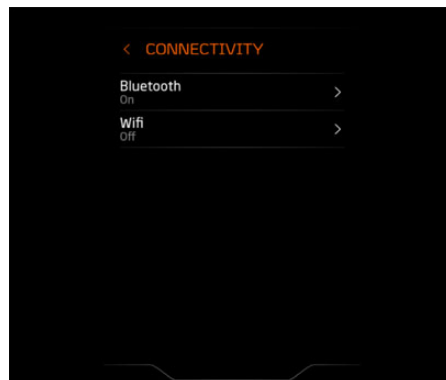
- 接続、4.6 ページ
- 時間と単位、4.7 ページ
- ライト、4.10 ページ

- 運転の好み、4.11 ページ
- ナビゲーション、4.30 ページ
- セキュリティ、4.12 ページ
- システム、4.14 ページ



注意: 車両の仕様に応じて利用可能な設定が異なる場合があります。

接続

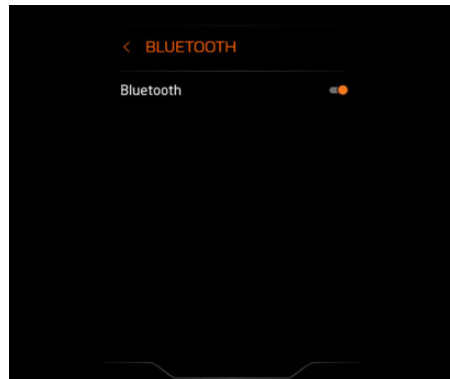


以下の接続設定を使用できます。

- Bluetooth、4.7 ページ
- Wi-Fi、4.7 ページ

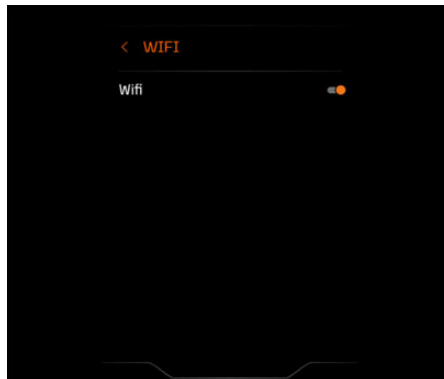
センターディスプレイ 設定

Bluetooth



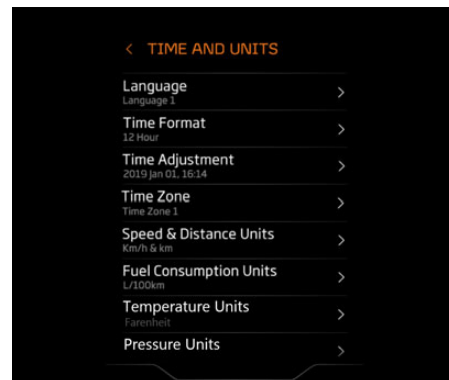
「Bluetooth」にタッチすると、機能の「オン」と「オフ」が切り替わります。

Wi-Fi



「Wi-Fi」にタッチすると、機能の「オン」と「オフ」が切り替わります。

時間と単位

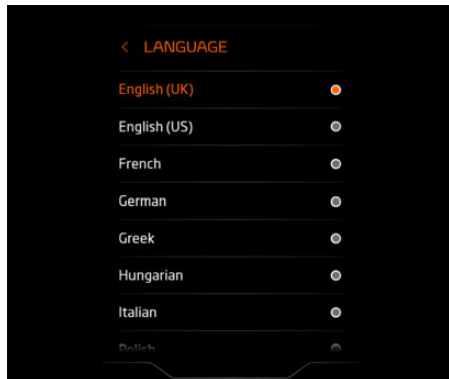


以下の時間と単位の設定を使用できます。

- 言語、4.8 ページ
- 時刻形式、4.8 ページ
- 時刻調整、4.9 ページ
- 時間帯、4.9 ページ
- 速度と距離の単位、4.9 ページ
- 燃料消費単位、4.9 ページ
- 温度単位、4.10 ページ
- 圧力単位、4.10 ページ

センターディスプレイ 設定

言語



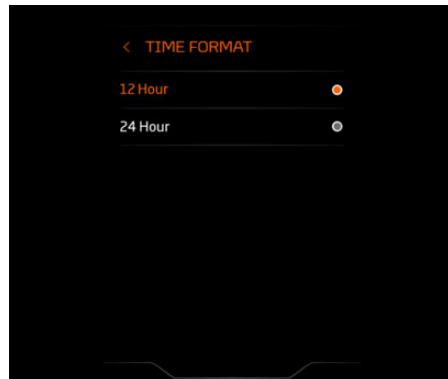
リストから使用する言語を選択します。

以下の選択肢があります。

- アラビア語（サウジ）
- 中国語（広東語）
- 中国語（北京語）
- チェコ語
- オランダ語
- 英語（オーストラリア）
- 英語（英国）
- 英語（米国）
- フランス語
- ドイツ語
- ギリシャ語

- ハンガリー語
- イタリア語
- ポーランド語
- ポルトガル語（ブラジル）
- ロシア語
- スペイン語
- タイ語
- トルコ語

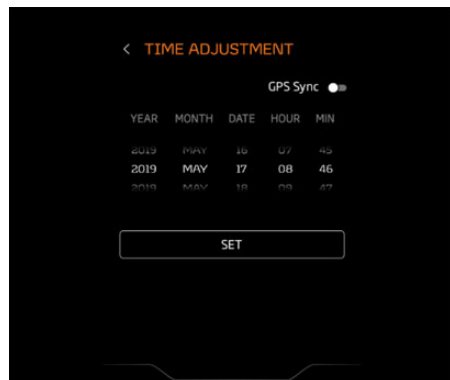
時刻形式



「12 時間」形式または「24 時間」形式を選択します。

センターディスプレイ 設定

時刻調整



GPS 同期を選択すると、GPS 信号を使用して時間が自動的に調整されます。「GPS 同期」にタッチすると、機能の「オン」と「オフ」が切り替わります。

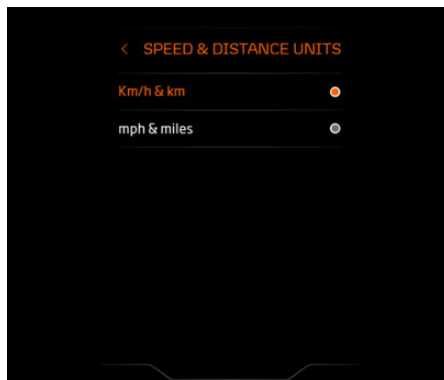
i 注意：時間を手動で調整するには、「GPS 同期」を「オフ」に設定する必要があります。

画面上のコントロールを使用して、時刻と日付を手動で調整します。

時間帯

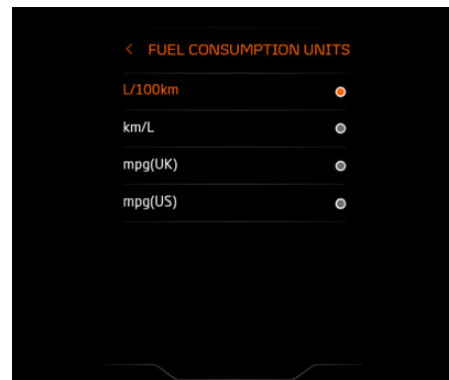
地域に適したタイムゾーンを選択します。

速度と距離の単位



「km/h & km」または「mph & miles」を選択します。

燃料消費単位

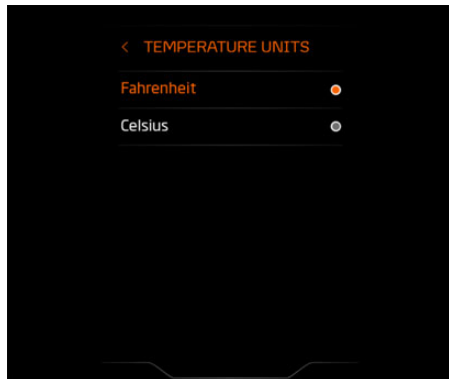


以下の選択肢があります。

- L/100 km
- km/L
- mpg (英国)
- mpg (米国)

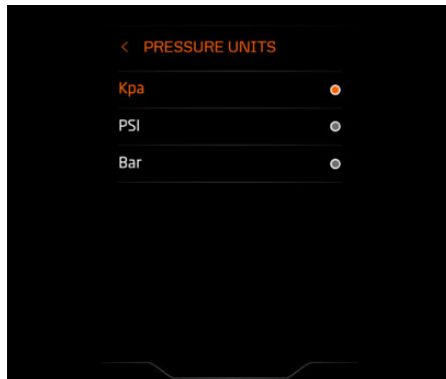
センターディスプレイ 設定

温度単位



「華氏」または「摂氏」を選択します。

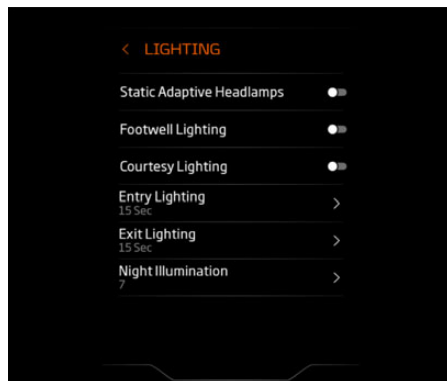
圧力単位



以下の選択肢があります。

- Kpa
- PSI
- Bar

ライト



スタティックアダプティブヘッドランプ
スタティックアダプティブヘッドランプは、コーナリング時にビームを調整し、進行方向を強く照らします。スタティックアダプティブヘッドランプ、1.32 ページを参照してください。

この機能の有効にするにはスタティックアダプティブヘッドランプを「オン」に設定し、無効にするには「オフ」を選択します。

フットウェルライト

フットウェルライトは、必要に応じて「オン」または「オフ」に設定できます。

センターディスプレイ 設定

乗車および降車照明

乗車前 / 降車後ライトは、車両がロック解除およびロックされているときにエクステリアランプを点灯させます。乗車および降車照明を作動させるには、それぞれの点灯時間を次のように設定します。

- 15 秒
- 30 秒
- 45 秒
- 60 秒

乗車および降車照明を無効にするには、「オフ」を選択します。

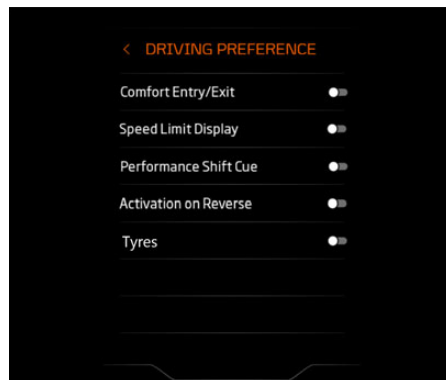
詳しくは、室内照明、5.7 ページを参照してください。

夜間照明

夜間照明により、ヘッドランプがオンのときは低レベルのインテリアランプを提供します。夜間照明を有効にするには、1～7 の範囲で求めるレベルを選択します。

夜間照明を無効にするには、「オフ」を選択します。

運転の好み



以下の運転の好み設定を使用できます。

- コンフォートエントリー / イグジット、4.11 ページ
- 速度制限ディスプレイ、4.11 ページ
- ギアシフトモード、4.12 ページ
- リバース時の作動、4.12 ページ

コンフォートエントリー / イグジット

コンフォートエントリー / イグジットが「オン」の場合、エンジンをオフにして運転席ドアを開くと、運転席シートが後方いっぱいまで移動して高さが最低位置になり、ステアリングホイールが前方に移動して高さが最高位置になります。

コンフォートエントリー / イグジットが「オフ」の場合、運転席シートおよびステアリングホイールの位置は移動しません。

速度制限ディスプレイ

「オン」の選択時に現在の道路の速度制限が取得できる場合は、それがドライバーディスプレイに表示されます。

センターディスプレイ 設定

ギアシフトモード

ギアシフトモード（PSC）は音が鳴るシフトインジケーターで、マニュアルギアボックスモードでフルスロットル加速中に、最適なパフォーマンスを維持するためにシフトアップが必要になると音を鳴らして知らせます。

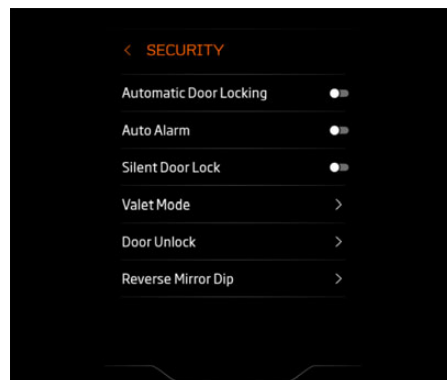
「ギアシフトモード」にタッチすると、機能のオンとオフが切り替わります。

リバース時の作動

リアビューカメラ（RVC）は、リアバンパーの中央に取り付けられています。

「オン」を選択すると、リバースギアを選択したときにライブビデオ画像がドライバースプレイに表示されます。

セキュリティ



以下のセキュリティオプションを利用できます。

- 自動ドアロック、4.12 ページ
- 自動アラーム、4.12 ページ
- サイレントドアロック、4.12 ページ
- バレーモード、4.13 ページ
- ドアロック解除、4.13 ページ
- リバースミラーディップ、4.14 ページ

自動ドアロック

購入時の車両は自動ドアロックが「オン」に設定されています。この車両のドアは走行を開始すると自動的にロックされます。

この機能を無効にするには、「オフ」を選択します。ドアは手動でロックしない限り走行を開始した後もロックされません。

自動アラーム

自動アラームが「オン」に設定されている場合、車両は自動的にロックされ、次の場合に 30 秒後にアラームが設定されます。

- 車両がロック解除されている
- 両方のドア、トノーカバーおよびサービスアクセスパネルが完全に閉じている

この機能を無効にするには、「オフ」を選択します。

サイレントドアロック

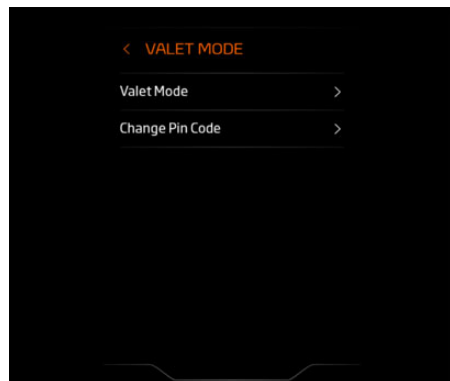
「オン」を選択すると、キーレスエントリーシステムを使用して車両をロックまたはロック解除した際に方向指示器は点滅しません。

「オフ」を選択すると、車両をロックまたはロック解除した際に、その方法にかかわらず方向指示器が点滅します。

その他のロックおよびロック解除機能はアクティブのままです。

センターディスプレイ 設定

バレーモード



バレットモードが「オン」の場合：

- 車速は 55 km/h (35 mph) に制限されています
- トノーコンパートメント、サービスカバー、およびセンターコンソール収納ボックスはロックされたままになります
- 確認メッセージがインストルメントクラスターに表示されます

バレットモードをオンにするには、以下の手順に従います。

1. 「バレットモード」メニューから「バレットモード」を選択します。
2. オンスクリーンキーパッドを使用して、4桁の PIN コードを入力します。番号を入力するたびに、番号がアスタリスクで表示されます。
3. 「入力」にタッチして確定します。

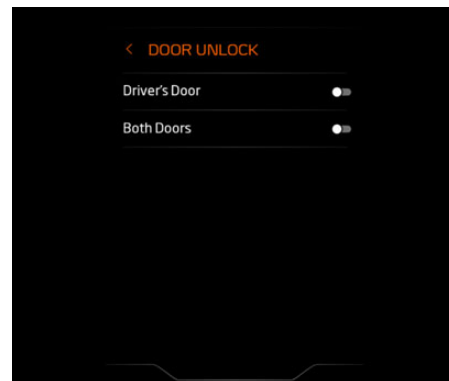
バレットモードが「オン」の場合は、PIN コードを入力してバレットモードをオフに切り替えます。

工場で設定された PIN コードは 0000 です。初めてバレットモードをオンにする場合は、この PIN コードを使用します。この PIN コードはできるだけ早い時期に変更してください。

PIN コードを変更するには、以下の手順に従います。

1. 「バレットモード」メニューから「PIN コードの変更」を選択します。
2. オンスクリーンキーパッドを使用して、古い PIN コードを入力します。
3. オンスクリーンキーパッドを使用して、新しい PIN コードを入力します。
4. 「入力」にタッチして確定します。

ドアロック解除



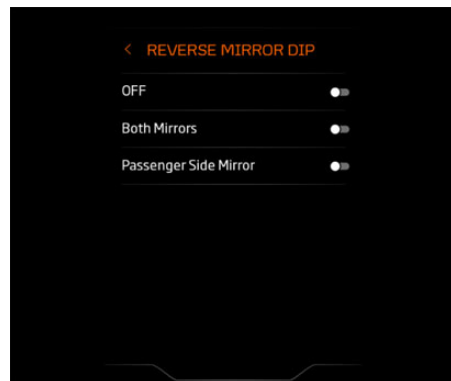
「ドアロック解除」設定で、キーフォブまたはドアボタンを使用したときにどのドアをロック解除するかを制御できます。オプションは次のとおりです。

- 「運転席側」。このオプションを設定すると、運転席ドアのみがロック解除されます
- 「両側」。このオプションを設定すると、両方のドアがロック解除されます

「運転席側」または「両側」のいずれかを選択すると、すべてのドアがロックされます。

センターディスプレイ 設定

リバースミラーディップ



以下のミラーディップ設定が可能です。

- 「オフ」。リバースに入れてもミラーディップは行われません
- 「両側」。リバースに入れると両側のミラーディップが行われます。
- 「助手席側」。リバースに入れると助手席側のミラーディップが行われます。

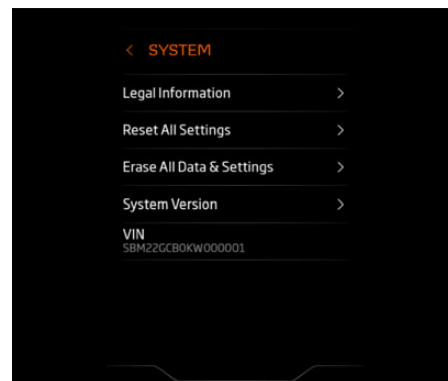
リバースギアへのシフトに連動したミラーのディップ量を設定するには：

1. イグニッションスイッチをオンにします。
2. クラスターのミラーディップセクションで「両側」または「助手席側」を選択します。

3. ブレーキペダルを踏んでリバースギアにシフトします。
4. 設定したい位置にミラーを調整します。外部ミラー、1.29 ページを参照してください。
5. ギアをリバース以外にします。

次にリバースギアにシフトしたときに、選択したミラーを自動的に、以前に設定したディップ位置まで移動させます。

システム



以下のシステム設定を使用できます。

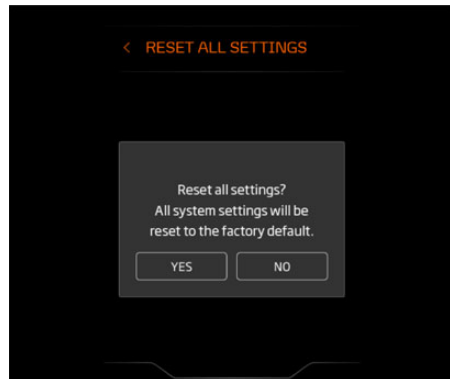
- 法律情報、4.14 ページ
- 工場出荷時の設定に復元、4.15 ページ
- すべてのデータと設定の消去、4.15 ページ
- システムバージョン、4.15 ページ
- VIN、4.15 ページ

法律情報

このオプションを選択すると、車両およびに関する利用可能な法律情報が表示されます。

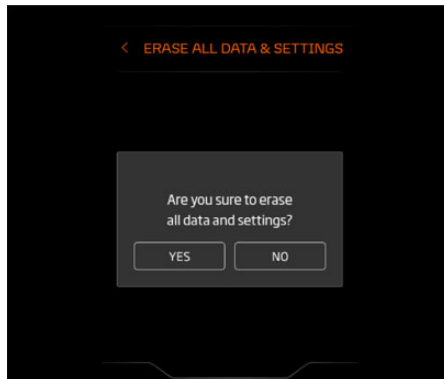
センターディスプレイ 設定

工場出荷時の設定に復元



「はい」を選択すると、車両および MIS のすべての設定が工場出荷時の設定にリセットされます。

すべてのデータと設定の消去



「はい」を選択すると、すべてのデータが消去され、車両および MIS のすべての設定が工場出荷時の設定にリセットされます。

システムバージョン

MIS にインストールされているソフトウェアバージョンを表示します。

VIN

車両識別番号（VIN）を表示します。車両識別番号、7.3 ページを参照してください。

センターディスプレイ 電話

概要

MIS を使用すると、Bluetooth® を使用して携帯電話を接続することにより、安全にハンズフリーで電話をかけたり受けたりすることができます。

また、接続すると電話に保存された連絡先や通話履歴にアクセスできます。

MIS では、会議通話を行うこともできます（接続した電話が対応している場合）。ただし、会議通話を開始することはできません。

安全上の注意事項

 **警告：車両の移動中は決して電話の操作を行わないでください。気を取られて事故につながる恐れがあります。**

 **警告：運転中、電話に気を取られないよう注意してください。事故につながる恐れがあります。**

 **警告：電話は常に安全な場所に保管してください。安全な場所に保管されていない物体は、事故の際に急激に移動して危険が生じる場合があります。**

 **警告：爆発の危険性が高いエリアでは、必ず電話の電源を切ってください。爆発の危険性が高いエリアには、ガソリンスタンド、燃料倉庫のエリア、化学薬品工場、また大気燃料蒸気、化学薬品、金属粉塵などが含まれるエリアがあります。**

 **警告：電話の使用中は、心臓ペースメーカーや補聴器が正常に作動しない場合があります。医師または機器のメーカーに確認し、このようなデバイスを使用している人が高周波エネルギーから十分に保護されるようにしてください。干渉を避けるため、携帯電話のアンテナと心臓ペースメーカーの間は少なくとも 15 cm（6 インチ）空けることを推奨します。**

Bluetooth®

Bluetooth® は、電子機器間でのワイヤレス通信を可能にする短距離無線周波（RF）技術です。

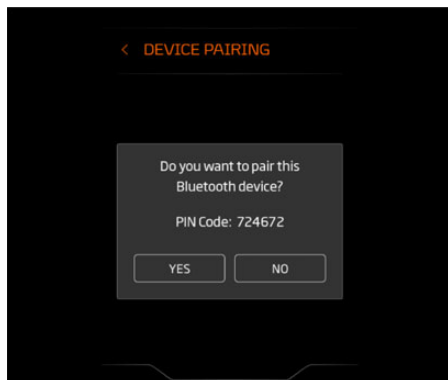
互換性のある Bluetooth® 搭載電話を MIS と連動させて使用することができます。

MIS システムは Bluetooth® Hands-Free Profile 1.6（HFP 1.6）に対応しています。システムに接続されている携帯電話がこのプロファイルにも対応している場合、バッテリーメーターや信号強度などの機能が画面に表示されることがあります。

携帯電話は、操作する前に MIS とペアリングされ、接続されている必要があります。デバイスのペアリング / 接続、4.17 ページと電話の接続、4.18 ページを参照してください。

センターディスプレイ 電話

デバイスのペアリング/接続



1. 初期設定では、Bluetooth® はオンになり、MIS は「検索可能」モードになります。Bluetooth® がオンになっていない場合は、手動でオンにします。Bluetooth、4.7 ページを参照してください。
2. 携帯電話で Bluetooth® 機器の検索機能を選択します。

i 注意：電話によっては、これを「ペアリングされた新しいデバイス」と呼ぶ場合があります。正しい記述については、電話の操作説明書を参照してください。

3. 利用可能なデバイスのリストから「MIS」を選択します。
4. MIS はパスキーを表示します。
5. 「はい」を選択し、MIS に表示されているパスキーが電話に表示されているパスキーと一致することを確認します。
6. 電話で「ペアリング」を選択します。
7. Bluetooth® によるインターネット接続の共有に対応しているデバイスをペアリングするときに、デバイスがインターネットアクセスに使用するアクセスポイント名（APN）を選択しなければならない場合があります。デバイスと契約に応じてオプションを選択します。

i 注意：電話の設定を使用すると、Bluetooth® によるインターネット共有は無効にできます。

一度電話を MIS とペアリングして接続すると、電話が検出範囲内に入ると必ず自動的に接続されます。自動的に接続されない場合は、携帯電話のコントロールを使用して手動で MIS に接続する必要があります。

追加デバイスのペアリング

追加デバイスを接続する手順は、最初の電話をペアリングしたときと同じです。デバイスのペアリング/接続、4.17 ページを参照してください。

MIS には最大 12 台のデバイスをペアリングできますが、一度に接続できるのは 1 台のみです。

i 注意：MIS にデバイスがすでに接続されている場合、追加デバイスをペアリングすることはできません。元のデバイスは MIS に接続されたままになります。

センターディスプレイ 電話

電話の接続

ペアリングした電話がすでにある場合、その電話が検出範囲内に入ると、2 台のデバイスがまだ接続されていなければ MIS は自動的にその電話を再接続します。

i 注意：電話によっては、手動で接続しなければならないものもあります。

i 注意：電話によっては、接続を毎回認証する必要があるものもあります。これを避けるには、電話の既知のデバイスリストで MIS を「承認済み」に設定します。

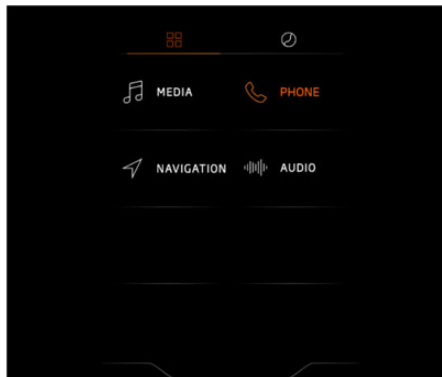
MIS または車両の電源がオフになると電話は切断されます。車両または MIS の電源を再びオンにすると、数秒間で自動的に再接続されます。

電話をかける

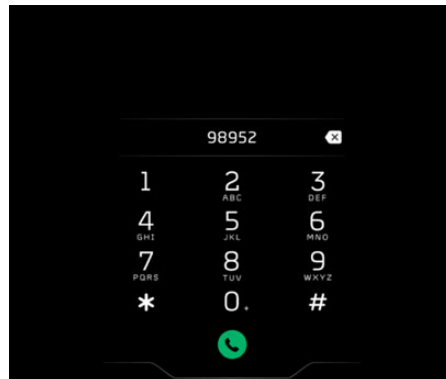
以下の方法で電話をかけることができます。

- キーボードの使用、4.18 ページ
- 連絡先の使用、4.19 ページ
- 通話履歴の使用、4.19 ページ
- お気に入り、4.20 ページ

電話アプリケーションに切り替えるには、MIS のホーム画面から「電話」アイコンにタッチするか、「電話」ボタンを押します。



キーボードの使用

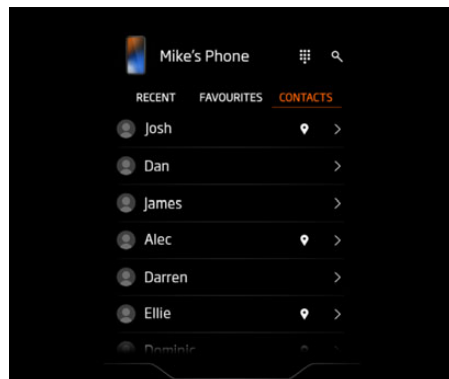


1. 「電話」画面で、キーパッドアイコンにタッチします。
2. オンスクリーンキーパッドを使用して電話番号を入力できます。
番号または数字の入力を間違えた場合は、バックスペースアイコンにタッチすると最後に入力した数字が削除されます。
3. 画面にすべての番号が表示されたら、電話アイコンにタッチして通話を開始します。

センターディスプレイ 電話

-  注意:ダイヤル中は電話アイコンの周りの円が黄色になり、通話が接続されると緑色に変わります。
- 4. ダイヤル中に発信をキャンセルするには、「通話を終了」または電話ボタンにタッチします。
-  注意 :通話中は、再生中のメディアのサウンドはミュートになります。

連絡先の使用

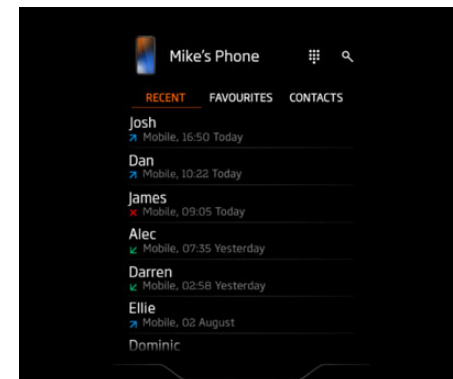


1. 電話画面で、「連絡先」タブにタッチします。

2. 連絡先が表示されたら、リストをスクロールして特定のユーザーを検索します。
3. 連絡先を選択すると、その連絡先のすべての電話番号が表示されます。目的の電話番号にタッチして通話を開始します。

-  注意:ダイヤル中は連絡先記号の周りの円が黄色になり、通話が接続されると緑色に変わります。
- 4. ダイヤル中に発信をキャンセルするには、「通話を終了」または電話ボタンにタッチします。
-  注意 :通話中は、再生中のメディアのサウンドはミュートになります。

通話履歴の使用



1. 電話画面で、「最近の通話」タブにタッチします。
2. 通話記録のリスト（発信、不在着信、着信）が、直近の通話記録を一番上に日付順に表示されます。
3. 目的の連絡先にタッチして通話を開始します。

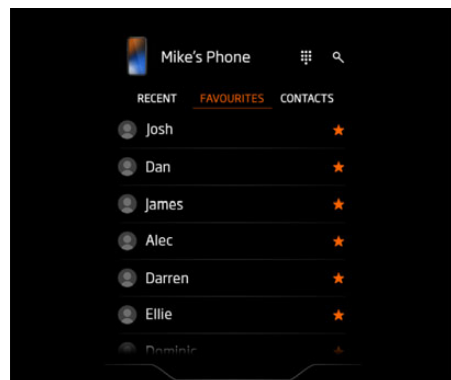
-  注意:ダイヤル中は連絡先記号の周りの円が黄色になり、通話が接続されると緑色に変わります。

センターディスプレイ 電話

4. ダイヤル中に発信をキャンセルするには、「通話を終了」または電話ボタンにタッチします。

i 注意 : 通話中は、再生中のメディアのサウンドはミュートになります。

お気に入り



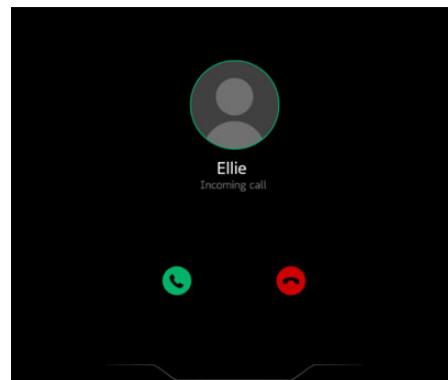
1. 電話画面で、「お気に入り」タブにタッチします。
2. お気に入りの連絡先のリストが表示されます。
3. 目的の連絡先にタッチして通話を開始します。

i 注意: ダイヤル中は連絡先記号の周りの円が黄色になり、通話が接続されると緑色に変わります。

4. ダイヤル中に発信をキャンセルするには、「通話を終了」または電話ボタンにタッチします。

i 注意 : 通話中は、再生中のメディアのサウンドはミュートになります。

通話を受信



着信を受信すると、電話に保存されている発信者の詳細がMISに表示されます。

通話を受けるには、緑色の「通話」アイコンにタッチします。

通話を拒否するには、「通話を終了」アイコンにタッチします。



警告 : 運転中、電話に気を取られないよう注意してください。事故につながる恐れがあります。

センターディスプレイ 電話

通話中のオプション

キーパッドアイコンにタッチするとオンスクリンキーボードが起動します。キーパッドが表示されたら、キーパッドアイコンにタッチして非表示にします。

マイクを無効にするには、ミュートアイコンにタッチします。もう一度タッチすると、マイクが有効になります。

「一時停止」アイコンにタッチすると、通話が保留になります。

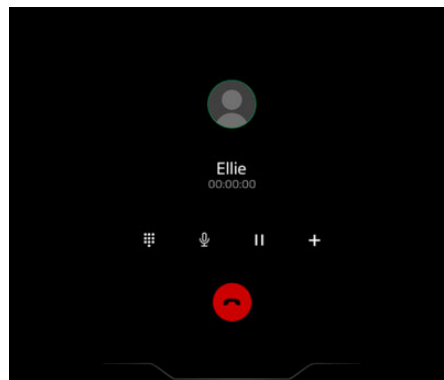
「プラス」アイコンにタッチすると、通話相手が追加されます。連絡先リストから連絡先を選択し、電話会議を開始します。

統合アイコンにタッチすると、2つの通話が電話会議に統合されます。このオプションが利用できる場合、プラスアイコンは統合アイコンになります。

通話中にホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。通話中に MIS の他の機能にアクセスできます。現在の通話は、ディスプレイの上部に最小表示されます。

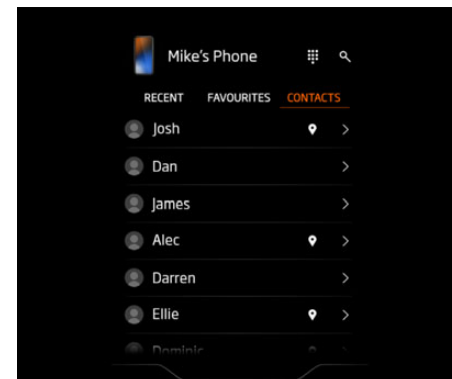
通話の終了

「通話を終了」にタッチして通話を終了します。画面が電話メニューに戻ります。



別のシステム画面を表示中に通話を終了するには、画面の上部に表示される「通話中」画面の横にある赤色の「通話終了」アイコンにタッチします。

連絡先



1. 電話画面で、「連絡先」タブにタッチします。



注意：電話機の種類に応じて、連絡先の写真が電話に保存されている場合は、通話中に画面に表示されます（連絡先が MIS と同期されている場合）。

2. 連絡先リストが 1 画面の表示範囲を超える場合は、画面上で指を上下にスワイプして上下にスクロールします。

センターディスプレイ 電話

3. あるいは、オンスクリーンキーボードで連絡先を検索することもできます。検索、4.22 ページを参照してください。

4. 連絡先を選択すると、連絡先に関するすべての情報が表示されます。

 注意：電話機の種類に応じて、連絡先の写真が電話に保存されている場合は、通話中に画面に表示されます（連絡先が MIS と同期されている場合）。

5. 目的の電話番号にタッチして通話を開始します。

 注意：ダイヤル中は連絡先記号の周りの円が黄色になり、通話が接続されると緑色に変わります。

 注意：あるいは、「ナビゲーション」ボタンにタッチして連絡先住所へのナビゲーションを開始します。

6. ダイヤル中に発信をキャンセルするには、「通話を終了」または電話ボタンにタッチします。

 注意：通話中は、再生中のメディアのサウンドはミュートになります。

 注意：連絡先をお気に入りとしてタグ付けするには、星型アイコンにタッチします。お気に入りリストから削除するには、もう一度星型アイコンにタッチします。

検索

1. 「連絡先」タブで、「検索」アイコンを押します。
2. オンスクリーンキーボードを使用して 1 文字以上を入力し、表示される連絡先を絞り込みます。

間違った文字を入力した場合、バックスペースアイコンにタッチすると削除されます。

3. 連絡先を選択すると、その連絡先のすべての電話番号が表示されます。目的の電話番号にタッチして通話を開始します。

 注意：ダイヤル中は連絡先記号の周りの円が黄色になり、通話が接続されると緑色に変わります。

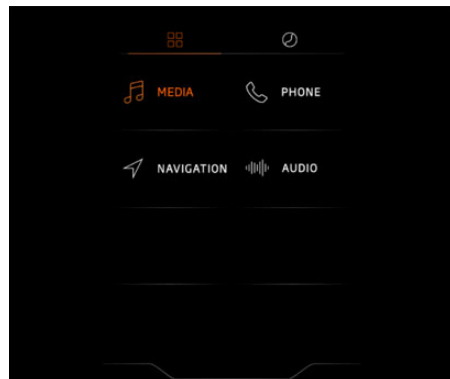
 注意：電話機の種類に応じて、連絡先の写真が電話に保存されている場合は、通話中に画面に表示されます（連絡先が MIS と同期されている場合）。

4. ダイヤル中に発信をキャンセルするには、「通話を終了」または電話ボタンにタッチします。

 注意：通話中は、再生中のメディアのサウンドはミュートになります。

センターディスプレイ メディア

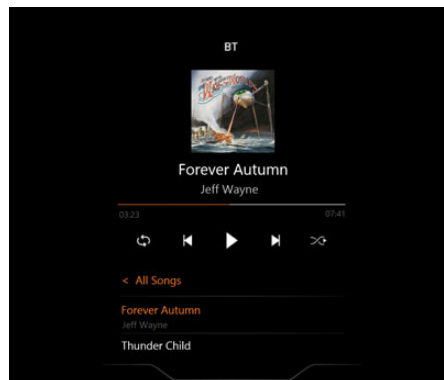
概要



メディアプレーヤーの機能には、MIS ホーム画面から「メディア」アイコンにタッチするか、「メディア」ボタンを押すとアクセスできます。

メディアを選択すると、利用可能なオーディオソースが表示されます。

オーディオソース



音楽デバイスがUSBポートあるいはBluetooth®に接続されている場合、ソースが画面に表示され、それぞれの記号が画面の上部に表示されます。

i 注意：デバイスが利用できない場合、リストに表示されません。

サポートされているメディアデバイス

現在の互換性あるメディアデバイスのリストについては、マクラーレン代理店にご相談ください。

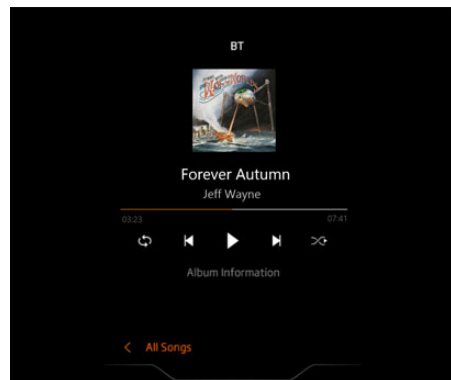
メディアファイルのサポート

メディアシステムでは、以下の形式とエンコーディングを組み合わせたファイルを再生できます。

- MP3
- AAC
- WMA
- OGG Vorbis
- AC3
- AMR
- FLAC
- WAV
- AIFF

センターディスプレイ メディア

メディアコントロール



内部ストレージまたは接続デバイスから再生される音楽は、MIS タッチスクリーンを使用して操作できます。

音楽の再生が開始されると、画面に以下の情報が表示されます。

- アーティストの名前
- アルバムタイトル
- 曲のタイトル

曲に関連付けられたアートワークがある場合は、そのアートワークも表示されます。アートワークがない場合は、音符が表示されます。

早送りアイコンまたは巻き戻しアイコンにタッチし続けると、現在の曲を前に進めたり、元に戻したりできます。あるいは、プログレスバーにタッチしてドラッグすることで、曲の任意の位置に移動できます。

早送りアイコンに1回タッチすると、次の曲にスキップします。巻き戻しアイコンに1回タッチすると、現在の曲の先頭にスキップします。2回タッチすると、1つ前の曲にスキップします。

次のまたは前のフォルダにスキップするには、前進アイコンまたは後進アイコンにタッチします。

曲を一時停止するには、一時停止アイコンにタッチします。再生を再開するには、再生アイコンにタッチします。画面をタップすることで、曲を一時停止または再開することもできます。

現在選択している音楽をランダム再生するには、シャッフルアイコンを押します。ランダムがアクティブの場合、アイコンはアンバー色になります。

リピートオプションを切り替えるには、リピートアイコンを押します。アイコンを押すたびに、次のオプションが選択されます。

- リピートオフ
- 1回繰り返す（現在のトラックを繰り返します）
- すべてを繰り返す（現在のプレイリストを繰り返します）

「1回繰り返す」または「すべてを繰り返す」がアクティブの場合、アイコンはアンバー色になります。

i 注意: この機能は、Bluetooth® デバイスでは使用できません。

センターディスプレイ メディア

外部デバイスへの接続



センターコンソールを開き、必要に応じて USB デバイスを接続します。

走行前に、センターコンソールが閉じていることを確認します。

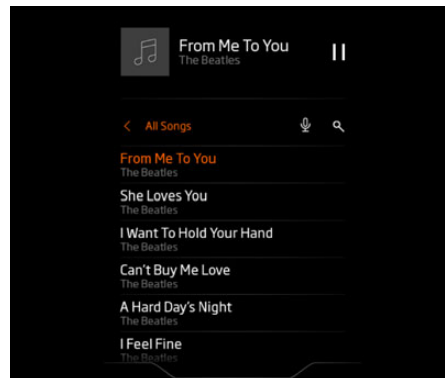
Bluetooth® デバイスの接続に関する詳細については、デバイスのペアリング / 接続、4.17 ページを参照してください。

USB および iPod

USB デバイスを接続します。外部デバイスへの接続、4.25 ページを参照してください。

「メディア」画面から、USB を選択します。

i 注意: デバイスに取り付けられた内部バッテリーは USB ポートを介して充電されます。



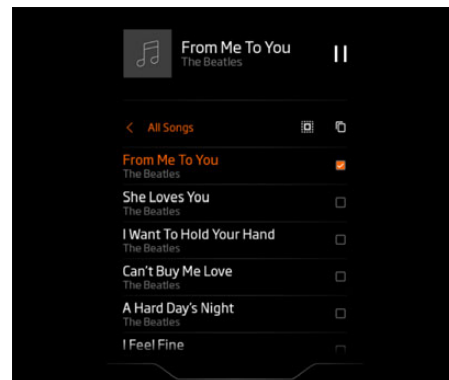
- すべての曲
- アーティスト
- アルバム
- ジャンル
- フォルダ

聞きたいフォルダまたはプレイリストを参照し、曲を選択して再生を開始します。

「検索」にタッチしてオンスクリーンキーボードを使用し、オーディオファイルを検索することもできます。

ストレージへのコピー

コピー機能を使用して、音楽ファイルを USB 機器からストレージにコピーします。



1. コピーするトラックまたはフォルダを長押しします。
2. コピーする他のトラックまたはフォルダを選択するか、すべて選択アイコンにタッチして現在のリストのすべてのアイテムを選択します。

センターディスプレイ メディア

3. コピーアイコンにタッチして、選択したファイルをコピーします。
4. 目的のフォルダを選択するか、新規フォルダアイコンにタッチしてフォルダを新規作成します。
5. 「貼り付け」にタッチしてアイテムを貼り付けます。

ストレージ

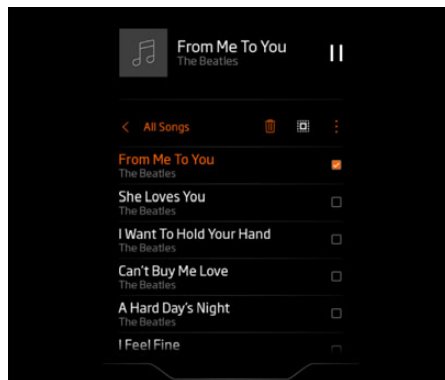
「Media (メディア)」画面から、「ストレージ」を選択します。

聞きたいフォルダまたはプレイリストを参照し、曲を選択して再生を開始します。

ファイルのインポート

ファイルは接続された USB デバイスからインポートできます。ストレージへのコピー、4.25 ページを参照してください。

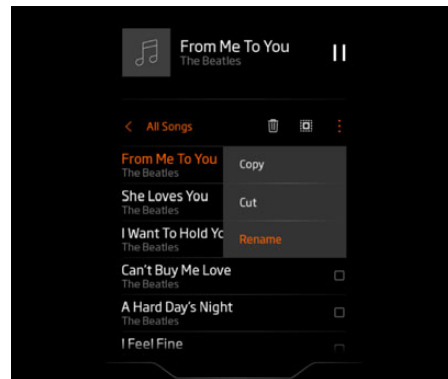
ストレージの消去



1. 消去するトラックまたはフォルダを長押しします。

2. 消去する他のトラックまたはフォルダを選択するか、すべて選択アイコンにタッチして現在のリストのすべてのアイテムを選択します。
3. 選択したファイルを消去するには、削除アイコンにタッチします。
4. 選択したアイテムを削除することを確認します。

名前の変更



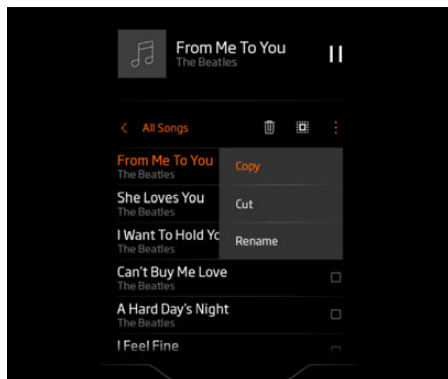
1. 名前を変更するトラックまたはフォルダを長押しします。
2. メニューアイコンにタッチしてメニューを開きます。
3. 「名前の変更」を選択し、新しい名前を入力します。

センターディスプレイ メディア

4. 「OK」 にタッチして新しい名前を確定します。

5. 「貼り付け」 にタッチして選択したフォルダにアイテムを移動またはコピーします。

移動またはコピー



1. 別のフォルダに移動またはコピーするトラックまたはフォルダを長押しします。
2. 移動またはコピーする他のトラックまたはフォルダを選択するか、すべて選択アイコンにタッチして現在のリスト内のすべてのアイテムを選択します。
3. メニューアイコンにタッチしてメニューを開きます。
4. 目的のフォルダを選択するか、新規フォルダアイコンにタッチしてフォルダを新規作成します。

Bluetooth オーディオ

Bluetooth® デバイスを接続します。デバイスのペアリング / 接続、4.17 ページを参照してください。

「メディア」画面から、Bluetooth オーディオソースを選択します。

接続されている Bluetooth® デバイスによっては、音楽の再生が自動的に開始される場合があります。

音楽の再生が自動的に開始されない場合は、デバイス本体で再生を選択します。

音楽の再生中は、Bluetooth® 記号 が画面の上部に表示されます。

音量は、MIS を使用して調節できます。システムコントロール、4.3 ページを参照してください。

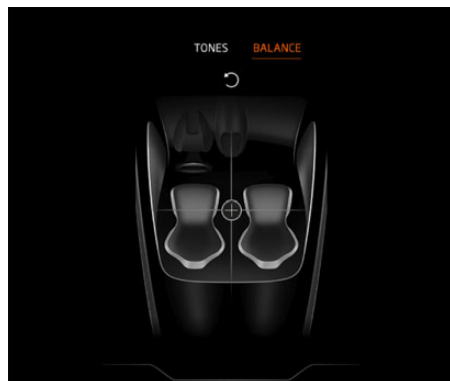
音量は取り付けられているデバイスの出力レベルと MIS レベルによって変化します。

センターディスプレイ オーディオ

概要

「オーディオ」アイコンにタッチすると、「オーディオ設定」画面が表示されます。

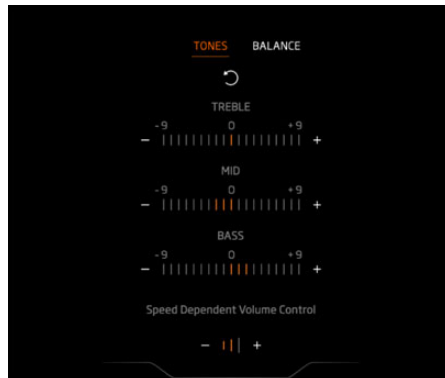
オーディオ設定は、MIS のすべての機能に適用されます。



画面の上からスワイプして、次のオプションから選択します。

- トーン、4.28 ページ。
- バランス、4.29 ページ。

トーン



高音

「高音」の横にある「+」または「-」アイコンにタッチして、希望するサウンド再生品質に調整します。範囲は1 ずつ増減させて0 ～ +9 または0 ～ -9 まで設定できます。

中音

「中音」の横にある「+」または「-」アイコンにタッチして、希望するスピーカーのサウンドに調整します。範囲は1 ずつ増減させて0 ～ L9 または0 ～ R9 まで設定できます。

低音

「低音」の横にある「+」または「-」アイコンにタッチして、希望するサウンド再生品質に調整します。範囲は1 ずつ増減させて0 ～ +9 または0 ～ -9 まで設定できます。

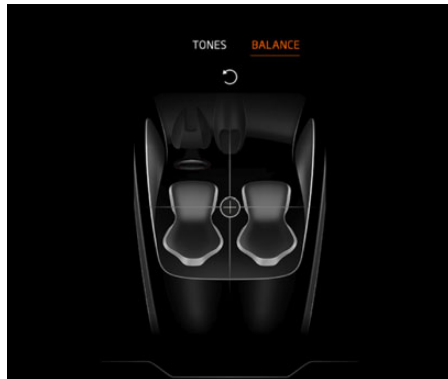
速度感応式音量

この機能は、高速な車速によって生じる機械的ノイズを相殺するために音量設定を高くします。

アイコンに繰り返しタッチして、「オフ」、「1」、「2」、および「3」の間で切り替えます。最適なサウンド再生を実現する設定を選択します。

センターディスプレイ オーディオ

バランス



十字線にタッチしてドラッグし、バランスを調整します。

センターディスプレイ ナビゲーション

概要

 本ナビゲーションシステムは、GPS 衛星からの信号と車両センサーからの情報、MIS に保存された地図データを使用して、車両の位置を正確に判断します。

システムはこのデータを使用して、設定していた可能性がある走行方法を考慮して目的地への最適なルートを作成します。

特定のルートを作成するには、画面上のメニューと MIS コントロールを使用して選択します。作成したルートは地図上でハイライトされます。

走行を開始すると、走行中に適切な位置で曲がり角の情報がセントラルインフォテイメントタッチスクリーンに表示され、必要に応じて音声ガイダンスも行われます。

予定しているルートから大きく外れた場合は、目的地までの別ルートを自動的に計算します。

安全性

 **警告：運転中、ナビゲーションシステムに気を取られないよう注意してください。事故につながる恐れがあります。イグニッションをオンにした後、ナビゲーションシステムの使用を開始したときに表示される安全メッセージを読み、従ってください。**

国の道路交通法と交通標識には必ず従ってください。

ナビゲーションシステムは、最適なルートの判断をサポートするものであることを、常に覚えておいてください。視認性が低下している場合の補助手段と見なさないでください。

トンネル内やそれ以外の GPS 信号が遮断されるような状況での走行時には、GPS 信号が妨害される可能性があります。GPS 信号が再取得されるまで、ナビゲーションはそのままルート案内を続けます。

車両位置のエラーは、前述した状況下や以下のいずれかの状況でも起こる可能性があります。

- 建物内の走行（立体駐車場など）
- 並行する道路が非常に近い位置にある道路を走行する。

- ターンテーブルを使用して車両を回転させる。
- 車両が異なる場所へ輸送された。

センターディスプレイ ナビゲーション

ナビゲーションの使用

MIS のホーム画面から「ナビゲーション」アイコンにタッチするか、「ナビゲーション」ボタンを押します。

イグニッションスイッチをオンにした後、ナビゲーションに初めてアクセスすると、MIS に安全警告メッセージが表示されます。これらのメッセージをよくお読みください。

ナビゲーションシステムのロードが完了すると、警告メッセージは自動的に消えます。

車両の現在位置を示す地図がセントラルインフォテイメントタッチスクリーン画面に表示されます。

 車両の位置と進行方向は、進行方向を示す矢印で表示されます。

地図の表示部分を操作するには、画面にタッチして、ゆっくりと指を地図内の任意の方向に動かします。

「検索」にタッチして目的地を設定するオプションにアクセスします。目的地の設定、4.31 ページを参照してください。

MIS はマルチタッチスクリーンを備えており、ピンチジェスチャーによるズームインおよびズームアウトが簡単にできます。親指と人差し指で画面にタッチし、指の間隔を狭めるようにつまむと縮小でき、指の間隔を広げると再び拡大できます。

「+」と「-」アイコンを使用して、ズームイン / ズームアウトすることもできます。

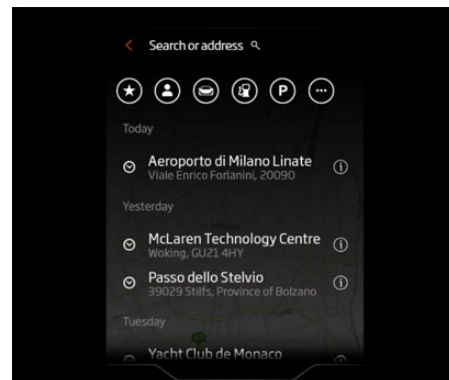
上矢印にタッチして、現在の位置を画面の中央に表示します。

ズーム設定に応じて、画面の詳細度も変わります。例えば、大きくズームインすると、道路名やいくつかの施設（POI）が表示されますが、ズームアウトすると表示されなくなります。

また、車速に応じて、あらかじめ設定されたレベルまで自動的にズームインまたはズームアウトされます。

時刻に合わせて視認性を高めるために、画面カラーが昼間モードと夜間モードに自動的に切り替わります。

目的地の設定



画面を使用

地図を手で動かして、目的地の一般的なエリアを探すのに最も効果的な縮尺で地図を表示します。

地図をタッチして、希望の目的地の位置をマークします。

検索または住所

 「検索」または「住所」にタッチして、市名、町名、または番地を入力します。

センターディスプレイ ナビゲーション

前回の目的地

前回の目的地は、リストに日付順で表示されます。前回の目的地にタッチして、新しい目的地として設定します。

お気に入り



「お気に入り」アイコンにタッチすると、お気に入りの目的地が表示されます。住所にタッチして、新しい目的地として設定します。

連絡先



「連絡先」アイコンにタッチして、連絡先に保存されている住所情報を表示します。住所にタッチして、新しい目的地として設定します。

マクラーレン代理店



「マクラーレン」アイコンにタッチして、最寄りのマクラーレン代理店の場所を確認します。マクラーレン代理店のリストが表示され、最寄りの代理店はリストの一番上にきます。住所にタッチして、新しい目的地として設定します。

ガソリンスタンド



「燃料」アイコンにタッチすると、最寄りのガソリンスタンドが表示されます。ガソリンスタンドのリストが表示され、最寄りのガソリンスタンドはリストの一番上にきます。住所にタッチして、新しい目的地として設定します。

駐車場



「駐車場」アイコンにタッチして、最寄りの駐車場を見つけます。駐車場のリストが表示され、最寄りの駐車場はリストの一番上にきます。住所にタッチして、新しい目的地として設定します。

その他の検索カテゴリー



「その他」アイコンにタッチすると、その他の検索カテゴリーが表示されます。この機能を使用して、空港、ATM、ホテル、病院、店などの施設を検索します。

ルートの概要

目的地を選択した後、ルートの概要が表示され、ルートがハイライト表示されます。開始位置、現在の位置、中間地点、および目的地は、ハイライト表示されたルートに沿って表示されます。

目的地をお気に入りとして保存するには星型アイコンを選択し、ナビゲーションを開始するには「実行」を選択します。

センターディスプレイ アプリ

Apple CarPlay

互換性のある Apple iPhone®をお持ちの場合は、ドライバーディスプレイから Apple CarPlay®を使用できます。

Apple CarPlay®の使用法の説明については、以下を参照してください。

<https://support.apple.com/ja-jp/HT205634>

Apple CarPlay®の詳細については、以下を参照してください。

<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

Android Auto Projection

互換性のある Android® スマートフォンをお持ちの場合は、ドライバーディスプレイから Android Auto Projection を使用できます。

Android Auto Projection の設定方法については、以下を参照してください。

<https://support.google.com/androidauto/answer/6348029?hl=ja-jp>

Android Auto Projection の詳細については、以下を参照してください。

https://support.google.com/androidauto/topic/6106969?hl=ja-jp&ref_topic=6106809



快適機能と便利機能

クライメートコントロール	5.2
概要	5.2
調節ダイヤル	5.2
クライメートコントロール	5.2
動作モード	5.3
オートマチックモード	5.3
マニュアルモード	5.3
SYNC モード	5.3
温度調整ダイヤル	5.4
ブローアー速度調節ダイヤル	5.4
エアディストリビューション設定	5.5
ダッシュボードエアイベント	5.5
セントラルダッシュボードエアイベント	5.6
インテリア装備	5.7
室内照明	5.7
ドライバーディスプレイ	5.7
乗車ライト	5.7
降車ライト	5.7
収納ボックス	5.8
センターコンソール収納ボックス	5.8
ロッカー収納	5.8
ヘルメットの収納	5.9
トノーコンパートメント	5.9
助手席側フットウェル	5.9
USB ソケット	5.10
メディア USB ソケット	5.10

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

概要

このシステムはオートマチックモードによる動作と、マニュアルによる設定の調節ができます。

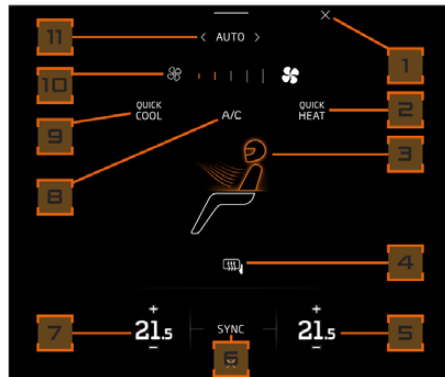
i 注意：クライメートコントロールシステムには、花粉フィルターは含まれていません。

i 注意：車両のイグニッションスイッチをオフにしても、現在の室内温度制御設定は保持されます。

調節ダイヤル

クライメートコントロールシステムは、セントラルインフォテインメントタッチスクリーンを使用して操作します。ファンボタンを押すと、クライメートコントロール画面がオンになります。

クライメートコントロール



1. 室内温度制御メニューを閉じる
2. 「Quick HEAT（クイックヒート）」ボタン
3. 「エアディストリビューション」ボタン
4. 熱線入りドアミラー
5. 温度調節 - 右側
6. 「SYNC（同期）」ボタン
7. 温度調節 - 左側

8. 「エアコン」ボタン
9. 「Quick COOL（クイッククール）」ボタン
10. ブロー速度調節ダイヤル
11. 「AUTO（オート）」ボタン

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

動作モード

オートマチックモード

オートマチックモードでは、クライメートコントロールシステムは様々なブローア速度と内気循環およびエアディストリビューションを組み合わせて、設定された温度を維持します。

コントロールパネルでは、色によって動作状態が示されます。

- アンバー色はオンを示します
- 白はオフになっているが、使用可能であることを示します
- グレーは、使用できないことを示します

オートマチックモードをオンにするには「AUTO」ボタンをタッチします。

ボタンが点灯し、車両の左右両側のエアディストリビューション、温度およびブローア速度が自動的に調節されます。

AUTO モードでは、ブローア速度やエアディストリビューションを調節する必要はありません。システムは設定温度を維持するために必要なコントロールを作動させます。

それでもクライメートコントロールシステムのエアディストリビューションを変更したい場合は、希望するボタンをタッチしてください。これでシステムはAUTO ファンモードになります。これは、ブローア速度スライダーの色によって示されます。

ブローアがオートマチックコントロールになっている場合、バーはグレーで表示され、スライダーが自動的に移動します。この場合、システムは引き続きブローア速度を調節して、設定温度を維持します。

AUTO がアクティブなときにブローア速度を調整すると、デフォルトでマニュアルモードが選択されます。その後、「オート」ボタンを押すと、AUTO モードが再度アクティブになります。

必要に応じ、システム設定を手動で調節できます。マニュアルモード、5.3 ページを参照してください。

マニュアルモード

吸気温を手動で調節するには、温度調整ダイヤル、5.4 ページを参照してください。

ブローア速度を手動で調節するには、ブローア速度調節ダイヤル、5.4 ページを参照してください。

SYNC モード

SYNC モードにより、運転席側で行った室温設定の変更を、自動的に助手席側の室温設定に適用することができます。

画面上の「同期」ボタンをタッチします。ボタンが点灯し、運転席側の吸気温設定が自動的に助手席側に適用されます。

ドライバーは「SYNC（同期）」ボタンに1回タッチすることで随時 SYNC モードを終了できます。その後、画面上の「SYNC（同期）」ボタンが消えます。

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

温度調整ダイヤル

温度を上げるには+にタッチし、下げるには-にタッチします。

- i** 注意：温度は16℃～28℃（61°F～83°F）の間で、0.5℃（1°F）刻みで調節できます。温度を22℃（72°F）に設定することをお勧めします。

最高温度に設定するには、「HIGH」と表示されるまで、+にタッチします。AUTO モードでは、クライメートコントロールシステムによって吸気温が最高に、ブローア速度が最大に設定され、空気がフットウェルに吹き出されます。

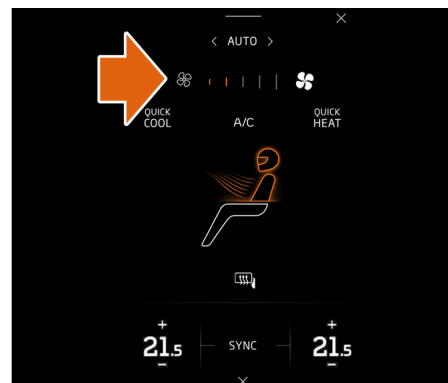
最低温度に設定するには、「LOW」と表示されるまで、-にタッチします。AUTO モードでは、クライメートコントロールシステムによって吸気温が最低に、ブローア速度が最大に設定され、空気がセンターエアベントから吹き出されます。

設定された温度がセントラルインフォテイメントタッチスクリーンに表示されます。

運転席と助手席の温度を同時に調整するには、「同期」にタッチして温度を調整します。温度コントロールは、「同期」に再度タッチするまで同期されたままになります。

- i** 注意：「LOW」が選択された状態で、エアコンをオフにすることはできません。

ブローア速度調節ダイヤル



- i** 注意：エンジンが冷えた状態で始動したときは、エンジンが暖まるまでブローア速度が制限されます。
- i** 注意：エンジンが暖まった状態で再始動した場合は、ブローアが低速で動作することがあります。これによりベントから暖かい空気を取り除かれます。その後、ブローア速度が要求された設定まで上昇します。

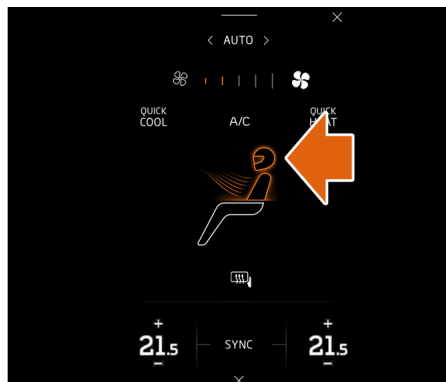
「ファン」アイコンにタッチして、目的の設定にドラッグします。

快適機能と便利機能 クライメートコントロール

オートマチックモードになっている場合にブローア速度を調節すると、「AUTO」ボタンが消えます。

オートマチックモードに戻るには、「AUTO」ボタンを押します。

エアディストリビューション設定



エアディストリビューションはエアディストリビューションボタンを使用して設定できます。

空気をセンターエアベントから吹き出させるには、画面中央部を押し、フットウェルベントから吹き出させるには、画面下部を押します。

一方または両方の領域はいつでも選択できます。

エアディストリビューション画面領域を押すと、画面のアイコンが点灯します。

ダッシュボードエアベント



ベントが開くか閉じるまで、いずれかの方向に4分の1回転させます。

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

セントラルダッシュボードエアベント

セントラルダッシュボードエアベントは、センターブレードを上下にスライドさせることで開閉できます。エアフローの方向は、センターブレードを左右に押して調整できます。



快適機能と便利機能 インテリア装備

室内照明

ドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイが読みやすいよう、車の周囲の明るさに応じて色が変化します。

昼光または明るい光の場所では、ドライバーディスプレイは背景が明るくなり、文字は暗くなります。

暗い場所や光が少ない場所（トンネルなど）では、ドライバーディスプレイは背景が暗くなり、文字は白くなります。

乗車ライト

乗車照明は、車両に近づいたときの視界と安全性を改善します。

車両のロックを解除すると、ヘッドランプとテールランプが一定時間、またはイグニッションスイッチをオンにするまで点灯します。

乗車照明の点灯時間の設定方法は乗車および降車照明、4.11 ページを参照してください。

降車ライト

降車照明は、ヘッドランプとテールランプを一定時間点灯し、車両を離れる際の視界と安全性を改善します。

降車照明の点灯時間の設定方法は乗車および降車照明、4.11 ページを参照してください。

降車照明は、方向指示器レバーを手前に3回瞬間的に引くことによっても作動させることができます。車両はアウェイクモードで、イグニッションスイッチがオフである必要があります。

降車照明が作動中に方向指示器レバーを引くと、1回引く度に15秒ずつ時間が延長されます。

降車してロックし、設定された作動時間が完了すると、降車照明は消灯します。降車照明機能は、マクラーレンインフォテイメントシステム(MIS)でオンになっているか、方向指示器レバーを使用して手動で再度作動させないと使用できません。

快適機能と便利機能 インテリア装備

収納ボックス

センターコンソール収納ボックス

小物を収納するために、センターコンソールに収納ボックスが設けられています。センターコンソールには、ドライブの際に蓋付き飲み物の容器を安全で便利に収納できるカップホルダーも設けられています。

リッドの下側にある「リリース」ボタンを押し、持ち上げて開きます。閉じるには、確実にラッチがかかるまでリッドをしっかりと押し下げます。

注意: 車両がロックされているか、パレットモードがオンになっている場合、収納ボックスはロックされ、リリースボタンは無効になります。

警告: 収納ボックスは中に物品を収納しているときは閉じておく必要があります。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

警告: 車両走行中に飲み物を飲むと注意が散漫になり、事故につながるおそれがあります。



USB と 3.5mm 補助オーディオ入力ソケットが収納ボックス内に設けられています。外部デバイスへの接続、4.25 ページを参照してください。

ロッカー収納



ロッカー収納ボックスは、ドア横の両方のフットウェルに装備されています。小物の収納に使用できます。

ロッカー収納ボックスを開くには、レザータブを引きます。

ロッカー収納ボックスはマグネットで固定されています。ロッカー収納ボックスを閉じるには、ふたがしっかりと固定されるまで所定の位置に押し込みます。

快適機能と便利機能 インテリア装備

⚠ 警告: ロッカー収納ボックスは中に物品を収納しているときは閉じておく必要があります。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

i 注意: 車両を離れる際には必ずロッカー収納ボックスを閉じてください。開けたままにした場合、インテリアモーションセンサー（搭載されている場合）が機能しません。

ヘルメットの収納

マクラーレンには2個のヘルメットが付帯します。

トノーコンパートメント

トノーコンパートメントのヘルメット収納スペースには、ヘルメットを1個収納できます。



ヘルメットの損傷を防ぐため、ヘルメット収納スペースに入れる前にヘルメットバッグに収納する必要があります。ヘルメットのベースは、バイザーを前方に向けた状態でヘルメット収納スペースの床に置く必要があります。

使用しないときは、ヘルメットバッグをトノーコンパートメントに収納できます。

助手席側フットウェル

助手席側フットウェル収納バッグは、パッセンジャーシートに取り付けて、2つ目のヘルメットを安全に運搬できます。ダイヤル錠を使用して、ヘルメットをパッセンジャーシートにロックできます。

乗員がシートに座っているときは、助手席フットウェル収納バッグを使用しないでください。

⚠ 警告: 固定していない物品をコックピット内に置かないでください。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

快適機能と便利機能 インテリア装備

USB ソケット

メディア USB ソケット



USB ソケットは、センターコンソール収納ボックスの内側にあります。

USB ソケットを使用すると、USB フラッシュドライブ、iPod などの互換性のある MP3 プレーヤーを接続できます。

このソケットは、互換性のある携帯電話やメディアデバイスを充電するために使用することもできます。



メンテナンス

フルードの補充.....	6.3	ヒューズの交換.....	6.13
エンジンオイル.....	6.3	メインヒューズボックス.....	6.13
エンジンオイルの点検.....	6.3	メインヒューズボックスヒューズ規格一覧表.....	6.13
エンジンオイルの補充.....	6.4	セカンダリヒューズボックス.....	6.15
補充する量.....	6.5	セカンダリヒューズボックスヒューズ規格一覧表.....	6.15
オイル温度.....	6.5	バッテリーヒューズボックス.....	6.15
ギアボックスオイルレベル.....	6.5	バッテリーヒューズボックスへのアクセス.....	6.15
クーラント.....	6.6	ライト	6.16
クーラントの補充.....	6.6	車両のランプ.....	6.16
パワーステアリングフルード.....	6.7	ヘッドランプ.....	6.16
フルードレベルの点検.....	6.7	マニュアルでロックを解除しドアを開ける	6.17
ブレーキフルード.....	6.8	車両の始動.....	6.17
フルードレベルの点検.....	6.8	車内からドアを開ける - バッテリーが放電した場合	6.17
非常用装備.....	6.9	トノーカバーを開ける - バッテリーが放電した場合	6.18
非常用装備.....	6.9	リモコンキーの電池の交換.....	6.18
三角表示板.....	6.9	ホイールとタイヤ.....	6.19
三角表示板の立て方.....	6.9	ホイールとタイヤ.....	6.19
救急キット.....	6.10	タイヤの保管.....	6.20
タイヤシーラント.....	6.10	タイヤのマーク.....	6.20
けん引フック.....	6.10	タイヤ.....	6.21
燃料フィルターパイプ.....	6.11	非対称タイヤ.....	6.21
消火器.....	6.11	ホイールとタイヤの点検.....	6.22
バッテリーの点検と保守	6.12	走行時の注意事項.....	6.23
バッテリーの安全性.....	6.12	タイヤ空気圧.....	6.23
バッテリーの充電.....	6.12	タイヤがパンクした場合.....	6.24
ヒューズ.....	6.13	パンクの修理.....	6.24

メンテナンス

タイヤシーラントの使用法.....	6.24	故障時.....	6.32
		回収のためのけん引.....	6.33
		けん引フックとマウント.....	6.33
車両のお手入れ.....	6.26	海外での走行.....	6.34
車両への配慮.....	6.26	海外での走行.....	6.34
McLaren 車の洗車.....	6.26		
手洗いによる洗車.....	6.26		
アクティブエアマネジメントシステムの洗浄.....	6.27		
ホイールの洗浄.....	6.28		
ミラーの洗浄.....	6.28		
アンダーボディのクリーニング.....	6.28		
つや出し.....	6.28		
塗装の損傷と修理.....	6.28		
インテリアのクリーニング.....	6.29		
カーペットとファブリック.....	6.29		
インテリア塗装面.....	6.29		
ソフトグレインレザー.....	6.29		
ヌバックレザー.....	6.29		
エンハンスドフルアニリンレザー.....	6.29		
カーボンファイバー.....	6.30		
Ultrafabrics®.....	6.30		
Alcantara®.....	6.30		
シートベルト.....	6.30		
インストルメントとディスプレイ画面.....	6.30		
車両カバー.....	6.30		
車両のリフト.....	6.31		
車両のリフトポイント.....	6.31		
McLaren アシスタンス.....	6.32		
McLaren アシスタンス.....	6.32		
交換用バッテリー.....	6.32		

メンテナンス フルードの補充

エンジンオイル



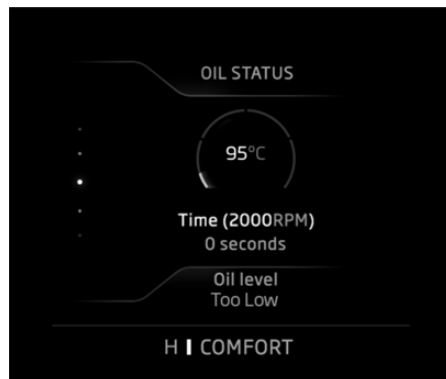
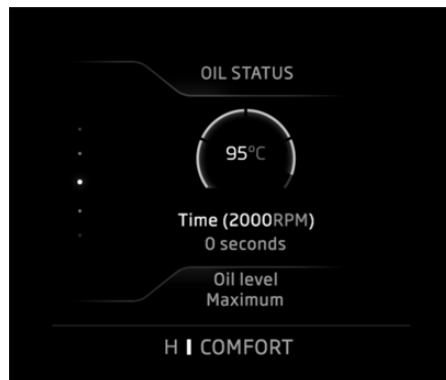
エンジンがオイルを消費するのは正常であり、消費率は多くの要因によって変化します。車両が新しい場合、または高回転で走行することが多い場合、オイルの消費量は多くなることがあります。

サービススケジュールに従ってオイルおよびフィルターを交換し、次のサービスまでの期間は、オイルレベルを定期的に点検することが重要です。

オイルの消費量は、数千マイルあるいは数千キロメートルを走行した後でないと、測定することはできません。

i 注意: 潤滑油添加剤はエンジンやギアボックスを損傷するおそれがあります。添加剤によって生じた損傷は車両の保証の範囲外となります。詳しい情報はマクラーレン代理店から入手できます。

エンジンオイルの点検



1. 以下の条件を満たしていることを確認します。

- 車両が静止状態で、水平な地面に置かれている
- ニュートラルギアを選択し、フットブレーキを（左足で）踏んでいる

i 注意: オイルレベル点検中は常にフットブレーキを踏んでいる必要があります。

2. オイルレベルはドライバーディスプレイの「車両情報」セクションに表示されます。オイルの状態、3.7 ページを参照してください。

3. エンジンを始動し、エンジン回転数を 2,000 rpm に 120 秒間保ちます。エンジンオイル温度が 90 °C (194 °F) になるまで待ちます。

i 注意: スロットルペダルを完全に踏み込んでも、電子制御によりエンジン回転数は 2,000 rpm に抑制されます。

4. タイマーが 0 になると、オイルレベルが説明とともにドライバーディスプレイに表示されます。

i 注意: ディスプレイ上の線は、オイルレベルの読み取り後 19 秒間の最大オイルレベルを示しています。

メンテナンス フルードの補充

i 注意: オイルレベル点検が完了して結果が表示されたら、システムのテストを終了してください。そのままテストを続けると、オイルに空気が混入し、誤った値が返される可能性があります。

5. オイルレベル点検を終了するには、スロットルペダルを放し、メニューレバーを後ろに動かして「車両情報」メニューに戻ります。

エンジンオイルが目標レベル未満の場合、次の手順に従ってエンジンを停止し、オイルを補充します。

エンジンオイルの補充

警告: エンジンがエコスタート/ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動する可能性があることに注意してください。

警告: エンジンオイルの補充を行う前には、必ずエンジンを停止してください。

警告: 8 リットル以上のオイルを補充しないでください。車両にオイルを8リットル補充しても、ドライバーディスプレイの「オイルの状態」にオイルレベル低下と表示される場合は、ただちにマクラーレン代理店にご連絡ください。

警告: 補充する際は、オイルを急激に注入したり、オイルフィルターチューブを詰まらせたりしないようにしてください。

警告: オイルフィルターキャップは必ず正しく取り付けてください。

環境: オイルを補充する際は、オイルをこぼさないように注意してください。オイルを地面や水路に流してはなりません。



1. トノーカバーを開けます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。
2. エンジンオイルフィルターキャップを取り外します。
3. 正しい分量のエンジンオイルを補充します。補充する量、6.5 ページおよびエンジンオイル仕様、7.8 ページを参照してください。
4. フィラーチューブからタンクにオイルが流れ込むまで、2 分間待ちます。これにより、オイルレベルの読み取り値が正確になります。
5. ドライバーディスプレイでオイルレベルが適正であることを確認します。

メンテナンス フルードの補充

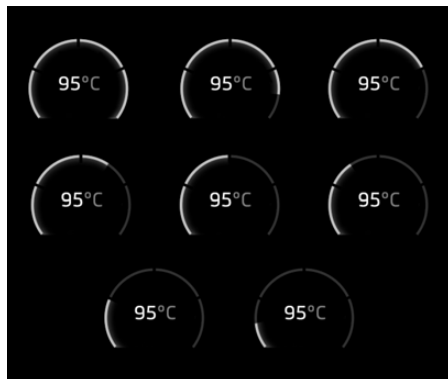
i 注意: 誤ってエンジンオイルを入れ過ぎてしまった場合は、マクラーレン代理店に入れ過ぎたオイルの抜き取りを依頼する必要があります。エンジンや触媒コンバーターを損傷するおそれがあります。

- エンジンオイルフィルターキャップを取り付けます。

i 注意: オイルフィルターキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。

- トノーカバーを閉めます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。

補充する量



ドライバーディスプレイに表示される「オイルの状態」に従って、以下の表に示す必要量のオイルを追加し、エンジンオイルレベルを再度点検します。

ディスプレイ上のセグメント	必要なオイルの量
½ - 充填不足	0.90 リットル
1 - 最小	0.70 リットル
1½ - OK	0 リットル
2 - OK	0 リットル
2½ - OK	0 リットル
3 - OK	0 リットル
3½ - 最大	0 リットル
4 - 過剰充填	マクラーレン代理店にお問い合わせください

オイル温度

オイル温度が高すぎる場合、ドライバーディスプレイに警告が表示されます。警告メッセージが消えるまで、車速とエンジン回転数を下げます。

ギアボックスオイルレベル

オイルの減少、あるいはギアシフトの問題が生じた場合は、マクラーレン代理店にギアボックスの点検を依頼してください。

i 注意: クラッチオイルとギアボックスオイルの整備間隔は走行距離によって決まります。このメンテナンスは、マクラーレン代理店のみが行えます。

メンテナンス フルードの補充

クーラント

クーラントは水と凍結防止剤 / 防錆剤の混合液です。クーラントの点検時は必ず車両を水平な場所に停車し、エンジンが冷えた状態で行ってください。

クーラントの補充

⚠ 警告：クーラントシステムは加圧されています。エンジンが冷めた状態以外ではキャップを開けないでください。エンジンが熱いうちに開けると高温のクーラントが吹き出し、火傷を負うおそれがあります。

⚠ 警告：クーラントは高い引火性があります。クーラントを取り扱う際には火気、裸火、喫煙は厳禁です。

⚠ 警告：クーラントは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。クーラントを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告：エンジンがエコスタート / ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動する可能性があることに注意してください。

⚠ 警告：クーラントレベルのチェックと補充を行う前には、必ずエンジンを停止してください。

i 注意：クーラントフィラーバルブは、右側シート後方のトノーコンパートメント内にあります。

🌿 環境：クーラントを補充する際は、こぼさないように注意してください。クーラントを地面や水路に流さないでください。



1. トノーカバーを開けます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。
2. キャップを反時計回りにゆっくりと半回転させ、圧力を逃がします。
3. キャップを完全に開けて取り外します。
4. クーラントのレベルを点検します。+ マーカーの上部にある場合は、クーラントレベルは正常です。

5. 必要に応じてクーラントを補充します。クーラント、7.9 ページを参照してください。

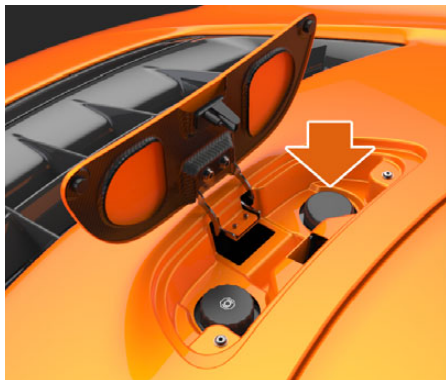
6. キャップを時計回りに止まるまで回して取り付けます。

i 注意：キャップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

7. トノーカバーを閉めます。トノーカバー、1.9 ページを参照してください。

メンテナンス フルードの補充

パワーステアリングフルード



⚠ 警告: パワーステアリングフルードは高い引火性があります。パワーステアリングフルードを取り扱う際には、火気、裸火、喫煙は厳禁です。

⚠ 警告: パワーステアリングフルードは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。フルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告: パワーステアリングフルードのレベルを点検する際は、車両を車両リフトモードにしないでください。

🌿 環境: パワーステアリングフルードを補充する際は、こぼさないように注意してください。パワーステアリングフルードを地面や水路に流さないでください。

i 注意: キャップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

10. サービスカバーを開めます。サービスカバー、1.10 ページを参照してください。

フルードレベルの点検

1. イグニッションをオンにしてエンジンを始動します。
2. ドライバーディスプレイの「車両リフト」アイコンが点灯していないことを確認します。車両リフト、1.36 ページを参照してください。
3. コンフォートハンドリングモードを選択します。ハンドリングコントロール、2.22 ページを参照してください。
4. フルードレベルを点検する前に、エンジンを 20 秒間アイドリングします。
5. サービスカバーを開きます。サービスカバー、1.10 ページを参照してください。
6. キャップを反時計回りに回して取り外します。
7. リザーバーの内側で、フルードレベルまでの距離を測定します。最大補充レベルはフィラーネック上部から 50 mm で、最小補充レベルは 55 mm です。
8. 必要に応じて補充します。必ず Pentosin CHF202 パワーステアリングフルードを補充してください。マクラーレン代理店にお問い合わせください。
9. キャップを元に戻します。

メンテナンス フルードの補充

ブレーキフルード

⚠ 警告: ブレーキフルードは高い引火性があります。ブレーキフルードを取り扱う際には、火気、裸火、喫煙は厳禁です。

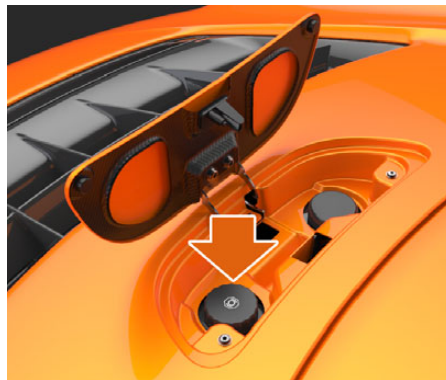
⚠ 警告: ブレーキフルードは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。フルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告: 必ず密封された容器に入った新品のブレーキフルードを使用してください。

⚠ 警告: ブレーキフルードのチェックと補充を行う前には、必ずエンジンを停止してください。

ⓘ 注意: ブレーキフルードをこぼさないでください。ブレーキフルードは塗装面に損傷を及ぼします。こぼしてしまったときはすぐにカーシャンプーの水溶液で洗い落としてください。

🌿 環境: ブレーキフルードを補充する際は、こぼさないように注意してください。ブレーキフルードを地面や水路に流さないでください。



フルードレベルの点検

1. サービスカバーを開きます。サービスカバー、1.10 ページを参照してください。
2. キャップを反時計回りに回して取り外します。
3. ブレーキフルードのレベルを点検します。ブレーキフルードは、フィラーネック内のフィルターのベースがちょうど浸る程度であれば適正レベルです。
4. 必要に応じて、新品のブレーキフルードを補充します。ブレーキフルード、7.10 ページを参照してください。
5. キャップを元に戻します。

ⓘ 注意: キャップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

6. サービスカバーを閉めます。サービスカバー、1.10 ページを参照してください。

メンテナンス 非常用装備

非常用装備

 **警告：**非常用装備を使用する際には必ず、適切な使用法を確認し、本来の目的にのみ使用してください。非常用装備は必ず、安全かつ責任ある方法により、他の交通に注意して使用してください。



非常用装備はトノーコンパートメントに収納されています。

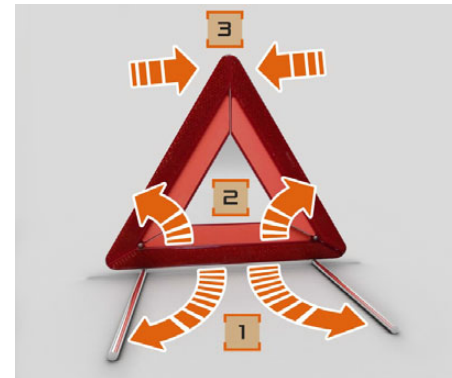
トノーコンパートメントへのアクセスについてはトノーカバー、1.9 ページを参照してください。

三角表示板



三角表示板 (1) はトノーコンパートメント内の赤いケースの中にあります。2本のストラップを外して、三角表示板を取り出します。

三角表示板の立て方



1. 脚 (1) を下部から横に広げます。
2. サイドリフレクター (2) を上に引いて、三角形を作ります。
3. プレススタッド (3) を使用して、上部を固定します。
4. 他の交通に故障車の存在を警告するために、車両から適切な距離に三角表示板を置きます。

メンテナンス 非常用装備

救急キット



救急キット (2) はトノーコンパートメントに収納されています。

i 注意：救急キット用品の使用期限を 12 か月ごとに確認し、必要に応じて交換してください。

タイヤシーラント



タイヤシーラント (3) はトノーコンパートメントに収納されています。救急キットを取り出し、ストラップ 2 本を外してタイヤシーラントを取り出します。

タイヤシーラントの使用法の説明はタイヤがパンクした場合、6.24 ページを参照してください。

i 注意：タイヤシーラントの使用期限を 12 か月ごとに確認し、必要に応じて交換してください。

けん引フック



けん引フック (4) はトノーコンパートメントに収納されています。

i 注意：お客様のマクラーレンには、フロントけん引フックマウントのみが装備されています。他の車両をけん引することはできません。

けん引フックの取り付け方法についてはけん引フックとマウント、6.33 ページを参照してください。

メンテナンス 非常用装備

燃料フィラーパイプ



燃料フィラーパイプ (5) はトノーコンパートメントに収納されています。

i 注意：燃料フィラーパイプはガソリンスタンドの給油機以外から燃料を給油する際にのみ使用してください。クーラント、エンジンオイル、その他のフルードの補充に燃料フィラーパイプを使用しないでください。

燃料フィラーパイプの使用方法については、燃料フィラーパイプを使用した給油、2.44 ページを参照してください。

消火器



消火器はトノーコンパートメントに収納されています。

固定ストラップを外し、消火器を取り出します。

消火器の使用方法は、消火器側面に記載されているメーカーの説明に従ってください。

i 注意：消火器は 12 か月ごとに点検する必要があります。点検を怠ると、緊急時に使用できないおそれがあります。使用した消火器は、速やかに交換する必要があります。

メンテナンス

バッテリーの点検と保守

バッテリーの安全性

最寄りのマクラーレン代理店にお問い合わせください。

警告: お客様のマクラーレンにはリチウムイオンバッテリーが搭載されています。リチウムイオンバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。詳細については、マクラーレン代理店にお問い合わせください。

警告: お客様のマクラーレン車両に搭載されているリチウムイオンバッテリーはシールドタイプです。バッテリーセルの点検のためにバッテリーシールを破壊してはなりません。

警告: 車両を長期間使用しない場合は、リチウムイオンバッテリーを適切にリチウムイオンバッテリーチャージャーに接続し、電源を入れておいてください。そうすることでバッテリーを維持し、寿命を伸ばすことができます。

警告: 使用前に、すべてのケーブルが良好な状態であることを確認してください。傷んだケーブルは使用しないでください。すべてのケーブルが鋭利なものに触れたり、何かに挟まったり、高温の部分に触れたり水に浸かったりしていないことを確認してください。

警告: 損傷したバッテリーは決して充電しないでください。バッテリーの充電は必ず風通しの良い場所で行ってください。チャージャーに覆いをかけたり、チャージャーをバッテリーの上に置いたりしてはなりません。

警告: バッテリーの上に金属製のものを置かないでください。バッテリーがショートし、発火するおそれがあります。

チャージャーは常にお子様の手の届かない場所に保管してください。

バッテリーの充電

注意: リチウムイオンバッテリーを最適な状態に維持するため、車両を長期間運転しない場合、その間は常にマクラーレンのバッテリーチャージャーをバッテリーに接続し、電源を入れておいてください。

注意: バッテリーチャージャーをインテリアアクセサリースocketに接続しないでください。



バッテリーチャージャーの取扱説明書を参照してください。チャージャーをアクセサリースocketに接続します。

メンテナンス ヒューズ

ヒューズの交換

 **警告:** ヒューズは車両の電気システムを保護しています。ヒューズが故障すると、各ヒューズが保護しているシステムが動作不能になります。

 **警告:** 必ず同一の定格と種類の交換用ヒューズを使用してください。誤った定格のヒューズを使用するとシステムに過負荷がかかり、火災や故障の原因になります。

 **警告:** 切れたヒューズは必ず交換し、決して修理して使用しないでください。

 **注意:** ヒューズを取り外す前にすべての電装品のスイッチを切り、イグニッションスイッチをオフにしてください。

この車両には、以下の3つのヒューズボックスがあります。

ヒューズボックス	場所
メインヒューズボックス	左シート後部のリアバルクヘッド内のパネルの裏側

ヒューズボックス	場所
セカンダリヒューズボックス	助手席側ダッシュボードの下
バッテリーヒューズボックス	バッテリーの上

メインヒューズボックス

メインヒューズボックスヒューズ規格一覧表

No.	アンペア	保護対象回路
F1	50	右側セカンダリアエアポンプ
F2	50	左側セカンダリアエアポンプ
F3	-	-
F4	-	-
F5	30	トランスミッションコントロールユニット
F6	30	トランスミッションコントロールユニット
F7	30	スターター
F8	-	-
F9	-	-
F10	-	-
F11	-	-
F12	20	排出ポンプ
F13	5	エンジンコントロールモジュール
F14	5	パーマナントバッテリー
F15	10	リレー

メンテナンス ヒューズ

No.	アンペア	保護対象回路
F16	-	-
F17	3	ドアロックスイッチ
F18	50	ECU メインリレー コントロール
F19	30	燃料リレー
F20	-	-
F21	-	-
F22	30	燃料リレー
F23	5	チルトセンサー
F24	10	インフォテインメントコント ロールユニット
F25	10	運転席/助手席ドアラッチ
F26	7.5	補助 USB ボード
F27	2	インフォテインメントコント ロールユニット
F28	-	-
F29	-	-
F30	-	-
F31	60	左側クーリングファン
F32	60	右側クーリングファン

No.	アンペア	保護対象回路
F33	-	-
F34	-	-
F35	-	-
F36	20	バッテリーリレー
F37	15	キャニスターパージ、ラム ダセンサー、クーリング ファンリレーコイル
F38	15	燃料インジェクション/イ グニッション-左バンク
F39	15	燃料インジェクション/イ グニッション-右バンク
F40	10	エンジン補機類
R41	-	排出ポンプ
R42	-	-
R43	-	-
R44	-	-
F45	10	電動サーモスタット、カム シャフトアクチュエーター
F46	3	出力シャフト速度、偶数ギ アシャフト速度
F47	3	インプットシャフトスピー ド、奇数ギアシャフト速度

No.	アンペア	保護対象回路
F48	20	ESIB
F49	5	スターター
R50	-	-
R51	-	-
R52	-	フューエルポンプリレー
R53	-	トランスミッションコント ロールユニット
R54	-	トランスミッションコント ロールユニット
R55	-	スターター
R56	-	右側セカンダリアエアポンプ
R57	-	-
R58	-	ECU メインリレーフィード

メンテナンス ヒューズ

セカンダリヒューズボックス

セカンダリヒューズボックスヒューズ規格一覧表

No.	アンペア	保護対象回路
F1	20	運転席ドア
F2	7.5	助手席ドア
F3	25	ランプ
F4	30	LED
F5	35	ボディ
F6	30	ボディ
F7	30	アラーム
F8	-	-
F9	-	-
F10	-	-
F11	-	-
F12	-	-
F13	-	-
F14	5	トランスミッションコントロールユニット
F15	10	エアコン

No.	アンペア	保護対象回路
F16	3	アラームコントロールユニット
F17	3	トラッカー
F18	7.5	アラーム
F19	5	センターディスプレイ
F20	3	トランスミッションコントロールユニットリレー
F21	15	コントロールディスプレイユニット
F22	-	-
F23	7.5	ドライバーディスプレイ
F24	10	開発コネクタ
F25	10	OBD2 診断
F26	-	-
F27	-	-
F28	-	-
R29	-	トランスミッションコントロールユニット
R30	-	トランスミッションコントロールユニット

バッテリーヒューズボックス

バッテリーヒューズボックスへのアクセス
マクラレーン代理店にお問い合わせください。

メンテナンス ライト

車両のランプ

照明は車両の安全上重要な局面です。すべてのライトがいつでも点灯することを保証する必要があります。

マクラーレン車のすべての外部ランプは最新の発光ダイオード（LED）技術を使用しています。

従来のフィラメント式電球とは異なり LED ランプは寿命が長く、低消費電力でありながら同等の照度を実現できます。

ヘッドランプ

お客様のマクラーレンには発光ダイオードのヘッドランプが装備されています。これらのランプは、特に悪天候時や走行条件の悪いときに、ロービームでもハイビームでもより広い視界を提供します。



注意: 発光ダイオードランプをご自分で交換しようとししないでください。車両の照明システムを損傷するおそれがあります。故障の場合は、最寄りのマクラーレン代理店にお問い合わせください。

メンテナンス

マニュアルでロックを解除しドアを開ける

車両の始動



リモコンキーバッテリーが放電しており、エンジンが始動しない場合

1. センターコンソール収納ボックスを開きます。
2. センターコンソール収納ボックス内の前壁にリモコンキーを置きます。

この場所に置くと車両は有効なリモコンキーの存在を感知でき、車両を始動し、走行することができます。

できるだけ早い機会にリモコンキーの電池を交換してください。リモコンキーの電池の交換、6.18 ページを参照してください。

車内からドアを開ける - バッテリーが放電した場合



車内からドアをリリースするには、「手動ドアリリース」ボタンを押します。ドアラッチが外れると、ドアが少し持ち上がり、外側上方に自動的にスイングします。



注意: このボタンは、バッテリーが放電したとき以外は使用しないでください。

メンテナンス

マニュアルでロックを解除しドアを開ける

トノーカバーを開ける - バッテリーが放電した場合

「トノーカバー手動リリース」は、左側シート後方のサービスカバー内にあります。

リモコンキーの電池の交換



1. 親指でインデントを押してリモコンキーからバックカバーをスライドさせます。
2. バッテリーカバーのネジを外し、放電したバッテリーを取り出します。
3. 極性が正しいことを確認し、新しいバッテリーを取り付けます。

i 注意: 電池にはできるだけ触れないでください。指の水分と油分によって電池の寿命が縮んだり、接点が腐食したりするおそれがあります。電池を持つ場合は、端のみを持ってください。

4. しっかりと密封されていることを確認して、バッテリーカバーを取り付けます。
5. リモコンキーにバックカバーを取り付けます。

メンテナンス ホイールとタイヤ

ホイールとタイヤ

 **警告:** すり減ったタイヤはアクスルごとに一対で交換し、タイヤが指定通りに取り付けられていることを確認してください。すり減ったタイヤを装着している場合や、フロントアクスルとリアアクスルでタイヤの摩耗レベルが異なる場合は、車両の走行安定性が損なわれるおそれがあります。

新しいタイヤを装着した場合は、運転スタイルに基づいた適切な慣らし時間について、マクラーレン代理店にお問い合わせください。

- 新しいタイヤでは、高速コーナリングや過度の速度での走行を避けてください
- 必ず同一タイプおよびメーカーのホイールとタイヤを装着してください
- パンクを修理したタイヤは決して使用しないでください
- 必ず正しいサイズのタイヤを装着してください

- タイヤの取り扱いおよび保管状況、運転および負荷状況、車両ダイナミクス、外気温や紫外線などの外部条件により、タイヤの耐用年数が左右される場合があります。乗り心地が悪化した場合やタイヤの状態について判断できない場合は、マクラーレン代理店またはタイヤ専門店で本格的な点検を受けてください。タイヤは6年ごと、もしくは必要に応じてそれより短い期間で交換することを推奨します

マクラーレンでは、Pirelli サマータイヤの使用を推奨します。ホイールおよびタイヤサイズ、7.6 ページを参照してください。これらのタイヤは McLaren が特別に認定したタイヤであり、車両の安全システムとの組み合わせによって最高のパフォーマンスを最大限に提供します。

McLaren は他のタイヤおよびホイールの使用によって生じた損傷については責任を負いません。ホイールおよびタイヤに関する詳しい情報は、マクラーレン代理店から入手できます。

 **警告:** マクラーレンの推奨以外のタイヤは、この車両に法的に許可されていない（最高速度に対して認定されていない）場合があります。

 **警告:** マクラーレンの推奨タイヤ以外を使用した場合、タイヤが車体に接触して、ハンドリングに悪影響が生じるおそれがあります。その結果、車両をコントロールできなくなり、死亡または重傷を負う可能性があります。騒音レベルおよび燃費にも悪影響が生じる可能性があります。

 **警告:** 荷物の積載時やスノートラクションデバイスの使用時に、マクラーレンの推奨以外のタイヤを使用すると、ボディとアクスルコンポーネントが接触するおそれがあります。その結果、タイヤもしくは車両が損傷するおそれがあります。

 **注意:** 更正タイヤは決して使用してはなりません。

 **注意:** 中古タイヤは以前の使用状況に関する情報がない限り装着しないでください。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

 注意: ブレーキシステムおよびホイールの改造は認められていません。スペーサープレートやブレーキダストシールドの使用についても同様です。こうした改造を行った場合は、改造箇所に関する車両保証は無効となります。

 注意: ホイールの交換は、必ずマクラーレン代理店で行ってください。不適切にジャッキアップした場合、車両を損傷するおそれがあります。

タイヤの保管

 注意: タイヤは涼しく乾燥した、できれば光の当たらない場所に保管してください。タイヤにオイル、グリス、ガソリンが付着しないように保護してください。

 **警告: 不適切に保管されていたタイヤで走行すると危険です。タイヤに突然不具合が生じて、死傷事故につながるおそれがあります。**

タイヤを保管する必要がある場合は、屋内の涼しく乾燥した場所で保管してください。タイヤの保管場所は、涼しく（7℃～24℃）、乾燥していて、ほこりがなく、適度に換気されている必要があります。

熱、水、オゾン、直射日光に関連する損傷からタイヤを保護するため、不透明な防水容器（ビニール製のゴミ袋など）に入れることをお勧めします。タイヤが熱やオゾンの発生源（ラジエーター、発電機 / モーター、高温のパイプなど）に接触しないようにすることが重要です。

タイヤには、水、グリース、燃料、ブレーキ液、その他の化学薬品が付着しないようにしてください。

タイヤのマーク

 **警告: 車両には、マクラーレンが推奨し、サイドウォールに MC マークが付いているタイヤのみを装着してください。マクラーレン推奨以外のタイヤを装着すると、死傷事故につながるおそれがあります。交換用タイヤについては、マクラーレン代理店にお問い合わせください。**

 **警告: タイヤのサイドウォールにマクラーレンマークが付いていない場合は、Pirelli ブランドのタイヤであっても本車両には適していません。**

メンテナンス ホイールとタイヤ



1. ミリメートル単位のタイヤの幅。
2. タイヤ幅のパーセンテージで示されたタイヤの扁平率。
3. ラジアルタイヤであることを示します。
4. ホイールリムの直径をインチで示します。
5. 数字はロードインデックスを、文字は速度規格を示します。91 は 615 kg (1,350 ポンド) を示し、(Y) は 300 km/h (186 mph) 以上の速度を示します。

警告： Y の前後に括弧がない場合は、186 mph を超える速度で走行してはならないことを意味します。

警告： (Y) マークの付いたすべてのタイヤが、実際の最高速度に対して認定されているわけではありません。マクラーレン推奨タイヤのみが保証されます。

6. タイヤの最大耐荷重を示します。
7. トレッド摩耗等級番号。数字が大きいほどタイヤの耐久性が高いことを示します。
8. 英字は耐熱規格を示します。「A」規格タイヤの耐熱性は最高です。
9. タイヤの製造に関する情報。製造場所と製造日を表示しています。

タイヤ

警告： タイヤはタイヤウォールの標示に従って取り付けてください。ホイールに装着する際、タイヤ外縁の「OUTSIDE」の文字が外側に表示されるようにしなければなりません。そうしないと、特に高速走行時に車両の走行安定性が損なわれます。

非対称タイヤ



非対称タイヤはトレッドの片側が反対側とは違うパターンになっています。このトレッドの組み合わせによって、濡れた路面と乾燥した路面のどちらでも高いグリップ性能を発揮します。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

外側のトレッドはより大きく固いトレッドパターンとなっており、高いコーナリング安定性を実現します。内側のトレッドパターンは濡れた路面での安定性を高めます。タイヤの一部の溝は直進安定性に寄与します。

 **警告：本車両にはマクラーレン推奨タイヤ以外は装着しないでください。ホイールおよびタイヤサイズ、7.6 ページを参照してください。**

 **警告：タイヤはタイヤウォールの標示に従って取り付けてください。非対称タイヤのメリットを得るためには、タイヤを正しく装着してください。**

ホイールとタイヤの点検

少なくとも7日ごとに、タイヤに傷、パンク、亀裂、裂け目、変形、ひび割れがないか点検します。ホイールに著しい腐食がないか点検してください。ホイールが損傷していると空気圧低下の原因になります。

定期的にタイヤトレッドの深さとタイヤ全体のトレッドの状態を点検してください。ハンドルをいっぱいに切り、内側のトレッドまで点検してください。



トレッドが残り 1.6 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にスリップマークが現れます。これは、タイヤの幅にわたって連続したゴムの帯ができることで確認できます。スリップマークが現れたときはすぐに、（あるいは法によりこれより深いトレッドが必要な場合はその前に）タイヤを交換してください。

 **注意：タイヤは必ずマクラーレン代理店で交換することを推奨します。各ホイールには、タイヤバルブに接続されたタイヤ圧力センサーが装着されています。センサーの損傷を防止するために、正しい手順でタイヤを交換する必要があります。**

 **警告：夏用タイヤと UHP タイヤは、暖かく乾燥した条件で最適な性能を発揮するように設計されています。濡れた路面や凍結した路面ではグリップが低下します。タイヤグリップの低下のため車両のコントロールを失い、事故に至るおそれがあります。濡れた路面や凍結した路面では、速度を落とし、細心の注意を払って運転してください。**

 **注意：トレッドの摩耗がタイヤ全体で偏りがある場合や異常に摩耗している場合は、ホイールアライメントを検査する必要があります。**

すべてのタイヤの空気圧を定期的に点検し、必要に応じて調整してください。タイヤ空気圧、7.7 ページを参照してください。

バルブを泥や水分から守るために、すべてのホイールにバルブキャップを装着する必要があります。

メンテナンス ホイールとタイヤ

走行時の注意事項

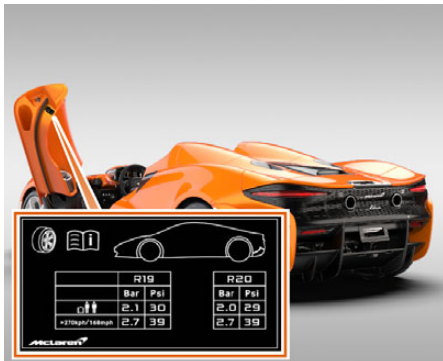
車両を駐車する際には、タイヤが縁石や他の障害物に触れないように注意してください。縁石や減速ブロック、窪みなどの障害物を乗り越える必要がある場合は、速度を落とし、浅い角度で障害物に接近して、タイヤの損傷を防いでください。

走行中は振動や異音、ハンドリング特性の異常（ハンドルが取られるなど）がないか常に注意してください。もしそのような異常がある場合は、タイヤもしくはホイールが損傷している可能性があります。異常を感じた場合は、安全に速やかに減速して停車し、タイヤやホイールが損傷していないか点検してください。損傷が見られない場合でも、マクラーレン代理店に点検を依頼してください。

タイヤ空気圧

警告: タイヤ空気圧が高過ぎたり低過ぎたりすると、車両の安全性とパフォーマンスに悪影響が生じることがあります。これは事故につながるおそれがあります。すべてのタイヤの空気圧を高い頻度で、特に長距離ドライブに出かける際などに点検し、必要に応じて調整してください。

警告: タイヤの空気圧が繰り返し低下する場合は、タイヤに異物やパンクの兆候がないか、バルブにエア漏れがないか点検してください。



異なる運転条件でのタイヤの空気圧については、タイヤ空気圧、7.7 ページを参照してください。タイヤ空気圧は上記の位置にあるラベルに記載されています。

注意: 一部の市場では、タイヤ空気圧ラベルは運転席側ドア下部に貼付されています。

高速走行する際は必ずタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて調整する必要があります。

空気圧の点検はタイヤが冷えた状態で行ってください。タイヤが暖まっているときに点検する必要がある場合は、より高い空気圧が必要です。タイヤが暖まっているときに、タイヤが冷えた状態のときの推奨空気圧に合わせてタイヤの空気を抜かないでください。

タイヤの空気圧が高過ぎたり低過ぎたりすると以下の不具合が生じるおそれがあります：

- タイヤが破損し、死傷事故につながる
- タイヤの寿命が縮まる
- タイヤの損傷が増大する
- ハンドリング特性に悪影響が生じる（ハイドロプレーニング現象などが起こる）



環境: 少なくとも週に 1 回はタイヤ空気圧を点検してください。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

タイヤがパンクした場合

お客様のマクラーレンには、トノーコンパートメントにタイヤシーラントの容器が備わっています。

パンクの際は以下の手順に従って、ご自身、他の乗員および他の通行者の安全を確保してください。

パンクの修理

1. 他の交通からできる限り離れた、固く水平な場所に車両を停止します。
2. 高速道路の場合はハザード警告灯を点灯してください。ハザード警告灯、1.34 ページを参照してください。
3. パーキングブレーキをかけ、ニュートラルを選択します。
4. 乗員は安全に注意しながら車両を降り、車両や他の交通から離れた安全な場所に待避する必要があります。
5. 他の交通に故障車の存在を警告するために、車両から適切な距離に三角表示板を置きます。三角表示板、6.9 ページを参照してください。

タイヤシーラントの使用法

タイヤシーラントは、特にタイヤトレッドの小さなパンクを密閉するために使用することができます。タイヤシーラントは気温が最低 -20 °C (-4 °F) 以上のときに使用できます。

 **警告: タイヤシーラントは次のようなパンクに使用することはできません。**

- タイヤに 4 mm 以上の切れ目や刺し傷がある場合
- ホイールリムが損傷している場合
- タイヤの空気圧が低過ぎる状態やパンクした状態で走行した場合
- タイヤのサイドウォールまたはショルダー部に損傷がある場合

直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

トノーコンパートメントからタイヤシーラントを取り出し、容器に記載されている説明に従ってください。

 **注意:** 可能であればパンクの原因を突き止め、シーラントの効果を高めるためにパンクした箇所が一番下の位置になるようにホイールを配置してください。

修理したタイヤで走行する場合は、車速 80 km/h および最大走行距離 80 km を超えないようにしてください。

パンクしたタイヤは速やかに交換を依頼してください。

 **警告:** パンクしたタイヤは交換を依頼してください。マクラーレンはパンクしたタイヤの修理は推奨しません。

 **警告:** タイヤシーラントが目や皮膚に付いた場合はただちにきれいな水で完全に洗い流し、タイヤシーラントが付着した衣服は交換してください。アレルギー反応が出た場合はただちに医師の診察を受けてください。

 **警告:** タイヤシーラントはお子様の手の届かない場所に保管してください。

 **警告:** タイヤシーラントを誤飲した場合はただちに口を十分にすすぎ、大量の水を飲んでください。無理に吐こうとしないでください。ただちに医師の診察を受けてください。

 **警告:** タイヤシーラントの蒸気を吸い込まないでください。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

 注意 : タイヤシーラントを使用した場合、
タイヤ空気圧モニタリングシステムが組
み込まれたタイヤバルブは交換する必要
があります。

メンテナンス 車両のお手入れ

車両への配慮

 **警告:** 水が車内に入らないようにしてください。

お客様のマクラーレンは好天時にのみ使用することが推奨されます。雨や水しぶき、湿気が車内に入らないようにしてください。水が入ると、車内のファブリックや表面が損傷するおそれがあります。

 **注意:** 車内に水が浸入した場合は、速やかに清掃してください。インテリアのクリーニング、6.29 ページを参照してください。

マクラーレンでは、車両を2週間以上使用しない場合、カバーをかけておくことを推奨しています。車両カバー、6.30 ページを参照してください。

McLaren 車の洗車

 **警告:** お客様のマクラーレンは洗車機による洗車には適していません。

 **環境:** 一部の洗剤には環境に有害な化学物質が含まれています。フルードをこぼさないように常に注意し、必要以上には使用しないでください。

手洗による洗車

1. はじめにホースパイプを用いて浅い角度でボディ全体に水をかけ、泥などを浮かせてから、塗装面を濡らして洗車の準備をします。エンジンカバーベントおよび車両インテリアには、水が直接かからないようにしてください。

 **警告:** 水が車内に入らないようにしてください。

2. バケツ一杯のお湯と良質のカーシャンプーを用意します。希釈率はシャンプーメーカーの説明書を参照してください。

3. 車両の最も高い部分から下に向かって、洗車します。スポンジではなく、ラムウールの洗車ミットを使用し、水の量を最小限に抑えます。泥がたまりやすい部分に特に注意してください。車両の上部（トノーカバーとホイールアーチライナーより上の部分）と、ホイールアーチラインより下の部分で、別々のミットを使い分けてください。

 **警告:** 水が車内に入らないようにしてください。

 **注意:** これらの洗車ミットでホイールを洗わないでください。

 **注意:** シャンプーを乾燥させないでください。塗装面に色むらが生じる原因になります。

4. タールスポットやしつこいグリスの付着は、揮発油もしくは変性アルコールを使用すると取り除くことができます。取り除くことができたらずすぐに石けん水で洗い、すべての揮発油またはアルコールを取り除いてください。

メンテナンス 車両のお手入れ

5. 車両のクリーニングが終わったら、最も高い部分から下に向かって、ホースパイプを使って浅い角度で完全に洗い流してください。エンジンカバーペントおよび車両インテリアには、水が直接かからないようにしてください。

警告: 水が車内に入らないようにしてください。

6. セーム皮または乾燥用タオルを用いて車両を乾かします。

i 注意: エンジンルームに水が入った場合は、車両を運転して動作温度までエンジンを暖めて、エンジンに残った水分を乾燥させてください。

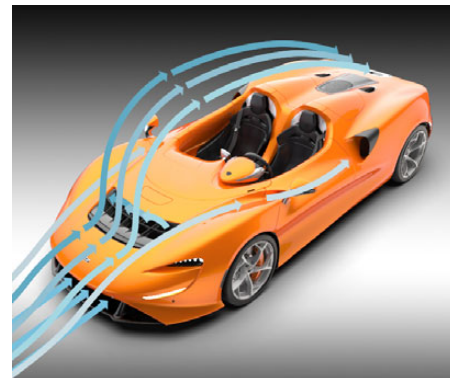
i 注意: 車内に水が浸入した場合は、速やかに清掃してください。インテリアのクリーニング、6.29 ページを参照してください。

アクティブエアマネジメントシステムの洗浄

i 注意: AAMS は頻繁に洗浄してください。デフレクターメカニズムに泥がこびりつかないようにしてください。

温水と布または洗車ミットを使用して、エアインテークとフロントクラムを洗浄します。セーム皮または乾燥用タオルを使用して、エアインテークとフロントクラムを乾燥させます。クリーニングのために、AAMS を展開することができます。

クリーニングモードにするには、フロントエアロブレードが所定の位置に移動するまで「AAMS」ボタンを長押しします。フロントエアロブレードの移動が完了する前に「AAMS」ボタンを放すと、ブレードは前の位置に戻ります。フロントエアロブレードの移動が完了すると、「AAMS クリーニングモード作動」がドライバードisplayに表示されます。



車両がクリーニングモードで走行している場合、「AAMS」ボタンを短く押すと、AAMS をオフにすることができます。

クリーニングモードのとき、車両を 32 km/h (20 mph) 以上の速度で走行させると、AAMS は自動的にオフになります。

i 注意: フロントエアロブレードを手動で上げた状態で運転しないでください。

メンテナンス 車両のお手入れ

ホイールの洗浄

- i** 注意：ホイールは頻繁に洗浄してください。ブレーキダストがホイールリムの塗膜にこびりつかないようにしてください。

お湯、良質のカーシャンプーおよびホイールブラシまたはホイール専用の洗浄用ミットを使用してホイールを洗浄します。無塗装仕上げのホイールには、ホイールをきれいに保つためにつや出しを行います。

- i** 注意：サテン仕上げのホイールには研磨剤を使用しないでください。研磨剤を使用すると、ホイールの表面に光沢のムラが生じます。
- i** 注意：酸ベースのホイールクリーナーは使用しないでください。ホイールリムの仕上げを損傷し、腐食を引き起こします。
- i** 注意：ホイールのクリーニングを行った後、車両を車庫に入れる前に、ブレーキが完全に乾いていることを確認してください。

ミラーの洗浄

ウィンドウ用洗浄液を使用して、ミラーを定期的に清掃してください。研磨剤入りクリーニングコンパウンドは使用しないでください。ミラーガラスは特に傷つきやすくなっています。

アンダーボディのクリーニング

冬季に道路の融雪や凍結防止に使われる塩分は車両のアンダーボディに蓄積します。これを放置すると腐食が発生します。冬季は特にホイールアーチや泥がたまりやすい場所に注意しながら、ホースを用いてアンダーボディを定期的に水洗いしてください。

つや出し

ときどき、良質のつや出し剤を用いて塗装のつや出しを行い、その後に保護用ワックスをかけてください。

- i** 注意：カッティングコンパウンド、カラー再生剤、強力な研磨剤を含むつや出し剤は使用しないでください。これらの製品は塗装に傷をつけ、回復不可能な損傷を与えるおそれがあります。

塗装の損傷と修理

塗装に損傷がないか、定期的に点検してください。跳ね石による傷や深い擦り傷は速やかに修理する必要があります。詳細については、マクラーレン代理店にお問い合わせください。

メンテナンス 車両のお手入れ

インテリアのクリーニング

i 注意：マクラレーン代理店は、お客様の車両のインテリアクリーニングに合った製品を推奨できます。

カーペットとファブリック

シート表皮をクリーニングする場合は、必ず事前に目立たない場所で洗浄液のテストをしてください。希釈した表皮クリーナーと清浄な布でクリーニングします。

ダッシュボードの表面はつや出しをしないでください。つや出しを行った表面は光を反射して、ドライバーの視界を妨げるおそれがあります。希釈した表皮クリーナーでクリーニングした後、固く絞った布で拭きます。

インテリア塗装面

塗装面は、湿らせた布で清掃します。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。深い擦り傷は速やかに修理する必要があります。詳細については、マクラレーン代理店にお問い合わせください。

i 注意：カッティングコンパウンド、カラー再生剤、強力な研磨剤を含むつや出し剤は使用しないでください。これらの製品は塗装に傷をつけ、回復不可能な損傷を与えるおそれがあります。

ソフトグレインレザー

レザーをクリーニングする場合は、必ず事前に目立たない場所で洗浄液のテストをしてください。お湯と天然石けんまたは専売特許のレザークリーナーを用いてクリーニングしてください。乾いた、清浄なリントフリークロスで乾燥させます。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。

ヌバックレザー

ヌバックレザーの表面の汚れや跡を清掃するには、清潔で柔らかいブラシで軽くブラシをかけるか、または乾いた白い布を使用して、こすらずに拭き取ります。

i 注意：どのようなタイプの石けん溶液やクリーニング液も使用しないでください。これらの液体は最終的にヌバックレザーに浸み込んで、シミの原因となります。

ヌバックレザーにこびりついた汚れや、目立った跡を清掃するには、専門業者によるレザークリーニングサービスをご利用ください。

ヌバックレザーの色によっては、車両の使用状況や直射日光にさらされる程度に応じて、紫外線による経年変化が異なる場合があります。ヌバックレザーは天然染料で染められ、表面がコーティングされていないため、初めて車両を使用したときに、ヌバックレザーから衣服に色移る場合があります。

エンハンスドフルアニリンレザー

エンハンスドフルアニリンレザーの表面の汚れや跡を清掃するには、清潔で柔らかいブラシで軽くブラシをかけるか、または乾いた白い布を使用して、こすらずに拭き取ります。

i 注意：どのようなタイプの石けん溶液やクリーニング液も使用しないでください。これらの液体は最終的にエンハンスドフルアニリンレザーに浸み込んで、シミの原因となります。

エンハンスドフルアニリンレザーにこびりついた汚れ、目立った跡を清掃するには、専門業者によるレザークリーニングサービスをご利用ください。

メンテナンス 車両のお手入れ

カーボンファイバー

カーボンファイバー部分をクリーニングする場合は、必ず事前に目立たない場所で洗浄液のテストをしてください。適切なつや消しダッシュボードクリーナーでクリーニングしてください。詳細については、マクラレーン代理店にお問い合わせください。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。

Ultrafabrics®

Ultrafabrics® 素材に付着した埃を注意深く払います。柔らかい布またはスポンジを水で湿らせ、完全に水を絞り、濡らし過ぎないように注意しながら表面全体を拭きます。布またはスポンジをすすぎ、必要に応じて繰り返します。

Alcantara®

Alcantara® 素材に付着した埃を注意深く払います。柔らかい布またはスポンジを水で湿らせ、完全に水を絞り、濡らし過ぎないように注意しながら表面全体を拭きます。布またはスポンジをすすぎ、必要に応じて繰り返します。

一晩放置して素材を乾かします。素材が乾いたら、元の風合いになるように、柔らかい短毛ブラシで軽くブラッシングします。

シートベルト

ベルトを伸ばし、お湯に溶かした石けん水のみでクリーニングします。合成洗剤や化学洗浄剤は種類にかかわらず使用しないでください。ベルトを伸ばしたまま、できれば直射日光を避けて自然乾燥させます。

インストールメントとディスプレイ画面

湿らせた布でドライバーディスプレイとセンターインフォテイメントタッチスクリーンを清掃します。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。

車両カバー

お客様のマクラレーンには、ガレージ内での使用に適した車両カバーが付属しています。

また、車内を保護するための緊急用カバーも付属しています。

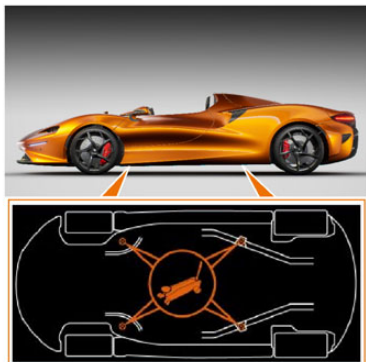
マクラレーンでは、車両を2週間以上使用しない場合、カバーをかけておくことを推奨しています。カバーをかける前に車両の内外を清掃し、十分に乾かしてください。



注意: カバーは車両が十分に冷えてからかけてください。高温になったエキゾーストパイプによりカバーが損傷するおそれがあります。

メンテナンス 車両のリフト

車両のリフトポイント



正しいリフトアップ位置は図および車両に貼付されているラベルを参照してください。

お客様のマクラーレンの回収に関係する第三者にこの情報を提供してください。

i 注意: これ以外のポイントで車両をリフトした場合、車両が損傷します。

i 注意: ジャッキを使用する場合は、平らなリフト用プラットフォームとシャーシ表面の損傷を防止するラバーパッドとともに使用してください。ボディパネルの下はリフトしないでください。

⚠ 警告: 車両を作業が可能な高さまでリフトする前に、車両がジャッキまたは車両リフトの上に正しく配置されていることを確認してください。車両の下で作業する場合は必ず車両リフト安全ロックをかけるか、適切なスタンドを使用して安全を確保してください。

メンテナンス

McLaren アシスタンス

McLaren アシスタンス

お客様のマクラーレンが動かなくなった場合は、ご自分で解決しようとししないでください。サービスおよび保証ガイドを参照してください。このガイドに必要なすべての情報が収録されています。

交換用バッテリー

お客様のマクラーレンが車両バッテリーの不具合で動かなくなった場合、正しい仕様のリチウムイオンバッテリーと交換する必要があります。

故障時

車両が故障した場合は、マクラーレン代理店にご連絡ください。近くにマクラーレン代理店がない場合は、年中無休、24時間対応のロードサイドアシスタンス業者にご連絡ください。



注意: ロードサイドアシスタンス業者の詳しい連絡先は、サービスおよび保証ガイドに記載されています。

マクラーレン代理店またはロードサイドアシスタンス業者は、お客様およびお客様の車両 ID を確認して、お客様の正確な現在地を判断します。

その後、お客様と問題について話し合い、お客様の承諾のもとで最良の解決策を決定します。

メンテナンス

McLaren アシスタンス

回収のためのけん引

お客様のマクラーレンには、フロントけん引フックマウントのみが装備されています。

i 注意: 車両をけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。けん引フックは回収の目的で車両をトレーラーまたは輸送車に積載する場合以外には使用してはなりません。

i 注意: リジッドバーを使用して車両をけん引してはなりません。

けん引フックとマウント



1. トノーコンパートメントからけん引フックを取り出します。

2. フロントバンパー内のけん引フックマウントのカバーを取り外します。

3. けん引フックを取り付け穴に時計回りにねじ込みます。必ずねじ山いっぱいまでねじ込んでください。

i 注意: けん引フックと車両の損傷を防止するために、けん引フックがフロント構造の接合面に完全に密着しているようにすることが重要です。

i 注意: ウィンチケーブル / ストラップはけん引フック以外の場所に固定してはなりません。車両が損傷するおそれがあります。

4. けん引フックを取り外します。車両の回収が完了したら、すぐにけん引フックをトノーコンパートメントに収納し、けん引フックマウントにカバーを取り付けます。

メンテナンス

海外での走行

海外での走行

マクラール代理店は、海外を旅行する際にもご利用いただけます。

海外で走行する際の法的要件は国によって異なり、また常に変動しています。旅行先の国の法律に準拠するためには何が必要となるか、必ずマクラール代理店にお問い合わせください。

一部の国では、低オクタン価の燃料しか入手できない場合があります。燃料グレードについての詳細は、推奨燃料、2.45 ページを参照してください。



注意：ヘッドランプの非対称ロービームは、路肩に近い側を明るく照らすように設計されています。お客様のマクラールでは、道路の左側または右側のどちらを走行しても同一のロービーム設定が適用されます。



車両データおよび用語集

純正 McLaren 部品およびアクセサリ	7.2
概要.....	7.2
車両識別	7.3
車両識別番号.....	7.3
VIN プレート.....	7.3
データ	7.4
概要.....	7.4
車両動作温度.....	7.4
エンジン.....	7.4
車体寸法.....	7.5
車両重量.....	7.6
ホイールおよびタイヤサイズ.....	7.6
ホイールサイズ.....	7.6
サマータイヤ.....	7.6
旋回半径.....	7.7
タイヤ空気圧.....	7.7
サービス製品、フルードと容量	7.8
サービス製品.....	7.8
エンジンオイル仕様.....	7.8
燃料.....	7.8
燃料タンク.....	7.8
クーラント.....	7.9
パワーステアリングフルード.....	7.9
ブレーキフルード.....	7.10
技術用語集.....	7.11
技術用語集.....	7.11
アクティブエアロ.....	7.11

アクティブエアマネジメントシステム (AAMS)	7.11
アクティブダイナミクスコントロール.....	7.11
アンチロックブレーキシステム (ABS)	7.11
ブレーキアシストシステム.....	7.11
ブレーキステア.....	7.11
シリンダーカット.....	7.11
展開式ロールオーバープロテクション.....	7.11
電子制御ブレーキ予備充填.....	7.11
エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC)	7.12
グローバルポジショニングシステム (GPS)	7.12
ハンドリングコントロール.....	7.12
ヒルホールドコントロール.....	7.12
イグニッションカット.....	7.12
慣性プッシュ.....	7.12
キーレスエントリー.....	7.12
発進コントロール.....	7.12
高速道路ファンクションライティング.....	7.12
パーキングセンサー.....	7.12
ギアシフトモード (PSC)	7.12
リアビューカメラ (RVC)	7.12
シームレスシフトギアボックス.....	7.13
スタティックアダプティブヘッドランプ.....	7.13
補助拘束装置 (SRS)	7.13
タイヤ空気圧監視システム (TPMS)	7.13
車両識別番号 (VIN)	7.13

車両データおよび用語集

純正 McLaren 部品およびアクセサリー

概要

マクラーレンはマクラーレンの純正交換部品およびアクセサリー以外は使用しないことを推奨します。非純正部品を使用した場合、車両の動作や安全に悪影響を及ぼす可能性があります。

マクラーレンは交換部品およびアクセサリーの信頼性、安全性および適合性をテストしています。マクラーレン車における非純正部品の使用については、たとえ当該部品が単独では認定品であったとしても、マクラーレンは責任を負いません。

多くの国では、交換部品およびアクセサリーは、当該製品が法的要件に適合している場合にのみ取り付けることが公式に認められています。マクラーレンのすべての純正交換部品およびアクセサリーは、これらの要件に適合しています。

マクラーレンの純正部品およびアクセサリーは、専門技師が部品を取り付けるマクラーレン代理店から入手できます。

アクセサリーを使用する際は、お客様のマクラーレンに適合したものであることを確認してください。車両の改造に当たるアクセサリーを使用した場合、車両の保証が無効になることがあります。以下の場合がこれに該当します：

- 保証書で承認されている車種に変更が生じる場合
- 道路使用者に危険を及ぼす可能性がある場合
- 車両の排出ガスおよび騒音レベルが悪化する場合

部品またはアクセサリーを注文する場合は、必ず車両識別番号をお知らせください。車両識別番号、7.3 ページを参照してください。

車両データおよび用語集

車両識別

車両識別番号



車両識別番号 (VIN) は次の位置にあります。

- 運転席側ドアの上のボディに刻印されています
- 運転席側ドア開口部下部のプレートに刻印されています
- ドライブディスプレイの「車両情報」セクションに表示されます

VIN プレート



車両識別番号プレートには以下の情報も記載されています：

- 最大許容積載量
- トレーラーを含めた最大許容積載量
- 最大許容フロントアクスル荷重
- 最大許容リアアクスル荷重

車両データおよび用語集

データ

概要

本節にはお客様の車両に関して必要な技術データをすべて記載します。このデータは車両の標準装備に適用されます。したがって、オプション装備を装着した車両ではデータが異なる場合があります。マクラーレン代理店から詳細な情報を入手できます。

車両動作温度

最低動作気温	-20 °C (-4 °F)
最高動作気温	+50°C (+122°F)

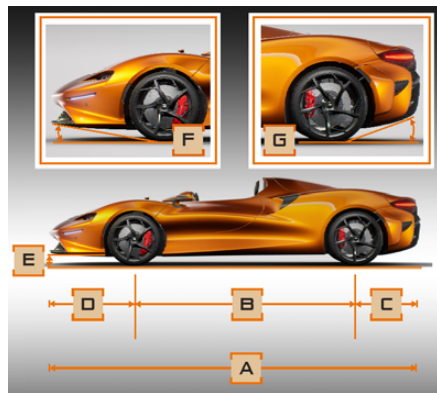
i 注意: 最低気温から最高気温までの範囲外で車両を使用した場合、性能が低下することがあります。マクラーレンは車両を標準温度範囲外で使用した場合、もしくは高地において使用した場合、表示エンジン出力を達成できなかったとしても責任を負いません。

エンジン

エンジン仕様	
定格出力 (kW) @rpm	537 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	620 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	630 @ 5,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	464 @ 5,500
気筒数	8
排気量 cm³	3,994
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイトレシオ (PS/トン)	425

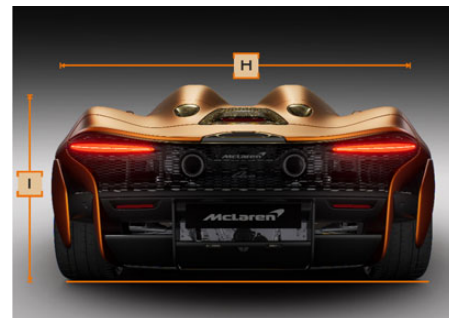
車両データおよび用語集 データ

車体寸法



A	全長	4,611mm (15 フィート 2 インチ)
B	ホイールベース	2,670mm (8 フィート 9 インチ)
C	リアオーバーハング	848mm (2 フィート 10 インチ)
D	フロントオーバーハング	1,093mm (3 フィート 7 インチ)

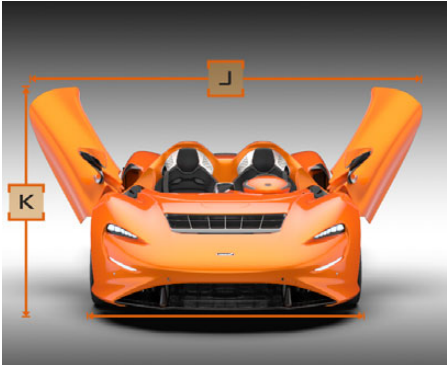
E	地上高 (通常)	112mm (4 インチ)
	地上高 (車両リフト)	117mm (5 インチ)
F	アプローチアングル (通常)	8.1°
	アプローチアングル (車両リフト)	10.3°
G	脱出角度 (通常)	13.4°
	デパーチャーアングル (車両リフト)	12.7°



H	全幅 (ドア閉)	2,125mm (6 フィート 10 インチ)
I	全高 (ドア閉、通常)	1,088mm (3 フィート 8 インチ)
	全高 (ドア閉、車両リフト)	1,205mm (4 フィート)
	車高 (ドア閉、トノーカバー開)	1,579mm (5 フィート 2 インチ)

車両データおよび用語集

データ



J	全幅（ドア開、最大幅）	3,060mm（10 フィート）
K	全高（ドア開）	1,823mm（5 フィート 10 インチ）

 注意: 寸法はすべて近似値です。

車両重量

重量	Kg (lb)
乾燥重量	1,461 (3,220)
空車重量（すべてのフルードと 90 % の燃料）	1,527 (3,366)
車両重量（+ 75 kg のドライバー）	1,602 (3,531)
車両重量配分 - フロントアックスル	673 (1,484)
車両重量配分 - リアアックスル	929 (2,048)
最大車両総重量（GVW）	1,796 (3,959)
最大車両総重量配分 - フロントアックスル	783 (1,726)
最大車両総重量配分 - リアアックスル	1013 (2,232)
最大荷物積載量 - トノーコンパートメント	26 (57)

ホイールおよびタイヤサイズ

ホイールサイズ

フロントホイール	19x9J ET41.65 FH2
リアホイール	20x11J ET24.75 FH2

サマータイヤ

フロントタイヤ	
Pirelli P Zero™ (MC) PNCS	245/35Z R19 (93Y)
Pirelli P Zero Corsa™ (MC) PNCS	245/35Z R19 (93Y)

リアタイヤ	
Pirelli P Zero™ (MC) PNCS	305/30Z R20 (103Y)
Pirelli P Zero Corsa™ (MC) PNCS	305/30Z R20 (103Y)

車両データおよび用語集

データ

旋回半径

最小回転直径 (タイヤ外縁)	12.1m (39 フィート 8 インチ)
最小回転直径 (ボディ外縁)	12.6m (41 フィート 4 インチ)

タイヤ空気圧

公道での使用: 冷間時タイヤ 空気圧	0 ~ 270 km/h	270 km/h - 最高速度
Pirelli P Zero™	2.1 bar (フロント) 2.0 bar (リア)	2.7 bar (フロント およびリア)
Pirelli P Zero Corsa™	2.1 bar (フロント) 2.0 bar (リア)	2.7 bar (フロント およびリア)

 注意：一部の市場では、タイヤ空気圧ラベルは運転席側ドア開口部下部に貼付されています。

車両データおよび用語集

サービス製品、フルードと容量

サービス製品

サービス製品は次のとおりです。

- 燃料
- エンジンオイル
- クーラント
- ブレーキフルード

マクラレンはテスト済みのマクラレン用に認定された製品のみを使用を推奨します。未認定サービス製品を使用した結果生じた損害は、材料欠陥に関する保証責任の対象外となります。

 **警告:** サービス製品の取り扱い、保管および処分を行う際は、関連する法規を遵守してください。これを怠った場合、人や環境に危険を生じるおそれがあります。

 **警告:** サービス製品が目や傷口に直接触れることがないようにしてください。サービス製品を誤飲した場合はただちに医師の診察を受けてください。

 **環境:** サービス製品は環境に責任ある方法で処分してください。

エンジンオイル仕様



エンジンオイル容量	8.0 リットル
-----------	----------

 **注意:** マクラレンは Mobil 10W-40 ESP x3 エンジンオイルのみの使用を推奨します。

マクラレン代理店から詳細な情報を入手できます。

 **注意:** 潤滑油添加剤は使用しないでください。使用すると機械アセンブリの摩耗や損傷を増大させるおそれがあります。未認定添加剤が原因で生じた損害は、マクラレンの保証の対象外となります。

燃料

 **警告:** 燃料は高い引火性があります。燃料を取り扱う際には火気、裸火、喫煙は厳禁です。給油の前にエンジンを停止してください。

 **警告:** 燃料が皮膚や衣服に付着しないようにしてください。燃料が直接皮膚に触れたり、燃料蒸気を吸い込んだりすると健康に害を及ぼすことになります。

燃料に関する詳しい情報は推奨燃料、2.45 ページを参照してください。

燃料タンク

総容量	72 リットル (15.8 UK ガロン)
燃料警告灯点灯時の燃料残量	11 リットル (2.4 UK ガロン)

車両データおよび用語集

サービス製品、フルードと容量

クーラント

クーリングシステムの容量	25.2 リットル (5.5UKガロン)
不凍液/防錆剤	Mobil Extra Antifreeze
-20℃ (-4°F) までの保護用不凍液容量	12.6 リットル (2.8UKガロン)

クーラントは水、不凍液、防錆剤の混合液です。クーラントはクーリングシステム内で以下の役割を果たします：

- 凍結防止保護
- クーリングシステムの効率改善
- 腐食防止保護

i 注意：季節にかかわらず一年間を通じて Mobil Extra Antifreeze を使用してください。クーラントを使用しなかった場合、クーリングシステムは腐食に対する十分な保護が得られず、冷却効率が低下します。

i 注意：エンジンの損傷を防ぐために、目標水準の凍結防止能力を備えた混合済みクーラントを使用してください。

不凍液 / 防錆剤が正しい濃度で入っていれば、クーラントの沸点は約 130℃ (266°F) となります。クーリングシステム内の不凍液と防錆剤の濃度は、約 50% ± 5% とする必要があります。それによって、クーリングシステムは -40℃ (-40°F) まで凍結から保護されます。

クーリングシステム内の不凍液と防錆剤の濃度は、-45℃ (-49°F) まで凍結を防止できる 55% を超えてはなりません。なぜなら、それ以上の濃度では放熱効果が低下するためです。

車両のクーラントがなくなったときは、運転を中止してください。直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

パワーステアリングフルード

必ず Pentosin CHF202 パワーステアリングフルードを使用してください。

車両データおよび用語集

サービス製品、フルードと容量

ブレーキフルード

必ず Pentosin DoT 5.1 ブレーキフルードを使用してください。

ブレーキフルードは時間の経過とともに空気中の湿気を吸収します。これにより沸点が低下します。



警告: ブレーキフルードの沸点が下がり過ぎると、ブレーキを強くかけたとき（長い下り坂やサーキット走行時など）にブレーキシステム内にベーパーポケットができ、ブレーキ効率が低下します。そのため、必ず推奨するサービス間隔でブレーキフルードを交換してください。

車両データおよび用語集

技術用語集

技術用語集

アクティブエアロ

アクティブエアロシステムはアクティブリアスポイラーで、エアブレーキとしても機能し、ダウンフォースを発生させて車両のコントロールを支援します。

アクティブエアマネジメントシステム (AAMS)

McLaren アクティブエアマネジメントシステム (AAMS) は、車両ノーズのダクトから空気を導き、キャビンの上に向かう流れを作り出し、対向する気流から乗員を保護します。

気流はコックピットの両側と車両後部の上に導かれ、ダウンフォースを発生させます。

フロントクラムシェルは、車両のエアロダイナミクスパッケージの主要コンポーネントです。フロントクラムシェルは AAMS の重要な構成パーツであると同時に、左右ドアの前部に 2 つのエアインタークを備え、左右リアホイールの前に取り付けられたデュアルインタークーラーに空気を導きます。

アクティブダイナミクスコントロール

ドライバーが車両のハンドリング特性やパフォーマンス特性を切り替え可能にするシステムです。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

アンチロックブレーキシステムは、ブレーキングによるホイールのロックを防止します。これによって、ブレーキをかけながら車両を操舵することが可能になります。

ブレーキアシストシステム

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキを踏んだ状況で作動します。急ブレーキを踏むと、ブレーキアシストシステムによりブレーキの踏力が自動的に増大し、停止距離が短縮されます。

ブレーキステア

ブレーキステアはトルクベクトリングディファレンシャル効果を実現しますが、軽量化と反応速度の改善のためにブレーキシステムに組み込まれています。

コーナリング時に車両がアンダーステアになりつつあることを検知すると、システムはリアの内輪に軽くブレーキをかけます。これにより車両のヨーレートが増大し、車両のアンダーステアに対する抵抗力が増します。横方向の G も増大し、ハンドリング特性が向上します。

ドライバーがコーナーからの立ち上がりでスロットルを開け過ぎると、リアの内輪の速度が増し、ブレーキステアが作動しなければ車両が不安定になるおそれがあります。この状況でも、ブレーキステアが再びリアホイール内側に軽くブレーキをかけることによって、トラクションと走行安定性を回復します。

シリンダーカット

シリンダーカットは、スポーツおよびトラックパワートレインモードのオートマチックアップシフトおよびコンフォートパワートレインモードのマニュアルアップシフトで作動します。

急加速時にシフトアップが必要なときに、指定された数のエンジンシリンダーで燃料供給が中断 (カット) されます。こうすることで、エンジントルクおよびエンジン回転数が急速に減少して、よりすばやくシフトアップを達成できます。この結果、通常のシフトアップより、シフトアップ時の音が明確になります。

車両データおよび用語集

技術用語集

展開式ロールオーバープロテクション

展開式ロールオーバープロテクションは、シート後方の上部構造に取り付けられた安全装備です。補助拘束装置（SRS）と併せて、車両が衝突したり横転したりした場合に乗員を保護します。

電子制御ブレーキ予備充填

アクセルペダルを急に離すと電子制御ブレーキ予備充填機能が即座にブレーキパッドをディスクに接触させ、より素早いブレーキの作動を可能にします。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC)

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) は、走行安定性およびタイヤと路面間のトラクションを監視します。

グローバルポジショニングシステム (GPS)

適切なレシーバにより、衛星信号から車両の地理的位置情報を取得します。これらの信号をデジタルマップと照合し、車両の位置判定とルート案内に利用します。

ハンドリングコントロール

ハンドリングコントロールスイッチは、プロアクティブシャシーコントロールIIシステムに対して効果を発揮します。

ヒルホールドコントロール

ヒルホールドコントロールは、坂道発進時に車両が後退するのを防ぎます。アクセルペダルが踏まれるまで、ブレーキシステムが自動的にブレーキをかけます。

イグニッションカット

イグニッションカットは、パワートレインモードでのマニュアルシフトアップ中に動作します。

急加速時にシフトアップが必要なときに、指定された数のエンジンシリンダーでイグニッションが中断（カット）されます。こうすることで、エンジントルクおよびエンジン回転数が急速に減少して、よりすばやくシフトアップを達成できます。

慣性プッシュ

「Non-Active（ノンアクティブ）」を選択している際、または「Track（トラック）」パワートレインモードで急加速時に、エンジン回転数が高い状態でシフトアップ操作を行うと、慣性プッシュによって加速力が上がります。

通常の走行条件で、最大のパフォーマンスを必要としない慣性プッシュの範囲外であれば、エンジンとトランスミッションの回転数を合わせてスムーズでシームレスなシフトアップを行います。一方、慣性プッシュの場合は、次のギアを保持しているクラッチがより強い力でつながり、エンジン回転数が完全には落ちないので、内部回転マスの慣性を利用できます。この場合、ギアがつながるときにトルク衝撃が発生しますが、加速性能が向上し、最大のパフォーマンスが得られます。

キーレスエントリー

キーレスエントリーを使用すると、リモコンキーがドアセンサーから1.2m（3フィート11インチ）以内にあれば、ドアを開けるだけでロックを解除し、アラームシステムを停止させることができます。

発進コントロール

発進コントロールは、スタンディングスタート時に最大加速が得られるように設計されています。

高速道路ファンクションライティング

高速道路ファンクションライティングは、車速が事前設定したしきい値を超える場合に、ヘッドランプ照明を強くします。

車両データおよび用語集

技術用語集

パーキングセンサー

パーキングセンサーシステムは、フロントバンパー内の4個の超音波センサー、リアバンパー内の4個の超音波センサー、2個の音響器で構成されています。運転操作時にパーキングセンサーが障害物を検知すると、音響器が警告音を鳴らします。

ギアシフトモード（PSC）

ギアシフトモードは音が鳴るシフトインジケーターで、最適な性能を維持するためにシフトアップが必要になると音を鳴らして知らせます。

リアビューカメラ（RVC）

リアビューカメラは、リアバンパーの中央に取り付けられています。この機能を作動させると、ライブビデオ映像がドライバーディスプレイまたはセンターインフォテイメントタッチスクリーンに表示されます。

シームレスシフトギアボックス

シームレスシフトギアボックスは、7速のデュアルクラッチギアボックスです。ギアチェンジは完全なオートマチックで行うことも、ドライバーがマニュアルで行うこともできます。ギアチェンジはほぼ瞬時に行われます。切れ目の無い加速を提供するエンジンからの連続したトルク供給と組み合わせられています。

スタティックアダプティブヘッドランプ

スタティックアダプティブヘッドランプは、車両がヘッドランプを点灯して旋回するとき、進行方向をより明るく照らします。

補助拘束装置（SRS）

補助拘束装置は、事故の際に自動的に展開して乗員保護性を高める多数のエアバッグで構成されています。

タイヤ空気圧監視システム（TPMS）

タイヤ空気圧監視システムは常に4本のタイヤの空気圧と温度を監視しています。1本または複数のタイヤの空気圧が下がったり温度が上昇したりすると警告を行います。

車両識別番号（VIN）

車両識別番号（VIN）は一意的17桁の数字で、車両に関する情報や製造日、製造場所を示します。

一般的なVIN = SBM22GCB0KW000001



適合性に関する情報

法令遵守	8.2
マクラーレンインフォテイメントシステム (MIS)	8.2
すべての地域 / 市場	8.2
オーストラリア / ニュージーランド	8.2
ブラジル	8.2
カナダ	8.2
中国	8.2
ヨーロッパ	8.2
インド	8.2
日本	8.2
メキシコ	8.2
フィリピン	8.2
シンガポール	8.2
南アフリカ	8.3
韓国	8.3
台湾	8.3
アラブ首長国連邦	8.3
米国	8.3
RED 適合宣言テレマティクスユニットタイプ 2148	8.4
設置 / メンテナンスおよびコイル / ボタン型電池	
(EN62368-1) の安全に関する注意事項	8.4
システムの機能	8.5
同梱品一覧および初期アクティベーション	8.5
機能	8.5
ドライバーカードを使用した盗難車両追跡装置の操作	8.5
ドライバーカードのスイッチを入れる	8.5
ドライバーカードのスイッチを切る	8.5
ドライバーカードを使用した盗難車両追跡装置の有効化	8.6
ドライバーカードを使用した盗難車両追跡装置の無効化	8.6
ドライバーカードの緊急解除	8.6
タイヤ空気圧監視システム (TPMS)	8.6

適合性に関する情報 法令遵守

マクラーレンインフォテイメントシステム (MIS)

すべての地域/市場

製品: ADI Gen 2.0

モデル: ICU

オーストラリア/ニュージーランド



ブラジル



00119934

Para consultas, visite: www.anatel.gov.br

カナダ

IC: 25374-ICU

このデバイスは、カナダ産業省のライセンス免除 RSS に準拠しています。動作は以下の 2 つの条件に準じています:

1. 本デバイスは有害な干渉を起こさない、また
2. 本デバイスは、デバイスに予期せぬ動作をもたらす可能性のある干渉も含む、あらゆる干渉を許容できる。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. l'appareil ne doit pas produire de brouillage;
2. l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

本デバイスは、制御不能な環境に規定の IC 放射線暴露制限に準拠しています。本デバイスは、ラジエーターと人体から 20 cm 以上離れた位置に取り付けて操作する必要があります。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.v.br

中国

CMIIT ID: XXXYYZZZZ

ヨーロッパ



Manufacturer:

Faurecia Clarion Electronics Europe S.A.S

40 Avenue des Terroirs de France

75012 Paris, France



E2*10R05/01*19097*00

適合性に関する情報 法令遵守

インド
ETA-SD-20200100088

日本



202 SMH046
D190021202

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

●本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

- Bluetooth



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS 変調方式を表します。

1：電波干渉距離は10m です。



：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

適合性に関する情報 法令遵守

- Wi-Fi



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

DS/OF：DS-SS、OFDM 変調方式を表します。

4：電波与干渉距離は40m です。

■■■：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

●使用可能距離は見通し距離約 10 m (Bluetooth)、約 40 m (Wi-Fi) です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

●下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力

端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

●本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

メキシコ
IFT: NYC-CT081220C0

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

フィリピン



NTC

タイプ承認

No. ESD-2021579C

Singapore

IMDA 標準 IMDA TS SRD に準拠

南アフリカ



TA-2020/051

適合性に関する情報 法令遵守

韓国
R-C-FcE-ICU

台湾



CCA020LP0900T9

國家通訊傳播委員會(NCC)警告聲明

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不

得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

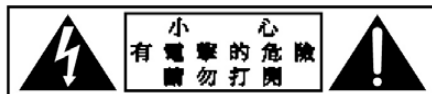
低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾

現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設

備之干擾。



操作電壓 12 V
(9 V 至 16 V 容限)

這些規格在 14.2V 下測量。

アラブ首長国連邦
TRA

登録番号: ER78055/20

ディーラー番号: DA86264/20

米国



FCC ID: 2AT94ICU

本デバイスはFCC規定のパート15に準拠しています。動作は以下の2つの条件に準じています：

1. 本デバイスは有害な干渉を起こさない、また
2. 本デバイスは、予期せぬ動作をもたらす可能性のある干渉も含む、あらゆる受信干渉を許容できる。

適合性に関する情報 法令遵守

コンプライアンスを担当する当事者が明示的に承認していない変更や改造を行うと、本機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

本デバイスは、制御不能な環境に規定の FCC 放射線暴露制限に準拠しています。

本デバイスは、ラジエーターと人体から 20 cm 以上離れた位置に取り付けて操作する必要があります。

この送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、併用したりしないでください。

RED 適合宣言テレマティクスユニットタイプ 2148

ここで、メーカーの Vodafone Automotive SpA は、無線機器タイプ 2148 が指令 2014/53/EU に準拠していることを宣言します。

EU 適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます。
Automotive.vodafone.com セクション「ダウンロード」。

デバイスには、以下の RF パラメータがあります。

- GSM/GPRS/EDGE: デュアルバンド 900/1800 MHz
- LTE: クアッドバンド 800 (Bd 20) /900 (Bd 8) /1800 (Bd 3) /2100 MHz (Bd 1)
- GSM900 の場合、クラス 4 (+32.5 dBm $\pm$ 2 dB)
- GSM1800 の場合、クラス 1 (+30 dBm $\pm$ 2 dB)
- GSM900 8-PSK の場合、クラス E2 (+26.5 dBm $\pm$ 3 dB)
- GSM1800 8-PSK の場合、クラス E2 (+26 dBm +3 /-4 dB)
- LTE 800、LTE FDD Bd20 の場合、クラス 3 (+23 dBm $\pm$ 2 dB)
- LTE 900、LTE FDD Bd8 の場合、クラス 3 (+23 dBm $\pm$ 2 dB)
- LTE 1800、LTE FDD Bd3 の場合、クラス 3 (+23 dBm $\pm$ 2 dB)

- LTE 2100、LTE FDD Bd1 の場合、クラス 3 (+23 dBm $\pm$ 2 dB)
- GPS: 1575.42 MHz (レシーバのみ) : 72 チャンネル u-blox M8 エンジン、GPS L1C/A、SBAS L1C/A、QZSS L1C/A、QZSSL1 SAIF、GLONASS L1OF、BeiDou B1I、Galileo E1B/C
- RF: 433.92 MHz (レシーバのみ)
- リモート 2781 アクセサリ送信機 : 433.92 MHz 標準周波数 /-30 dBm 標準出力

デバイスには以下の CE マークが付いています。



適合性に関する情報

法令遵守

安全情報：本デバイスは、電磁場にさらされないように、乗員からの距離が 0.2 m 超になるよう設計および設置されています。

メーカーの住所：VodafoneAutomotive SpA, via Astico 41, 21100, Varese, Italy

設置 / メンテナンスおよびコイル / ボタン型電池（EN62368-1）の安全に関する注意事項

機器の設置、メンテナンス、およびサービスは、熟練した技術者や認定された技術者が手際よく行う必要があります。

このシステムに付属のリモコンには、コイン型電池 / ボタン型電池が含まれています。これらは子供の手の届かない場所に保管する必要があります。何らかの理由でバッテリーコンパートメントがしっかりと閉まっていない場合は、デバイスの使用を中止し、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

バッテリーを開けたり、変形させたり、不適切に使用したりしないでください。有害な化学物質が漏れるおそれがあります。飲み込んだり、耳や鼻に挿入した疑いがある場合は、すぐに医師に相談してください。バッテリーは数時間以内に体内で深刻な化学物質による火傷を引き起こし、死亡につながるおそれがあります。

誤った種類のバッテリーに交換したり、異なる種類のバッテリーを混合したりすると（新品のバッテリーと使用済みバッテリー、リチウム電池と炭素電池またはアルカリ電池との混用など）、爆発の危険性があります。

プラス端子とマイナス端子を短絡させたり、プライマリバッテリーを充電したり、バッテリーを火中に投げたりしないでください。

使用済みのバッテリーは、地域の廃棄物リサイクル規則に従って廃棄し、家庭用廃棄物として廃棄しないでください。

リモコンデバイスには、図形記号が表示されています。



システムの機能

盗難車両追跡装置は GSM/GPS 対応の追跡システムであり、盗難時に車両をセキュリティオペレーティングセンター（SOC）によって検知し、関連当局によって保護できます。

盗難車両追跡装置が盗難アラームを検出するとすぐに、問題の車両の位置が SOC に送信されます。

この場合、下記のオプションがサポートされます。

- 盗難車両追跡装置とドライバーカード

盗難車両追跡装置のバージョンは、車両保険または各国の法定要件によって異なります。

同梱品一覧および初期アクティベーション

盗難車両追跡装置は、車両所有者の支援を受けて作動します。

アクティベーション後に、お住まいの地域のコントロールセンターやサービスプロバイダーの電話番号などの重要な情報が表示されます。

機能

車両は盗難時のみに位置を特定されます。この場合、テキストメッセージが提供された携帯電話番号に送信されます。セキュリティ上の理由から、車両の位置はテキストメッセージでは通知されません。

車両が盗難にあった場合は、コントロールセンターに連絡してください。また、盗難を地域の警察当局に報告してください。

以下のアラームを設定できます。

適合性に関する情報

法令遵守

- 車両の不正な移動：イグニッションスイッチをオフにした状態で車両が移動しています。ドライバーカード / リモートキーパッドから離れた場所に車両が存在：ドライバーカード / リモートキーパッドがない状態で車両が移動しています。
- 破壊行為：盗難車両追跡装置が不正に改ざんされています。
- 侵入アラーム：アラームシステムが起動し、15 秒以上作動しています。



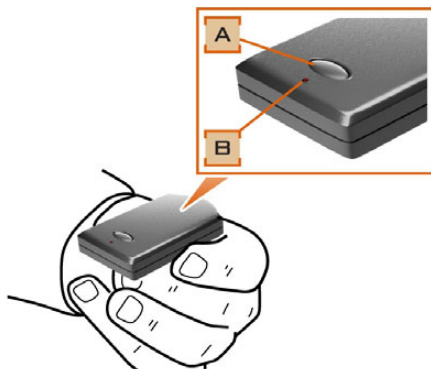
注意：

- 車両の盗難が常に検知されるという保証はありません。
- 盗難車両追跡装置アラームは、車両バッテリーが放電したときにも作動させられます。
- 車両が盗難にあった場合、コントロールセンターはエンジンの始動を禁止できます。

ドライバーカードを使用した盗難車両追跡装置の操作

盗難車両追跡装置は、アクティブなドライバーカードを使用して自動的に無効にできます。

ドライバーカードのスイッチを入れる



ドライバーカードのボタン A を押します。

インジケータライト B がすばやく点滅します。ボタン A を放すと、インジケータライトが約 3 秒間隔で点滅します。

アクティブな状態のドライバーカードのインジケータライトの点滅が、3 秒間隔、またはカードのボタン A を押すと止まる場合は、バッテリーが消耗しているため、交換する必要があります。

ドライバーカードのスイッチを切る

ドライバーカードのボタン A を押し、インジケータライト B が消えるまで約 8 秒間押し続けます。

長時間使用しない場合は、バッテリーの寿命を延ばすためにドライバーカードのスイッチを切ってください。



注意：航空機での輸送中は、航空機に適用されるガイドラインに従って、ドライバーカードのスイッチを切る必要があります。

ドライバーカードを使用した盗難車両追跡装置の有効化

車両を離れるときはイグニッションスイッチをオフにし、ドライバーカードを持ち出してください。

ドライバーカードが車両から十分離れると、装置は約 70 秒後に有効になります。

車両の盗難が検知されます。

適合性に関する情報

法令遵守

ドライバーカードを使用した盗難車両追跡装置の無効化

ドライバーカードを車両のセンターコンソールに置か、そのままにしておきます。

アクティブなドライバーカードが車内または車両のすぐ近くにある場合、装置は無効になります。



注意：

- ドライバーカードをラゲッジルームまたはエンジンルームに入れたり、金属（コインなど）の近くに置かないでください。
- 車両は、盗難に遭ったドライバーのキーを使用して盗難されることが多々あります。ドライバーカードをドライバーのキーに取り付けしないでください。

ドライバーカードを追加、削除、または交換する場合は、SOC にお問い合わせください。

ドライバーカードの緊急解除

ドライバーカードを使用して盗難車両追跡を解除できない場合（ドライバーカードのバッテリーが切れた場合やドライバーカードが紛失した場合など）は、コントロールセンターに連絡して、コントロールセンターのスタッフにシステムを作動解除してもらってください。

タイヤ空気圧監視システム（TPMS）

ここで、Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG は、無線機器タイプ TSSSG4G5 および TSSRE4Dg が指令 2014/53/EU に準拠していることを宣言します。

EU 適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます。

- <http://www.huf-group.com/eudoc>

周波数帯: 433.92 MHz (TSSSG4G5 および TSSRE4Dg)

最大伝送出力: <10 mW (TSSRE4Dg)

メーカー: Huf Electronics Bretten GmbH, Gewerbestr. 40, 75015 Bretten, Germany

Por la presente, Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG declara que el tipo de equipo radio eléctrico TSSSG4G5 y TSSRE4Dg es conforme con la Directiva 2014/53/UE.

El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección de Internet siguiente:

- <http://www.huf-group.com/eudoc>

Banda de frecuencia: 433.92 MHz (TSSSG4G5 and TSSRE4Dg)

Potencia máxima de radiofrecuencia transmitida: <10mW (TSSRE4Dg)

Los fabricantes: Huf Electronics Bretten GmbH, Gewerbestr. 40, 75015 Bretten, Germany

Hiermit erklärt Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG, dass der Funkanlagentyp TSSSG4G5 und TSSRE4Dg der Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar:

- <http://www.huf-group.com/eudoc>

Frequenzband: 433,92 MHz (TSSSG4G5 und TSSRE4Dg)

Abgestrahlte maximale Sendeleistung: <10mW

Hersteller: Huf Electronics Bretten GmbH, Gewerbestr. 40, 75015 Bretten, Germany

Le soussigné, Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG, déclare que l'équipement radioélectrique du type TSSSG4G5 et TSSRE4Dg est conforme à la directive 2014/53/UE.

適合性に関する情報

法令遵守

Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante:

- [http:// www.huf-group.com/eudoc](http://www.huf-group.com/eudoc)

Bandes de fréquences utilisées:

433.92 MHz (TSSSG4G5 et TSSRE4Dg)

Puissance de radiofréquence maximale:

<10mW

Les fabricants: Huf Electronics Bretten GmbH, Gewerbestr. 40, 75015 Bretten, Germany

Il fabbricante, Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG, dichiara che il tipo di apparecchiatura radio TSSSG4G5 e TSSRE4Dg è conforme alla direttiva 2014/53/UE.

Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet:

- [http:// www.huf-group.com/eudoc](http://www.huf-group.com/eudoc)

Banda di frequenza: 433.92 MHz
(TSSSG4G5 e TSSRE4Dg)

Massima potenza di trasmissione: <10mW

Fabbricante: Huf Electronics Bretten GmbH, Gewerbestr. 40, 75015 Bretten, Germany



索引

数字

「12 時間」形式または「24 時間」形式 4.8

A

Alcantara® 6.30

Android Auto Projection 4.33

Apple CarPlay® 4.33

B

Bluetooth 4.7, 4.16

Bluetooth オーディオ 4.27

C

CarPlay® 4.33

G

GPS 4.30, 7.12

K

KISI チャイルドシートシステム 1.27

M

McLaren アシスタンス 6.32

McLaren 車の洗車 6.26

McLaren 部品およびアクセサリー 7.2

P

「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッ

グ OFF）」警告灯 1.23

Pre-Cog 2.21

T

TPMS への適合 8.9

U

Ultrafabrics® 6.30

USB および iPod 4.25

USB ソケット 5.10

V

VIN 7.13

VIN プレート 7.3

W

Wi-Fi 4.7

あ

アクセサリー 7.2

アクセル位置 2.19

アクティブエアマネジメントシステム 1.28

アクティブエアマネジメントシステムの

洗浄 6.27

アクティブエアロ 2.33

アクティブスピードリミッター 2.41

アクティブダイナミクスコントロール 7.11

アシスタンス電話番号、マクラレーン 1.2

圧力単位 4.10

アラームシステム、解除 1.13

アラームシステム、有効化 1.13

アラームシステムを解除する 1.13

アラームシステムを有効にする 1.13

アンダーボディのクリーニング 6.28

アンチロックブレーキシステム 2.28, 7.11

い

イグニッションカット 7.12

イグニッションのスイッチをオンにする ... 2.5

イモビライザー 1.13

インストルメント 3.2

インストルメントと警告灯 2.6

インストルメントとディスプレイ画面、

クリーニング 6.30

インストルメントとディスプレイ画面の

クリーニング 6.30

インテリア装備 5.7

インテリアのクリーニング 6.29

索引

う

運転上の安全	1.5
運転の好み	4.11

え

エアディストリビューション設定	5.5
エアバッグシステムの修正	1.21
エアバッグの交換	1.21
エアバッグの修正	1.21
エアバッグの展開	1.24
エアバッグ、フロント	1.22
エアブレーキ	2.33
エコスタート-ストップシステム	2.12
エラーメッセージの表示	3.7
エレクトロニクススタビリティ コントロール	2.30, 3.13, 7.12
エンジンオイル	6.3, 7.8
エンジンオイルの点検	6.3
エンジンオイルの補充	6.4
エンジン警告灯	2.14
エンジン仕様	7.4
エンジンの始動	2.11
エンジンの停止	2.11

お

オイル、エンジン	6.3
オイル温度	3.14, 6.5
オイルの状態	3.7

オーディオ	4.28
オーディオソース	4.23
オートマチッククライメート コントロールモード	5.3
オートマチックランプコントロール	1.31
オーナーズマニュアル、電子	1.4
オーナー文書	1.3
温度	3.4
温度単位	4.10
温度調整ダイヤル	5.4

か

海外での走行	6.34
回収のためのけん引	6.33
快適機能と便利機能	5.2
外部デバイスへの接続	4.25
外部ミラー	1.29
カップホルダー	5.8
カーペットとファブリック、 クリーニング	6.29
可変ドリフトコントロール	2.31
カーボンファイバー、クリーニング	6.30
慣性ブッシュ	7.12

き

ギア位置	2.18
ギア位置インジケータ	3.13
ギアシフトパドル	2.21
ギアシフトモード	4.12, 7.13

ギアボックス	2.17
ギアボックスオイルレベル	6.5
技術データ	7.4
技術用語集	7.11
救急キット	6.10
給油	2.44
キーレスエントリー	1.4, 7.12

く

クライメートコントロール	5.2
クーラント	6.6, 7.9
クーラントの補充	6.6
クルーズコントロール	2.38
クールダウン	1.6
グローバルポジショニング システム	4.30, 7.12

け

警告灯	2.6
経済走行	2.14
けん引フック	6.10
けん引フックとマウント	6.33
けん引防止	1.14
言語	4.8

こ

交換用バッテリー	6.32
降車ライト	4.11, 5.7

索引

工場出荷時の設定に復元	4.15
高速道路ファンクション ライティング	1.32, 7.12
故障	6.32
故障時	6.32
コンフォートエントリー/ イグジット	1.18, 4.11

さ

最低地上高	1.5
サイドヘッドエアバッグ	1.22
サイドランプ	1.31
サイレントドアロック	4.12
サーキット走行	1.6
サービスカバー	1.11
サービスカバーを閉じる	1.11
サービスカバーを開く	1.11
サービス製品、フルードと容量	7.8
サポートされているメディアデバイス	4.23
サマータイヤ	7.6
三角表示板	6.9
三角表示板の立て方	6.9

し

時間帯	4.9
時間と単位	4.7
時刻形式	4.8
時刻調整	4.9
指示器	1.34

システムコントロール	4.3
システム設定	4.14
システムバージョン	4.15
シート	1.15
自動アラーム	4.12
始動および走行	2.4
自動ドアロック	4.12
自動ロック	1.11
自動ロールオーバー プロテクション	1.27, 7.12
シートベルト	1.19
シートベルトのクリーニング	6.30
シートベルトの着用	1.20
シームレスシフトギアボックス	2.17, 7.13
シームレスシフトギアボックスの ギア位置	2.8
車体寸法	7.5
車両カバー	6.30
車両技術データ	7.4
車両識別番号	3.8, 7.3, 7.13
車両重量	7.6
車両情報	3.6
車両データおよび用語集	7.2
車両動作温度	7.4
車両のお手入れ	6.26
車両のクールダウン	1.6
車両の電气的状態	2.4
車両のランプ	6.16
車両のリフト	6.31
車両のリフトポイント	6.31
車両への配慮	1.5, 6.26

車両リフト	1.36
収納、ヘルメット	1.12
収納ボックス	5.8
純正 McLaren 部品およびアクセサリ	7.2
乗員の安全	1.19
乗員分類システム - 助手席	1.23
消火器	6.11
乗車および降車照明	4.11, 5.7
助手席側フットウェル収納	1.12
シリンダーカット	7.11
診断データ	1.7

す

水温	3.14
推奨燃料	2.45
スタティックアダプティブ ヘッドランプ	1.32, 4.10, 7.13
ステアリングホイールと ステアリングコラム	1.17
ステアリングホイールの電動調整	1.17
スノーソックス	2.46
スピードメーター	3.3
すべてのデータと設定の消去	4.15
スポーツモード	3.12

せ

正規外着座時の作動	1.25
整備期限メッセージ	3.8
セカンダリヒューズボックス	6.15

索引

セカンダリヒューズボックス	
規格一覧表	6.15
セキュリティ設定	4.12
接続	4.6
旋回半径	7.7
前進ギア	2.18
センターコンソール収納ボックス	5.8
センターディスプレイ	4.3
セントラルダッシュボードエアイベント	5.6

そ

走行	2.4
走行安全システム	2.27
走行時の注意事項	6.23
速度制限ディスプレイ	4.11
速度と距離の単位	4.9
ソフトウェアバージョン	4.15

た

タイヤがパンクした場合	6.24
タイヤ空気圧	6.23, 7.7
タイヤ空気圧監視システム	2.36, 7.13
タイヤシーラント	6.10, 6.24
タイヤシーラントの使用法	6.24
タイヤ、点検	6.22
タイヤとホイール	6.19
タイヤの状態	3.7
タイヤの保管	6.20
タイヤのマーク	6.20

タイヤ、保管	6.20
代理店ネットワーク	1.2
タコメーター	3.2
ダッシュボードエアイベント	5.5
タッチスクリーン、クリーニング	6.30
タッチスクリーンのクリーニング	6.30

ち

チャイルドシートシステム	1.19, 1.26
チャイルドパッセンジャー	1.26
駐車日数表示	2.5

つ

追加デバイスのペアリング	4.17
通知灯	2.6
通話中のオプション	4.21
通話の終了	4.21
通話履歴の使用	4.19
通話を受信	4.20
つや出し	6.28

て

手洗いによる洗車	6.26
ディスプレイウィンドウ	3.12
ディスプレイ画面、クリーニング	6.30
デイトタイムランニングランプ	1.33
適合性に関する情報	8.2
データ保存	1.7

デバイスのペアリング / 接続	4.17
展開式ロールオーバー	
プロテクション	1.27, 7.12
電気の状態、車両	2.4
電子制御ブレーキ予備充填	2.30, 7.12
電子ユーザーマニュアル	1.4
電話操作	4.16
電話の使用	4.16
電話の接続	4.18
電話をかける	4.18

と

ドアロック解除	4.13
ドアを閉じる	1.8
ドアを開ける	1.6
ドアをロックする	1.6
冬季の走行	2.46
動作温度	7.4
盗難防止システム	1.13
時計	3.4
塗装の損傷と修理	6.28
トノーカバー	1.9
ドライバーディスプレイ	2.7, 3.4
ドライバーディスプレイの照明	5.7
トラクションコントロール	2.30
トラックモード	3.12
トリップ情報	3.5

索引

な

ナビゲーション	4.30
ナビゲーションの使用	4.31
慣らし運転	2.43

に

日中 / 夜間モード	5.7
ニュートラルギア	2.18

ね

燃料残量および範囲	3.15
燃料消費単位	4.9
燃料、推奨	2.45
燃料タンク容量	7.8
燃料の給油	2.44
燃料フィルターパイプ	6.11

の

ノンアクティブ / コンフォートモード	3.12
---------------------	------

は

排気ガス温度監視	2.15
ハイビームヘッドランプ	1.32
パーキングセンサー	2.15, 7.13
パーキングブレーキ	2.8
パーキングランプ	1.35

ハザード警告灯	1.34
パッシングヘッドランプ	1.32
発進コントロール	2.26, 7.12
バッテリーの安全性	6.12
バッテリーの状態	3.8
バッテリーの点検と保守	6.12
バッテリーヒューズボックス	6.15
パニックアラーム	1.35
パレーモード	4.13
パワーステアリングフルード	6.7, 7.9
パワーステアリングフルードの補充	6.7
パワーセービングモード	2.4
パワートレインコントロール	2.23
パンク修理	6.24
パンクの修理	6.24
ハンドリングおよびパワートレイン	
ディスプレイ	3.13
ハンドリングコントロール	2.22, 7.12

ひ

非常用装備	6.9
ヒューズの交換	6.13
ヒルホールドコントロール	2.29, 7.12

ふ

フェイルセーフモード	2.14
フォグランプ、リア	1.33
フットウェルおよび車内灯	4.10
部品およびアクセサリ	7.2

フルードの補充	6.3
ブレーキアシストシステム	2.29, 7.11
ブレーキ警告灯	2.10
ブレーキステア	2.29, 7.11
ブレーキディスクおよびパッド	2.10
ブレーキフルード	6.8, 7.10
ブレーキフルードの補充	6.8
ブレーキペダル	2.10
プロアクティブシャシーコントロールII	
システム	7.12
プロアー速度調節ダイヤル	5.4
フロントエアバッグ	1.22
文書、オーナー	1.3

へ

ヘッドランプ	6.16
ヘッドランプ、スタティック	
アダプティブ	1.32
ヘッドランプ、ハイビーム	1.32
ヘッドランプ、パッシング	1.32
ヘッドランプ、ロービーム	1.31
ベルトフォースリミッター	1.20
ヘルメット	1.21
ヘルメットの収納	1.12, 5.9

ほ

ホイールおよびタイヤサイズ	7.6
ホイール、点検	6.22
ホイールとタイヤ	6.19

索引

ホイールとタイヤの点検	6.22
方向指示器	1.34
法律情報	4.14
補充する量	6.5
補助拘束装置	1.21, 7.13
保存データ	1.7
ホーン	1.18

ま

マクラレーンアシスタンス電話番号	1.2
マニュアルクライメート	
コントロールモード	5.3

み

ミスロック	1.7
ミラー	1.29
ミラーの調整	1.29

め

メインヒューズボックス	6.13
メインヒューズボックス規格一覧表	6.13
メッセージ	3.9
メディア	4.23
メディア USB ソケット	5.10
メディアコントロール	4.24
メディアトラックまたはフォルダの移動	4.27
メディアトラックまたはフォルダの	

コピー	4.27
メディアトラックまたはフォルダの名前の変更	4.26
メディアファイルのインポート	4.26
メディアファイルのサポート	4.23
メディアファイルのストレージ	4.26
メディアファイルのストレージの消去 ..	4.26
メンテナンス	6.3

も

目的地の設定	4.31
--------------	------

や

夜間照明	4.11
------------	------

よ

用語集	7.2
-----------	-----

ら

ライト	1.30, 4.10, 6.16
ランニングランプ、デイトイム	1.33
ランプスイッチ	1.30

り

リアビューカメラ	2.17, 4.12, 7.13
リアフォグランプ	1.33

リバースギア	2.18
リバースミラーディップ	4.14
リモコンキーエントリー	1.4
リモコンキーの収納	1.5

れ

レザー、クリーニング	6.29
連絡先の使用	4.19

ろ

ロッカー収納	5.8
ロックおよびロック解除	1.4
ロック解除およびロック	1.4
ロードサイドアシスト	6.32
ロービームヘッドランプ	1.31
ロールオーバープロテクションシステム	1.27, 7.12

